

Digital Motion Picture Camera VENICE

取扱説明書

MPC-3610

ファームウェアバージョン 6.3



目次

1章 概要

本機の特長.....	3
システム構成例.....	7
各部の名称と働き.....	8

2章 準備

電源の準備.....	16
時計を合わせる.....	17
VFアタッチメントとハンドルの 取り付け.....	18
レンズの取り付けとフランジバックの 調整.....	19
ビューファインダーの取り付け.....	22
SxSメモリーカードの取り扱い.....	24
設定データ保存用SDカードの 取り扱い.....	27
AXS-R7を使う.....	28

3章 カメラ操作

サブディスプレイ.....	32
サブディスプレイの ホーム画面の操作方法.....	35
ユーザー機能画面.....	44
メニューの操作方法.....	50
フルメニューの操作方法.....	64
フルメニュー一覧.....	65
サブディスプレイのクリップ操作.....	93
再生.....	95

ミニディスプレイの ホーム画面の操作方法.....	96
ミニディスプレイのクリップ操作.....	99

4章 ネットワーク

ネットワークの設定方法と 操作方法.....	100
---------------------------	-----

5章 撮影

基本操作.....	105
便利な機能.....	106

6章 ユーザー設定データの保存と読み込み

ユーザー設定データ.....	109
Allファイル.....	110
Sceneファイル.....	111
ユーザーガンマ.....	112

7章 外部機器の接続

リモートコントロールユニットを 接続する.....	114
外部モニターや記録装置を 接続する.....	119
外部同期.....	121

8章 付録

使用上のご注意.....	122
記録フォーマットと出力信号.....	125
エラー / 警告表示.....	135
ファイルに保存される項目.....	137

記録・出力メタデータ一覧.....	145
ライセンスについて.....	149
保証書とアフターサービス.....	154
主な仕様.....	155

本機の特長

新開発36×24mmフルフレームCMOSイメージセンサーを搭載

最大6048画素×4032画素の解像度でキャプチャーすることが可能*で、撮像モードを切り換えることにより、標準的なSuper35mm 24.3×12.8mm、4096画素×2160画素(3パーフォーレーションに相当)はもちろんのこと4:3アナモフィックに対応するSuper35mm 24.3×18.3mm、4096画素×3024画素(4パーフォーレーションに相当)*をネイティブサポート。

* フルフレームおよびアナモフィックモードは別売りライセンスが必要となります

ワイドラチチュード

15ストップ+の広大なラチチュードを実現。ハイライト部から暗部まで幅広い輝度条件の下で、低ノイズで美しい映像をキャプチャーすることができ、グレーディング作業において高い自由度をもたらします。

広色域キャプチャーが可能

DCI-P3を越える色域でのキャプチャーが可能です。ソニーが定義するワイドカラースペースS-Gamut3とS-Gamut3.Cineを搭載しS-Log3と一緒に活用することにより、グレーディング時の自由度が飛躍的に向上します。

Dual Base ISO

基準感度として、ISO500とISO2500の2種類から選択できます。通常の照明下ではBase ISO500を、低照度の条件ではBase ISO2500を使用することによりノイズ感を粗くせず、ハイライトとローライトのラチチュードバランスを保ったまま撮影が可能となります。

PLレンズマウント

標準でPLレンズマウントが装着されています。レンズマウントはCooke/i1に対応しており、レンズ情報はフレームごとにメタデータとして記録されます。

Eマウントレンズ対応

PLレンズアダプターを取り外すことにより、Eマウントレンズが使用可能です。PLレンズと比較して小型・軽量であり、またEマウントレンズの多彩なラインナップにより更なる映像表現の幅を広げます。

コンパクトなボディと直感的な操作感

ソニー独自の小型化技術によりフルフレーム大型イメージセンサーを搭載しながらコンパクトなサイズを実現しており、狭いスペースでの撮影やドローン搭載時の利便性を向上させています。

操作ボタンは直観的な操作を実現するために場所、形状、サイズを徹底的に検討して配置されており、また暗所撮影を考慮しバックライトを備えています。

高い堅牢性

筐体は高い堅牢性を誇るマグネシウム合金製。吸排気機構はすべての電子部品から完全に隔離されていて、砂や埃、水滴の侵入を防ぎます*。静粛性に優れたファンは取り外し可能で清掃することができ、過酷な映画制作の現場で高い可用性を保つことができます。

* 防塵・防滴に配慮された構造になっていますが埃や水滴の侵入を完全に防ぐものではありません

モジュラー構造

完全なモジュラー設計であり、撮影用途に合わせてさまざまなリグや周辺機器との組み合わせに柔軟に対応することができます。レンズとのバランスや使いかたに合わせてトップハンドルとビューファインダーは簡単に調整できます。光軸高はPMW-F55と同じなのでPMW-F55用の周辺機器を活用することが可能です。後部には別売りのポータブルメモリーレコーダー AXS-R7 (別売り) を4本の六角ネジにより強固に固定することができます。

8ポジション光学式NDフィルター

8ポジション光学式NDフィルターを採用しています。0.3ND(1/2 = 1ストップ)から2.4ND(1/256 = 8ストップ)の広範囲のNDを備えており、外部NDフィルターを交換する手間を省きます。このNDフィルターはサーボ制御が可能です。

現場での運用を考えた、シンプルで直感的なメニュー操作

メニュー画面をカメラの両側に、メイン操作部はカメラのアシスタントサイドに配置しています。これにより撮影現場でカメラアシスタントが設定操作をすばやく行うことができます。オペレーターサイドの有機ELミニディスプレイは、NDポジション、シャッター、ホワイトバランス、EI値、FPSなど、頻繁に使う設定を簡単に操作でき、またカメラマンの方がステータスを確認するのもにも便利です。

RM/RCPおよび本機からのペイントコントロールに対応

本機はブロードキャストカムコーダーやシステムカメラで使用可能なRM/RCPパネルからの制御にも対応しています。接続時にはITU-R

Rec.2020色域とHLGも選択可能であり、各種ペイント項目の調整も可能です。

また、本機のフルメニューからペイントコントロールの操作が可能です。

ハイフレームレート (HFR) 撮影

本機とAXS-R7を組み合わせることにより、最大120FPSでの4K X-OCN記録が可能です。

リモートコントロールユニット対応

RM-B170などのリモートコントロールユニットを接続すると、Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOffに設定されていても、リモートコントロールユニットから本機の機能の一部をコントロールすることが可能です。

多彩なレコーディングフォーマット

XAVC 4K/QFHD、MPEG HDフォーマット、HD ProRes 422フォーマットでSxSメモリーカードに収録することができます。また、ポータブルメモリーレコーダー AXS-R7 (別売り) との組み合わせによりAXSメモリーカードに16ビットRAWまたはX-OCNフォーマットでの記

録にも対応します。

イメージャブロックの延長

カメラエクステンションシステムCBK-3610XS¹⁾を接続することでイメージャブロックを約2.7mまたは約5.5mに延長することができます。また、カメラエクステンションシステムCBK-3620XS²⁾を接続することでイメージャブロックを約12mまたは約3mに延長することができます。

¹⁾ 本機のファームウェアを3.0以降にバージョンアップしてください。

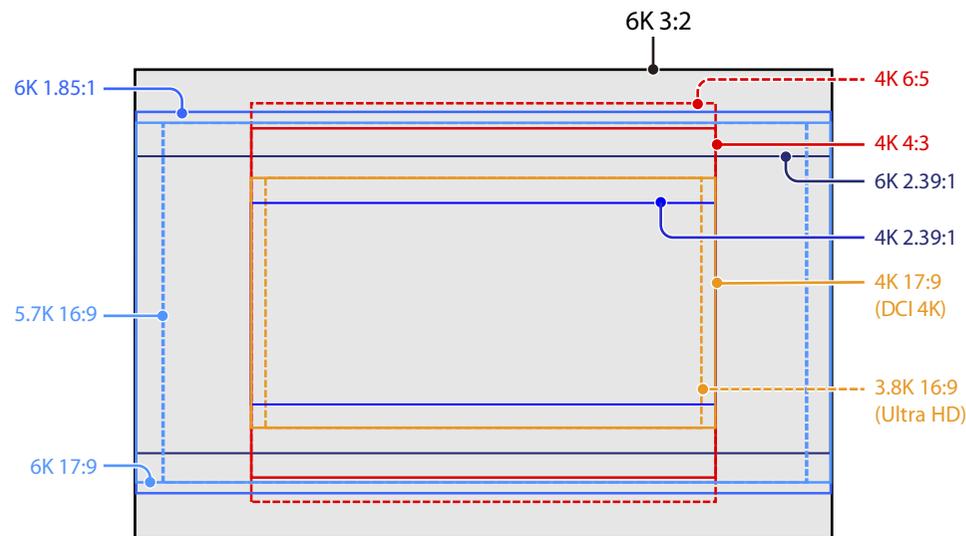
²⁾ 本機のファームウェアを6.3以降にバージョンアップしてください。

有効画サイズについて

本機では、以下の有効画サイズでの撮影が可能です。

[ご注意]

6K 17:9、6K 1.85:1、6K 2.39:1、6K 3:2、5.7K 16:9、4K 4:3および4K 6:5で撮影するためにはソフトウェアライセンスが必要です。



ソフトウェアライセンスについて

本機の運用状況に応じてソフトウェアライセンス（別売り）を選択できます。
ソフトウェアライセンスのインストールは、フルメニューのMaintenance > License Options
(91ページ)にて行います。

ソフトウェアライセンス	イメージャーモード	有効画素 (撮像素子)	W x H (mm)	プロジェクトフレームレート
ライセンス不要 ¹⁾	3.8K 16:9	3840 x 2160	22.8 x 12.8	23、24、25、29、50、59
	3.8K 16:9 Surround View	3840 x 2160 (4268 x 2400)	22.8 x 12.8 (25.4 x 14.3)	23、24、25、29
	4K 2.39:1	4096 x 1716	24.3 x 10.3	23、24、25、29、47、50、59
	4K 17:9	4096 x 2160	24.3 x 12.8	23、24、25、29、47、50、59
	4K 17:9 Surround View	4096 x 2160 (4552 x 2400)	24.3 x 12.8 (27.0 x 14.3)	23、24、25、29
アナモフィックライセンス	4K 4:3	4096 x 3024	24.3 x 18.0	23、24、25、29、47、50 ²⁾ 、59 ²⁾
	4K 4:3 Surround View	4096 x 3024 (4552 x 3360)	24.3 x 18.0 (27.0 x 20.0)	23、24、25、29
	4K 6:5	4096 x 3432	24.3 x 20.4	23、24、25、29、47 ²⁾ 、50 ²⁾ 、59 ²⁾
フルフレームライセンス ¹⁾	5.7K 16:9	5674 x 3192	33.7 x 18.9	23、24、25、29、50 ²⁾ 、59 ²⁾
	6K 2.39:1	6048 x 2534	35.9 x 15.0	23、24、25、29、47 ²⁾³⁾ 、50 ²⁾³⁾ 、59 ²⁾³⁾
	6K 17:9	6054 x 3192	36.0 x 19.0	23、24、25、29、47 ²⁾³⁾ 、50 ²⁾³⁾ 、59 ²⁾³⁾
	6K 1.85:1	6054 x 3272	36.0 x 19.4	23、24、25、29、47 ²⁾³⁾ 、50 ²⁾³⁾ 、59 ²⁾³⁾
	6K 3:2	6048 x 4032	35.9 x 24.0	23、24、25、29 ²⁾ 、47 ²⁾³⁾ 、50 ²⁾³⁾ 、59 ²⁾³⁾

¹⁾ Off(1.0x)以外のデスクイーズ機能を有効にするには、アナモフィックライセンスが必要です。

²⁾ ハイフレームレートライセンス有効時のみ。

³⁾ AXS記録は可能ですが、AXS再生は本機ではできません。

使用可能な撮像フレームレートとDe-Squeeze値について

各イメージャーモードで使用可能な撮像フレームレートとDe-Squeeze値(72ページ)は以下のとおりです。

イメージャーモード	撮像フレームレート		De-Squeeze						
	標準	拡張フレームレート	Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.65x	1.8x	2.0x
6K 3:2	1 ~ 25	~ 60	○	○	○	○	○	○	○
6K 1.85:1	1 ~ 30	~ 60、66、72	○	—	—	—	—	—	—
6K 17:9	1 ~ 30	~ 60、66、72	○	○	○	—	○	○	○
6K 2.39:1	1 ~ 30	~ 60、66、72、75、88、90	○	—	—	—	—	—	—
5.7K 16:9	1 ~ 30	~ 60、66、72	○	—	—	—	—	—	—
4K 6:5 ¹⁾	1 ~ 30	~ 60、66、72	○	—	—	—	—	—	○
4K 4:3 Surround	1 ~ 30	—	○	—	○	—	○	○	○
4K 4:3 ²⁾	1 ~ 48	~ 60、66、72、75	○	—	○	—	○	○	○
4K 17:9 Surround	1 ~ 48	—	○	○	○	—	○	○	○
4K 17:9	1 ~ 60	66、72、75、88、90、96、100、110	○	○	○	—	○	○	○
4K 2.39:1	1 ~ 60	66、72、75、88、90、96、100、110、120	○	—	—	—	—	—	—
3.8K 16:9 Surround	1 ~ 48	—	○	—	—	—	—	—	—
3.8K 16:9	1 ~ 60	66、72、75、88、90、96、100、110	○	—	—	—	—	—	—

¹⁾ SxS Rec FormatがProRes 4444 HD Pの場合は、Off(1.0x)のみ使用可能です。

²⁾ SxS Rec FormatがProRes 4444 HD Pの場合は、Off(1.0x)と1.3xのみ使用可能です。

Surround Viewについて

以下のイメージャーモードにおいて、有効画サイズの上下左右5%外側領域も含めた画像領域をビューファインダーおよびSDIモニター出力で確認しながら撮影できるモードです。記録領域は外側領域を含みません。

3.8K 16:9

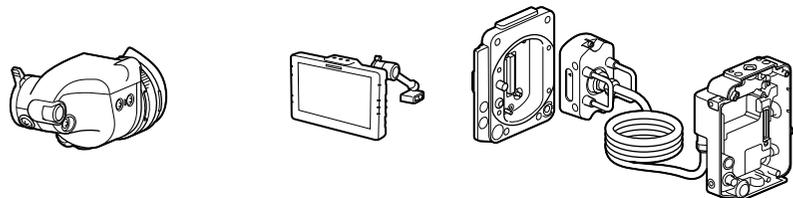
4K 17:9

4K 4:3

[ご注意]

- 本モードでは、プロジェクトフレームレートの上限設定に制限がかかる場合があります。
- 4K 4:3モードのデスクイーズ倍率が2.0xの場合は、上下5%外側領域のみを含む画像領域となります。

システム構成例



ビューファインダー
DVF-EL200
(VFケーブルA-2203-745-A (本機に付属) または1-912-598-21が必要)

ビューファインダー
DVF-L700
(VFケーブル A-2201-632-A またはA-2201-633-Aが必要)

カメラエクステンション
システム
CBK-3610XS
CBK-3620XS

マイクロホン
ECM-680S、ECM-678、
ECM-674 (EC-0.5X3F5Mが必要)

マイクホルダーベースASSY (A-2182-620-B)
ロッドクランプ (A-2182-621-B)
ロッド (4-684-612-01)
マイクホルダー ASSY (X-2596-733-2)
ネジ P2.6×8 (2本) (7-627-556-98)

アナモフィック
ライセンス
CBKZ-3610A
CBKZ-3610AM
CBKZ-3610AW

S35 PL レンズ
SCL-PK6
SCL-P11X15

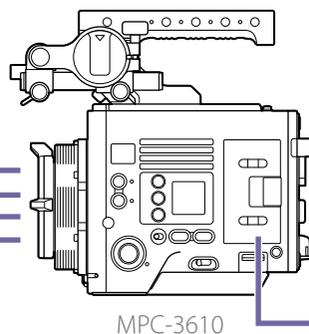
フルフレーム
ライセンス
CBKZ-3610F
CBKZ-3610FM
CBKZ-3610FW

アナモフィックレンズ
(PLマウント/Eマウント)

ハイフレームレート
ライセンス
CBKZ-3610H
CBKZ-3610HM
CBKZ-3610HW

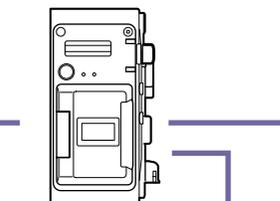
フルフレームレンズ
(PLマウント/Eマウント)

Eマウントレンズ
SELP28135G、SEL1635GM、SEL2470GM、SEL70200GM、
SEL100400GM、SEL1224G、SEL35F14Z、SEL50F14Z、
SEL85F14GM、SEL90M28G、SEL100F28GM



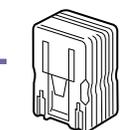
MPC-3610

ショルダーアダプター
VCT-FSA5



ポータブルメモリー
レコーダー
AXS-R7

バッテリーパック
BP-FL75、BP-GL95B



AC アダプター
AC-DN10A

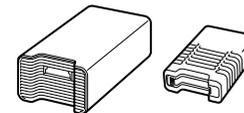


SxS メモリーカード
SBP-64/128/256E、SBS-32/64/128G1C、SBP-240F/120F

XQDメモリーカード
(XQD ExpressCardアダプター QDA-EX1が必要)
QD-G32E/G64E/G120F/G240F



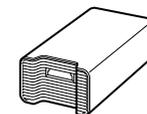
AXSメモリーカード
AXS-A256S24、AXS-
A512S48、AXS-A512S24、
AXS-A1TS48、AXS-A1TS24



AXS メモリー
カードリーダー
AXS-AR1、AXS-CR1



リモートコントロールユニット
RM-B170/B750
RCP-1000/1500/1530/3500
RCP-1001/1501/3501



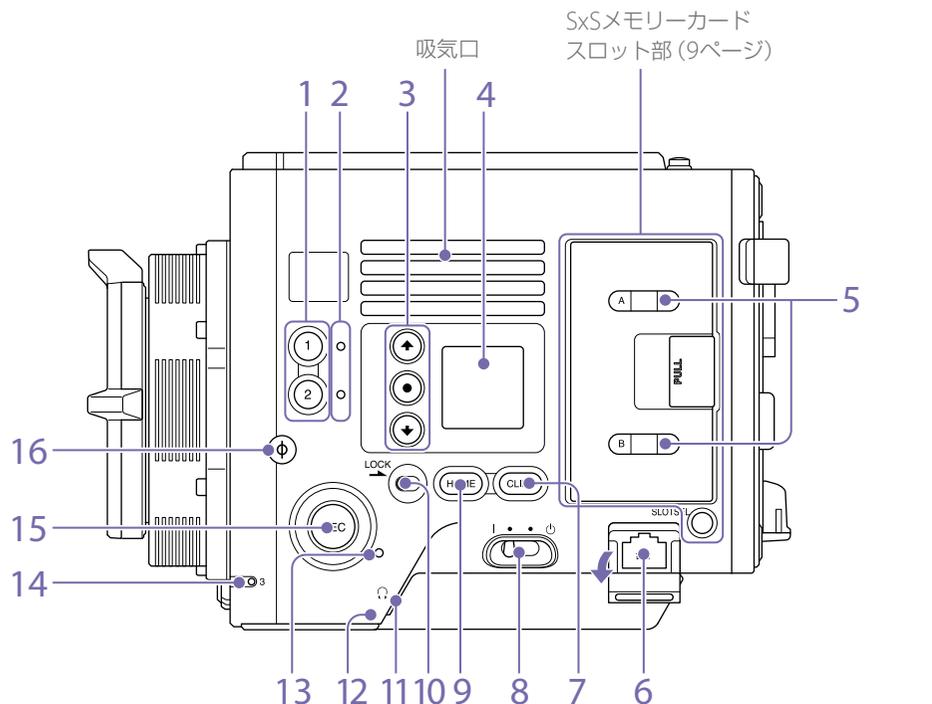
AXS メモリーカードリーダー
AXS-AR1



SxSメモリーカードリーダー
SBAC-US30/T40

各部の名称と働き

オペレーターサイド



1. ASSIGN 1/2 (アサインابل1/2) ボタン (44ページ)

ユーザー機能画面のEDITページで機能を割り当てます (44ページ)。

押すたびに、割り当てられた機能のOn (有効) とOff (無効) を切り換えたり、割り当てられた機能を起動したりできます。

2. ASSIGN 1/2 (アサインابل1/2) ランプ (44ページ)

割り当てられた機能がOn (有効) または起動している場合はオレンジ色に点灯し、Off (無効) または停止している場合は消灯します。

3. ミニディスプレイITEMキー 1～3

ミニディスプレイで機能の操作を行います (96ページ)。

4. ミニディスプレイ

シャッター開角度などの各種設定を確認・変更できます (96ページ)。

5. ACCESSランプ SLOT(A)/(B)

SxSカードスロットA/Bの記録メディアが記録、再生の対象となっているとき、およびSxSカードスロットA/Bの記録メディアに対して書き込みや読み出しが行われているときに点灯します (24ページ)。

6. ネットワーク端子 (RJ-45)

LANケーブル (別売り) を接続することで、有線LAN接続により、本機をリモートコントロールできます (100ページ)。

7. CLIPSボタン

押すとミニディスプレイにクリップ画面が表示され、クリップ操作を有効にします (99ページ)。

同時にサブディスプレイにもクリップリスト画面が表示され、クリップ操作が可能になります。

再生状態から撮影モードにする場合はHOMEボタンを押します。

8. 電源スイッチ

電源を入れるときはON (Iの位置) にします。電源を切るときはOFF (Oの位置) にします。

【ご注意】

- 本機は、電源スイッチをOFFにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源スイッチをOFFにしてから取り外してください。記録中やメモリーカードアクセス中に電源を遮断すると故障の原因となることがあります。

9. HOMEボタン

押すとミニディスプレイ上のアイテム選択表示はクリアされ、ホーム画面が表示されます。

本機が再生状態のときに押すと、記録操作が可能な状態になります (96ページ)。

10. LOCKスイッチ

オペレーターサイドのボタン操作をロックします。ロックするとスイッチ背面のLEDがオレンジ色に点灯します。

11. ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック)

音声モニター用のイヤホンを接続します。撮像、記録中は収録音を、再生中は再生音をモニターできます (95ページ)。

12. 内蔵スピーカー

撮像、記録中は収録音を、再生中は再生音をモニターできます。警告ランプや警告表示の点滅・点灯に合わせて警告音も聞こえます (95ページ)。

なお、ヘッドホン端子にイヤホンをつなぐと、内蔵スピーカーからは音が聞こえなくなります。

13. REC ACTIVEランプ

RECボタンが有効な状態のときに緑色に点灯します。

14. ASSIGN 3 (アサインابل3) ランプ (44ページ)

割り当てられた機能がOn (有効) または起動している場合はオレンジ色に点灯し、Off (無効) または停止している場合は消灯します。

15. REC (記録開始/記録停止) ボタン/ランプ

押すと記録が始まりRECランプが点灯し、もう一度押すと記録が停止し、RECランプが消灯します (105ページ)。

また、機器のエラーやワーニングをRECランプを点滅させて表示します。

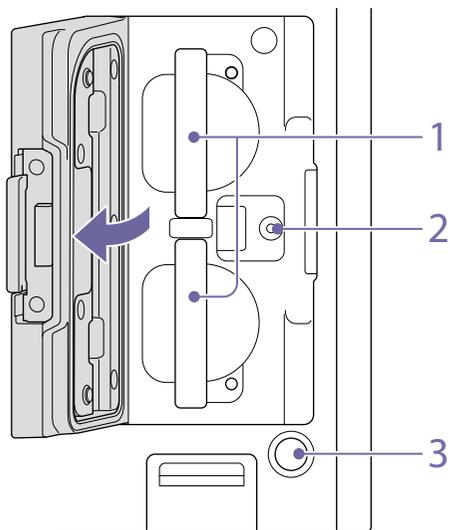
16. Φマーク

Φマークがイメージセンサー面の位置になります。

本機から被写体までの距離を正確に測るには、このマークの位置を参考にしてください。

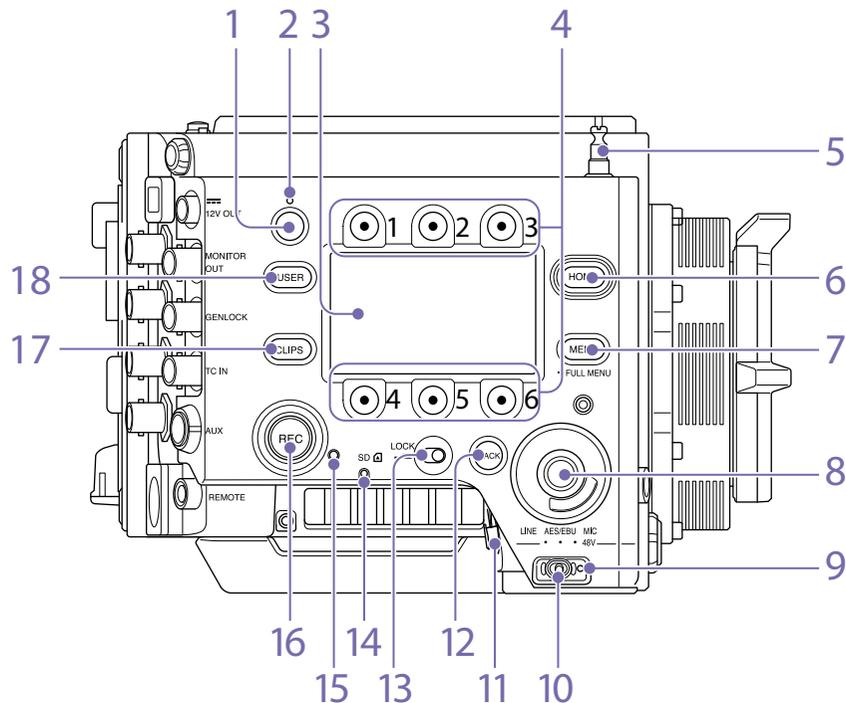
SxSメモリーカードスロット部 (24ページ)

SxSメモリーカードスロットはカバー内にあります。



1. SxSメモリーカードスロットA/B
2. 製造調整用端子
製造調整、サービス専用端子です。
(使用できません)
3. SLOT SELECT (SxSメモリーカード選択) ボタン
ボタンを押すことで、アクティブなスロットを切り換えることができます。

アシスタントサイド



1. ASSIGN 4 (アサインナブル4) ボタン (44ページ)
ユーザー機能画面のEDITページで機能を割り当てます (44ページ)。
押すたびに、割り当てられた機能のOn (有効) とOff (無効) を切り換えたり、割り当てられた機能を起動したりできます。
2. ASSIGN 4 (アサインナブル4) ランプ (44ページ)
割り当てられた機能がOn (有効) または起動している場合はオレンジ色に点灯し、Off (無効) または停止している場合は消灯します。
3. サブディスプレイ
本機の動作状態の確認や各種設定ができます (33ページ)。
ホーム画面が表示されている状態でBACKボタン (10ページ) を押しながらSEL/SETダイヤルを回すことで、サブディスプレイとミニディスプレイの明るさを調整することができます。
フルメニューのTechnical > Control Display > Brightness levelでも調整できます (90ページ)。

4. サブディスプレイITEMキー 1～6
サブディスプレイで機能の操作を行います (50ページ)。
5. メジャーフック
メジャーフックがイメージセンサー面の位置となります。本機から被写体までの距離を正確に測るには、メジャーフックの位置を参考にしてください。メジャーフックにメジャーの先端をかけて、被写体からの距離を実測できます。
6. HOMEボタン
押すとサブディスプレイ上の表示はクリアされ、ホーム画面が表示されます (35ページ)。本機が再生状態のときに押すと、記録操作が可能な状態になります。
7. MENU (メニュー表示ON/OFF) ボタン (50、64ページ)
MENUボタンを押すと、サブディスプレイにメニュー画面が表示されます。MENUボタンを2秒以上押し続けると、フルメニュー画面がサブディスプレイに表示されます。メニュー画面、フルメニュー画面のときに押すと元の画面に戻ります。
8. SEL/SET (選択/確定) ダイヤル (MENUダイヤル)
各メニュー内の項目選択や設定値の変更をするときに使います (35、50、64ページ)。
9. +48V Powerランプ
AUDIO INスイッチをMICに設定した場合に、AUDIO IN端子への+48Vファントム電源を供給しているときは、緑に点灯します。供給していないときは消灯します。

+48Vファントム電源の重畳のOn/Offは、メニューのAudioカテゴリー > Audio Details > Audio Configuration > Phantom Power +48Vで設定できます (84ページ)。

10. AUDIO IN (オーディオ入力切り換え) スイッチ

AUDIO IN端子に入力される音声の音源に合わせて入力信号を切り換えます。

LINE：外部のアナログオーディオ信号源を接続する場合

AES/EBU：外部のデジタルオーディオ信号源を接続する場合

MIC：マイクを接続する場合

11. AUDIO IN端子 (XLR 5ピン)

外部マイクや外部オーディオ機器などの信号を入力します。

AUDIO INスイッチで音源をLINEまたはMICに設定しているときは、AUDIO IN CH-1端子、およびAUDIO IN CH-2端子として機能します。

AUDIO INスイッチで音源をAES/EBUに設定しているときは、AUDIO IN CH-1/2端子、およびAUDIO IN CH-3/4端子として機能します。

12. BACKボタン

メニュー表示中は、メニューのキャンセルやメニュー階層を1つ上に戻します。実行中表示または実行指示待ち表示のときは、実行中または実行指示待ち表示中の処理をキャンセルします (35、50、64ページ)。

13. LOCKスイッチ

アシスタントサイドのボタン操作をロックします。ロックするとスイッチ背面のLEDがオレンジ色に点灯します。

14. ACCESS (SDカードアクセス) ランプ (27ページ)

15. REC ACTIVEランプ

RECボタンが有効な状態のときに緑色に点灯します。

16. REC (記録開始/記録停止) ボタン/ランプ

押すと記録が始まりRECランプが点灯し、もう一度押すと記録が停止し、RECランプが消灯します (105ページ)。

また、機器のエラーやワーニングをRECランプを点滅させて表示します。

17. CLIPSボタン

押すとサブディスプレイにクリップリスト画面が表示され、クリップ操作を有効にします (93ページ)。

同時にミニディスプレイにもクリップ画面が表示されます。

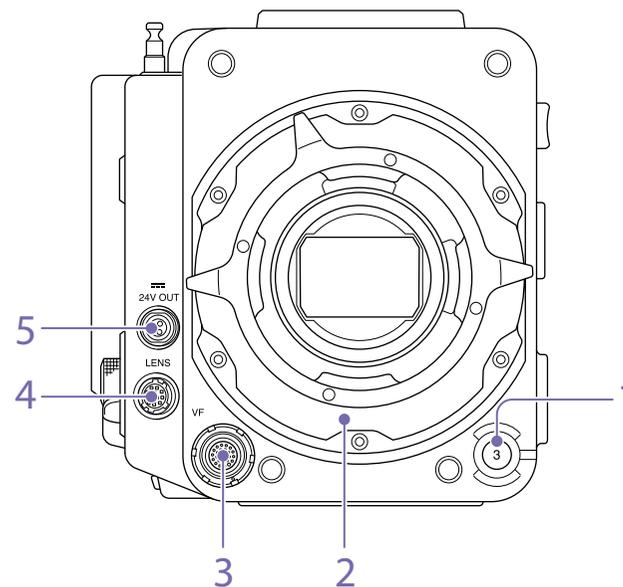
再生状態から撮影モードにする場合はHOMEボタンを押します。

18. USERボタン

押すとサブディスプレイにユーザー機能リストが表示され、ITEMキー 1～5がユーザー機能ボタンとなります。

ITEMキー 6はユーザー機能リストのEDITボタンです。このボタンを押すと、ユーザー機能ボタンとアサインブルボタンの機能選択画面が表示されます。ユーザー機能画面状態で押すと元の画面に戻ります。(44ページ)。

フロント (前面)



1. ASSIGN 3 (アサインブル3) ボタン (44ページ)

ユーザー機能画面のEDITページで機能を割り当てます (44ページ)。

押すたびに、割り当てられた機能のOn (有効) とOff (無効) を切り換えたり、割り当てられた機能を起動したりできます。

2. PLLレンズマウントアダプター (19ページ)

3. VF (ビューファインダー出力) 端子 (22ページ)

4. LENS (レンズ接続用) 端子 (12ピン)

ファームウェアバージョン4.0からネットワーク接続されたコンピューターやスマートフォン、タブレットよりアイリス、フォーカスおよびズーム制御が可能です。

5. 24V OUT端子 (DC OUT 24V、Fischer 3ピン)

24V DC電源出力用端子です (119ページ)。本機に入力する電圧によって、この端子から出力する電圧と出力最大電流が異なります。最大電流は、本機リア (後面) の24V OUT端子 (11ページ) との合計となります。

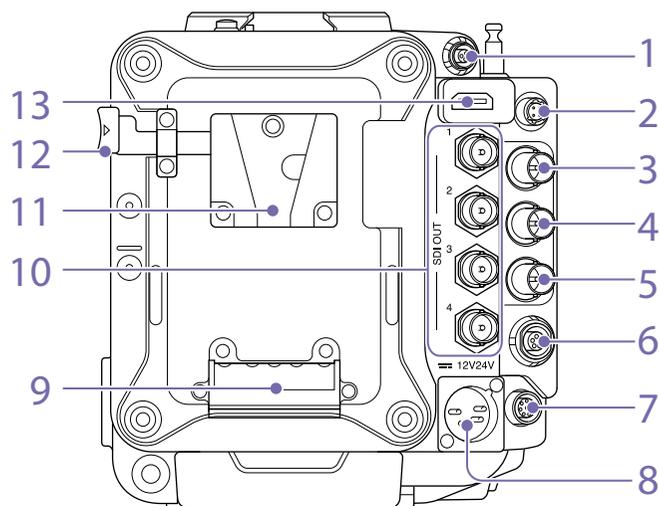
11V～17V入力時

出力電圧：24V
出力最大電流：1.0 A

22V～32V入力時

出力電圧：入力電圧と同じ
出力最大電流：2.0 A

リア (後面)



1. 24V OUT端子 (DC OUT 24V、Fischer 3ピン)

24V DC電源出力用端子です (119ページ)。本機に入力する電圧によって、この端子から出力する電圧と出力最大電流が異なります。最大電流は、本機フロント (前面) の24V OUT端子 (10ページ) との合計となります。

11V ~ 17V入力時

出力電圧：24V

出力最大電流：1.0 A

22V ~ 32V入力時

出力電圧：入力電圧と同じ

出力最大電流：2.0 A

2. 12V OUT端子 (DC OUT 12V、Hirose 4ピン)

12V DC電源出力用端子です (119ページ)。本機に入力する電圧によって、この端子から出力する電圧と出力最大電流が異なります。

11V ~ 17V入力時

出力電圧：入力電圧と同じ

出力最大電流：1.0 A

22V ~ 32V入力時

出力電圧：15V

出力最大電流：0.8 A

3. MONITOR OUT端子 (BNC型)

HD SDIモニター信号を出力する端子です (119ページ)。

4. GENLOCK (ゲンロック入力) 端子 (BNC型)

外部から本機にゲンロックをかけるとき、または本機のタイムコードを外部ロックさせるとき、基準信号を入力する端子です。デジタル信号とアナログ信号を入力できません。

デジタル信号：1.5G HDSDI interlace信号
アナログ信号：HD sync、Analog

5. TC IN (タイムコード入力) 端子 (BNC型)

本機のタイムコードを外部ロックさせるとき、基準となるタイムコード信号を入力する端子です。

6. AUX端子 (LEMO 5ピン)

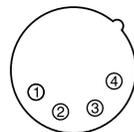
タイムコード信号を出力する端子です (120ページ)。

7. REMOTE (リモートコントロール) 端子 (8ピン)

リモートコントロールユニットなどの外部コントロール機器を接続します。

8. 12V/24V (DC電源入力) 端子 (16ページ)

本機に外部電源を供給するためのDC電源入力端子です。入力電圧は12Vと24Vに対応しています。



No.	信号
1	GND
2	NC
3	NC
4	DC IN (11V ~ 17V または 22V ~ 32V)

9. バッテリー取り付け端子 (16ページ)

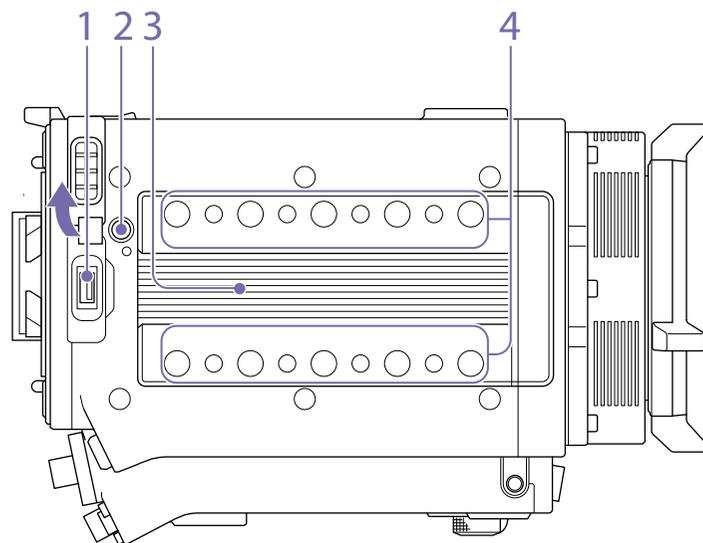
10. SDI OUT 1 ~ 4 (シリアルデジタル出力) 端子 (BNC型) (119ページ)

11. バッテリーパック取り付け部 (16ページ)

12. バッテリーリリースレバー (16ページ)

13. HDMI OUT端子 (119ページ)

トップ(上面)



1. 外部機器接続端子

本機にAXSレコーダー AXS-R7 (別売り) を取り付けた状態でAXS-R7をバージョンアップする(31ページ)、またはワイヤレスLANアダプター CBK-WA02 (別売り) を接続することで、カメラワイヤレスリモートコントロールする(100ページ)際に使用します。

2. リリースボタン(18ページ)

3. ハンドル/VFアタッチメント取り付け部(18ページ)

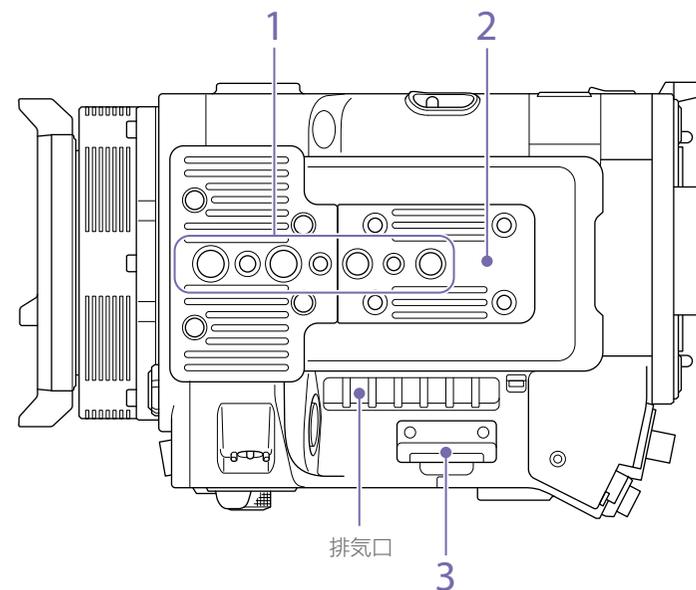
4. アクセサリー取り付けねじ穴

ネジ種：1/4-20UNC(×8)

ネジ種：3/8-16UNC(×10)

ネジ適合長：10 mm 以下

ボトム(底面)



1. 三脚プレート取り付け穴

ネジ種：1/4-20UNC(×2)

ネジ種：3/8-16UNC(×4)

ネジ適合長：9 mm 以下

2. ボトムカバー

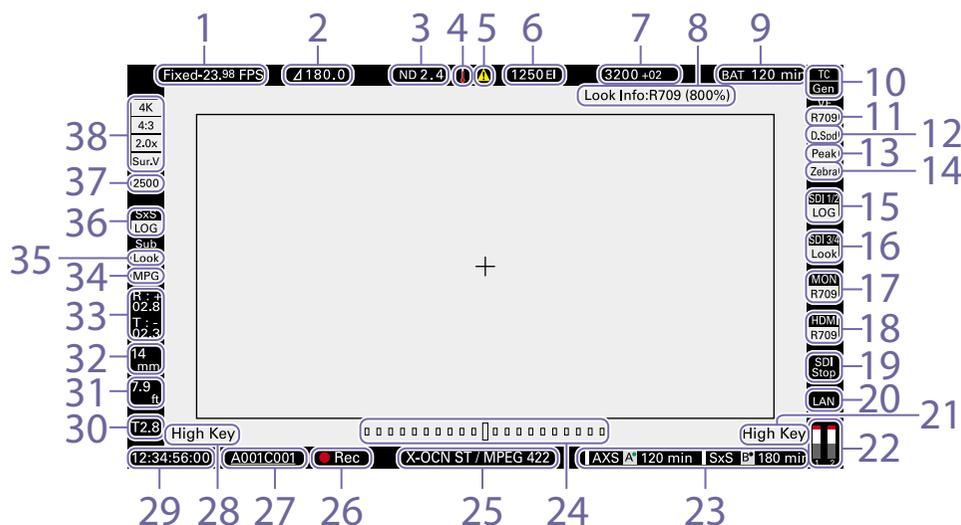
六角ネジ(4本)を外してカバーを取り外すことができます。

3. SDカードスロット(27ページ)

ビューファインダー・モニター画面

撮影中（記録中／記録待機中）および再生中は、Monitoringメニュー＞OSD AppearanceのStatus Info A/B Setup（77ページ）で選択された情報が表示されます。

撮影中の画像に表示される情報



1. 撮影フレームレート設定表示
撮影フレームレートとプロジェクトフレームレートが表示されます。
0.3 (1/2)
0.6 (1/4)
0.9 (1/8)
1.2 (1/16)
1.5 (1/32)
1.8 (1/64)
2.1 (1/128)
2.4 (1/256)
2. シャッター開角度／スピード表示
メニューのTechnicalカテゴリー＞System Configurationの設定に従って、電子シャッターの開角度またはスピードが表示されます。
3. NDフィルター表示
NDフィルターの濃度が表示されます。表示値はLOG指標値です。（65ページ）
CLEAR
4. 温度計アイコン
温度上昇に関する警告メッセージがあるときに表示されます。

メニューのInfoカテゴリーに内容が表示されます。

5. 警告アイコン
温度上昇を除く警告メッセージがあるときに表示されます。
メニューのInfoカテゴリーに内容が表示されます。
6. 感度 (Exposure Index) /ゲイン表示
EI値またはRM-B170などのリモートコントロールユニットで設定したゲイン値 (dB単位) が表示されます。
【ご注意】
ゲイン値は、Technicalメニュー＞System Configuration＞RM/RCP Paint Control（87ページ）がOnに設定されている場合のみ表示されます。
7. 色温度表示
ホワイトバランスの色温度とTint値が表示されます。
8. Look情報表示
選択したLookが表示されます（69ページ）。
9. バッテリー残量／電圧表示
本機を駆動している電源の種類に応じて次のように表示されます。

電源の種類	表示
インフォバッテリー	バッテリー残量と記録可能な残り時間
アントンパワテリ	バッテリー残量 (%表示)
アー社製バッテリー	
その他の電源	入力電圧

10. タイムコード外部ロック／ゲンロック状態表示
タイムコードが外部ロックすると、ロック

状態であることが表示されます。ゲンロックがかかっている場合、ロック状態であることが表示されます。

11. VF LUT表示
ビューファインダーのLUTが表示されます（68ページ）。
12. VF Double Speed Scan表示
ビューファインダー表示のフレームレートを倍速にする機能の有効／無効状態が表示されます。
13. VF Peaking表示
ビューファインダー表示のピーキング機能の有効／無効状態が表示されます。
14. VF Zebra表示
ビューファインダー表示のゼブラ機能の有効／無効状態が表示されます（47ページ）。
15. SDI OUT 1/2端子 LUT表示
SDI OUT 1/2端子のLUT設定が表示されます（66ページ）。
16. SDI OUT 3/4端子 LUT表示
SDI OUT 3/4端子のLUT設定が表示されます（66ページ）。
17. Monitor LUT表示
Monitor出力のLUT設定が表示されます（67ページ）。
18. HDMI LUT表示
HDMI出力のLUT設定が表示されます（67ページ）。

19. SDI出力RECトリガー表示

SDI出力のRECトリガーの状態が表示されます。

条件	表示	
フルメニューのTechnical > System Configuration > SDI Rec Remote Trigger	SDI出力への記録コマンドの重畳	
Off	—	(空欄)
HD SDI Remote I/F	Stopコマンド送信	上段：SDI 下段：Stop
	Recコマンド送信	上段：SDI 下段：REC
Parallel Rec	Stopコマンド送信	上段：SDI-P 下段：Stop
	Recコマンド送信	上段：SDI-P 下段：REC

20. ネットワーク接続状態表示

ネットワークの接続状態 (LANまたはWi-Fi) が表示されます。

条件	表示
ネットワーク接続設定状態で接続断 などのエラー時	点滅
ネットワーク接続設定状態で接続時	点灯
ネットワーク接続機能を使用してい ない	空欄

21. High Key/Low Key表示 (Monitor出力)

Monitor出力がHigh Key (高輝度の白飛び確認画面)、またはLow Key (低輝度の暗部の確認画面) であることを表示します (Monitor Out出力の場合に表示)。

22. オーディオレベルメーター表示

撮影中の音声チャンネル1、2のレベルが表示されます。

23. 各メディアスロットの記録メディア状態／残量表示

SxSメモリーカードスロットA/BおよびAXS

メモリーカードスロットA/B内のメディアの状態と残量が表示されます。

AXSまたはSxSの左に  がある：記録対象メディア

AXSまたはSxSの右のスロットA/Bアイコン右上の緑ランプ点灯時  A：再生対象メディア (ランプが点灯している方のメディアを再生)

また、記録に影響のあるメディアに対しては  アイコンが表示されます。

24. 水準器グラフィカル表示

本機の水平方向の傾きが±0.1°刻みで±10°まで表示されます。

Technicalメニュー > Special Configuration > Level Gauge Adjust (87ページ) を実行すると、水準器のゼロ調整を行うことができます。

本機にCBK-3620XSが接続されている場合は、Technicalメニュー > Special Configuration > 3620XS Lev. Gauge Adj. (87ページ) を実行すると、CBK-3620XS

の水準器のゼロ調整を行うことができます。

25. 記録メディアフォーマット(コーデック)表示

AXSメモリーカード、SxSメモリーカードに記録されるフォーマット名称が表示されます。

26. 記録動作状態表示

本機の記録動作状態が次のように表示されます。

表示	説明
 Rec	記録中
 Stby	記録待機中
 Cache	ピクチャーキャッシュ レック記録待機中
 CALL	CALLコマンド受信中

27. クリップ名表示

記録待機中は、次に記録されるクリップに付けられるクリップ名の前8文字が表示されます。

記録中は、記録中のクリップに付けられるクリップ名の前8文字が表示されます。

28. High Key/Low Key表示 (ビューファインダー出力)

ビューファインダー出力がHigh Key (高輝度の白飛び確認画面)、またはLow Key (低輝度の暗部の確認画面) であることを表示します (ビューファインダー出力の場合に表示)。

29. タイムデータ表示

メニューのTC/Mediaカテゴリー > TC Displayの設定に従って、デュレーションまたはタイムコードが表示されます (51ページ)。

30. アイリスポジション表示

アイリスの位置が表示されます。(アイリス設定表示対応レンズ装着時のみ)
Eマウントレンズ使用時のアイリス表示値は1/3stop刻みとなります。

【ご注意】

T値が取得できない場合など、T値ではなくF値が表示される場合があります。

31. フォーカスポジション表示

フォーカスの位置を表示します。(フォーカス設定表示対応レンズ装着時のみ)

32. ズームポジション表示

ズームの焦点距離が表示されます。(ズーム設定表示対応レンズ装着時のみ)

33. 水準器表示

水準器の情報が数値で表示されます。

R (Roll) は本機の水平方向の傾きです。

T (Tilt) は本機の上下方向の傾きです。

Technicalメニュー > Special Configuration > Level Gauge Adjust (87ページ) を実行すると、水準器のゼロ調整を行うことができます。

本機にCBK-3620XSが接続されている場合は、CBK-3620XSのイメージャーブロックに搭載されている水準器の情報が表示されます。Technicalメニュー > Special Configuration > 3620XS Lev. Gauge Adj. (87ページ) を実行すると、CBK-3620XSの水準器のゼロ調整を行うことができます。

34. 同時記録状態表示

1スロット同時記録時のサブクリップ記録フォーマットが表示されます。(106ページ)。

35. SxS Sub LUT表示

SxS 1スロット同時記録時のサブクリップに記録するLUT設定が表示されます。

36. SxS LUT表示

SxS記録のLUT設定が表示されます。

37. Base ISO表示

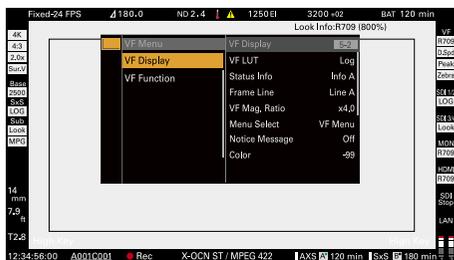
設定された基準感度が表示されます。

38. 有効画サイズ表示

メニューのProjectカテゴリ > Imager Modeの設定に従って、有効撮像画サイズとデアナモ変換の有無が表示されます。Surround Viewモードの場合は、デアナモ変換倍率アイコンの下にSur.Vアイコンが表示されます(51ページ)。

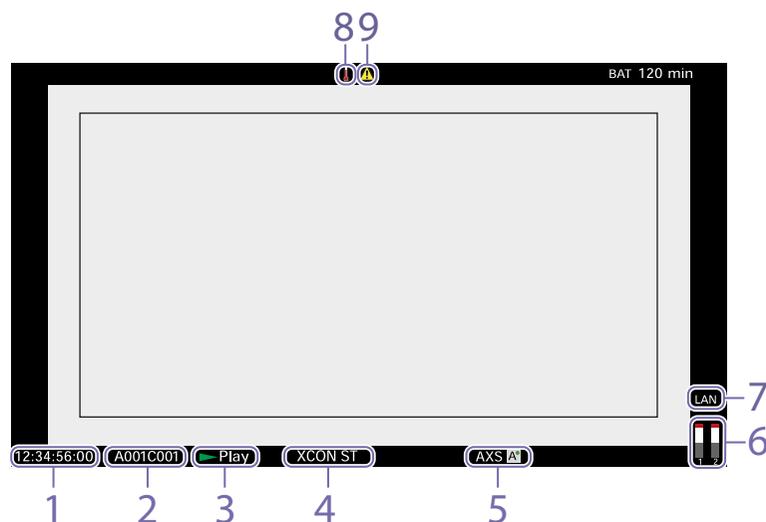
ビューファインダー画面のメニュー表示と設定

本機にDVF-EL200が装着されている場合、DVF-EL200のMenuボタンを長押しすると、ビューファインダー画面にMonitoringメニューのVF Display (82ページ)とVF Function (83ページ)の設定メニューが表示されます。ビューファインダー画面を見ながら、これらの機能を設定できます。



再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次の情報が表示されます。



1. タイムデータ表示

メニューのTC/Mediaカテゴリ > TC Displayの設定に従って、デュレーションまたはタイムコードが表示されます(51ページ)。

2. 再生クリップ名表示

再生画像のクリップ名の前8文字が表示されます。

3. 再生動作状態表示

再生動作の状態が表示されます。CALLコマンドを受信すると、「CALL」が表示されます。

4. 再生メディアフォーマット(コーデック)表示

再生中のクリップの記録フォーマット(コーデック)が表示されます。

5. 再生メディア表示

再生中の記録メディアが表示されます。メモリーカードがプロテクトされている場合は、右に🔒マークが表示されます。

6. オーディオレベルメーター表示

再生中の音声チャンネル1、2のレベルが表示されます。

7. ネットワーク接続状態表示

ネットワークの接続状態(LANまたはWi-Fi)が表示されます。

条件	表示
ネットワーク接続設定状態で接続断	点滅
などのエラー時	
ネットワーク接続設定状態で接続時	点灯
ネットワーク接続機能を使用してい	空欄
ない	

8. 温度計アイコン

温度上昇に関する警告メッセージがあるときに表示されます。

メニューのInfoカテゴリに内容が表示されます。

9. 警告アイコン

温度上昇を除く警告メッセージがあるときに表示されます。

メニューのInfoカテゴリに内容が表示されます。

電源の準備

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック

BP-FL75

BP-GL95B

ACアダプター

AC-DN10A

バッテリーパックを使用する

バッテリーパックをバッテリーパック取り付け部(11ページ)に差し込んで、下にスライドさせてロックします。

取り外すときは、バッテリーリリースレバー(11ページ)を押しながらバッテリーパックを上にもスライドさせてロックを外し、取り外します。

【ご注意】

- 装着する前に、バッテリーチャージャーを使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。
- バッテリーアダプターを取り外す際は、必ず手で支えながら外してください。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、サブディスプレイ画面(33ページ)およびビューファインダー・モニター画面(13ページ)にバッテリー残時間またはバッテリー電圧が表示されます。

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると、バッテリー残量表示が点滅し、RECランプの点滅で警告します。

さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると、バッテリーパックの残りがなくなことを知らせるメッセージが表示されます。

充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

フルメニューのTechnical > Battery (90ページ)で変更します。

AC電源を使用する(DC IN電源)

本機はACアダプター AC-DN2B(別売り)、AC-DN10A(別売り)およびDCケーブル CCDD-X2(別売り)を使用することによって、AC電源に接続して動作させることができます。入力電圧範囲は11V～17Vと22V～32Vに対応しています。

【ご注意】

- バッテリー運用時にDC IN電源へ切り換える際には、12V～17Vの電圧の電源を使用してください。
- 22V～32V電圧を使用する場合は、本機の電源スイッチをOFFの状態でも電源接続(給電)してください。
- 11V～17V電圧使用状態から22V～32V電圧使用状態に直接切り換える、またはその逆の状態に直接切り換えることはしないでください。故障の原因となります。

バッテリーパックとDC IN電源の併用について

バッテリーパックおよびDC IN電源がどちらも給電可能な電圧の場合は、DC IN電源側から優先的に給電状態となります。

【ご注意】

- バッテリー運用時にDC IN電源からの給電状態に切り換えると、以下の要因等により本機の動作が停止する場合がありますのでご注意ください。
- DCコネクタ挿抜時のコネクタ部のチャタリング(コネクタこじり等)
 - 電源供給元が切り変わったときの電圧ドロップ(外部負荷状態が重いほど大きい)

時計を合わせる

本機を初めて使用するとき、電源を入れるとサブディスプレイ画面に初回設定画面が表示されます。

この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

Time Zone について

UTC (協定世界時) からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

【ご注意】

Time Zoneを変更すると時差に合わせて時刻設定が変更されます。

日付/時刻を設定する

MENUダイヤル (9ページ) を回して項目や数値を選び、MENUダイヤルを押して決定します。最後にカーソルをSetに合わせてMENUダイヤルを押すと、設定画面が消えて時計合わせが完了します。

初回設定画面が消えた後は、フルメニューの Maintenance > Clock Set (91ページ) を使用してTime Zoneおよび日時の設定を変更できます。

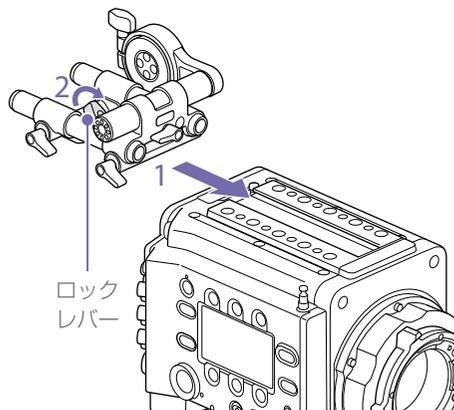
【ご注意】

- 動作電源が供給されていない (バッテリーバックもDC IN電源も接続されていない) 状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

VFアタッチメントとハンドルの取り付け

VFアタッチメントを取り付ける

- 1 VFアタッチメントを矢印の方向にスライドさせて取り付ける。
- 2 VFアタッチメントの前後位置を決め、ロックレバーを回して締める。



[ご注意]

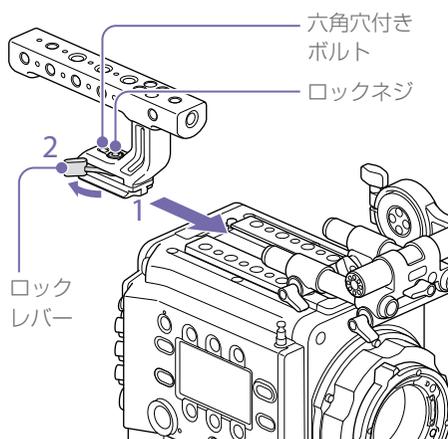
- VFアタッチメントを前後逆および左右方向に取り付けることもできます。
- ロックレバーが締めにくい場合や緩む場合は、ロックレバー上にあるロックネジを六角レンチ (3 mm) で回して固定することができます。

VFアタッチメントを取り外すには

ロックレバーを回して緩め、リリースボタンを押してVFアタッチメントを取り付けたときと逆の方向にスライドさせて抜き取ります。

ハンドルを取り付ける

- 1 ハンドルを矢印の方向にスライドさせて取り付ける。
- 2 ハンドルの前後位置を決め、ロックレバーを回して締める。



[ご注意]

- 六角レンチ (5 mm) でロックネジを回して固定することもできます。
- 使用時にハンドルのロックレバーが緩む場合は、ロックネジの隣にある六角穴付きボルト (2 mm) を締めると緩まなくすることができます。
- ハンドルを前後逆方向に取り付けることもできます。

ハンドルを取り外すには

ロックレバーを回して緩め、リリースボタンを押してハンドルを取り付けたときと逆の方向にスライドさせて抜き取ります。

レンズの取り付けとフランジバックの調整

推奨PLマウントレンズ (Super 35mm
サイズ用)

SCL-PK6/F、SCL-PK6/M (6本セット、
20 mm/25 mm/35 mm/50 mm/85 mm/
135 mm)

SCL-PK3/F、SCL-PK3/M (3本セット、
20 mm/25 mm/135 mm)

SCL-P11X15

推奨Eマウントレンズ

SELP28135G、SEL1635GM、
SEL2470GM、SEL70200GM、
SEL100400GM、SEL1224G、
SEL35F14Z、SEL50F14Z、SEL85F14GM、
SEL90M28G、SEL100F28GM

【ご注意】

一部のEマウントレンズでは制御できない場合があります。
推奨レンズをご使用ください。

- ◆ 本機で使用できるレンズについて詳しくは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

⚠ 警告

レンズを太陽に向けて放置しないでください。
太陽光がレンズを通して機器内部に焦点を結び、
火災の原因となることがあります。

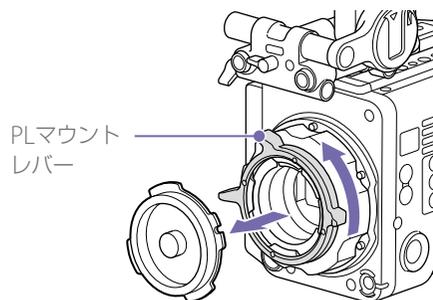
【ご注意】

- レンズおよびアダプターの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- レンズは精密部品です。レンズは、マウント部側を下にして直に置かないでください。必ず付属のキャップをかぶせてください。
- 本機のレンズインターフェースは、工場出荷時にSCL-P11X15およびCooke型コネクター付きレンズ用に合わせて設定されています。SCL-PK6、SCL-PK3やそれ以外のCooke型コネクターを持たないレンズを使用する場合は、フルメニュー > Technical > Lens Configuration > PL-Mt Interface Position (88ペー

ジ)をOffに設定します。インターフェースが正しく設定されていないと、レンズを取り付け後に電源を入れると警告メッセージが表示されます。

PLマウントレンズを取り付ける

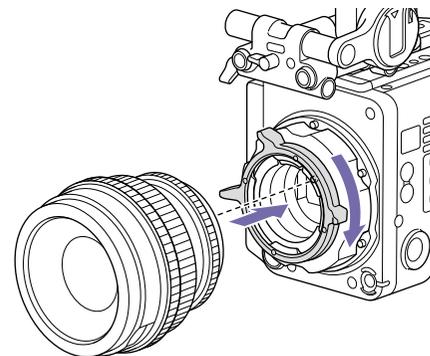
- 1 PLマウントレバーを反時計方向に回して、レンズマウントからマウントキャップを外す。



【ご注意】

PLマウントレバーを反時計回りにストッパーの位置まで回してください。

- 2 レンズマウント上面右の位置決めピンに、レンズの凹部を合わせ、レンズをマウントに差し込む。
- 3 レンズを支えながら、PLマウントレバーを時計方向に回して、レンズを固定する。



【ご注意】

PLレンズを装着の際は、レンズを回さないでください。レンズを回すと、ホットシューピン折れの原因となります。

Cooke /i レンズを取り付けるには

レンズ側のコンタクトと本機側のホットシューの位置を合わせてください。レンズアダプター側のコネクターは2か所ありますが、どちらも使用できます。

レンズを取り外すには

- 1 レンズを下から支えて、PLマウントレバーを反時計方向に回す。
- 2 レンズを前方に引き抜く。

【ご注意】

別のレンズをすぐに取り付けたいときは、マウントキャップの凹部を確実に合わせて、PLマウントレバーを時計方向に回して固定してください。

フランジバックを調整する

本機はフランジバックを調整した状態で出荷しています。フランジバックの調整を行いたい場合は、レンズマウントを取り外し、シムを適切な厚みのものと交換してください。0.01 mm単位で±0.1 mmの調整ができます。

シムについて

本機には以下のシムが同梱されています

0.05 mm × 1 (円弧型)

0.01 mm × 15 (1/3円弧型)

1/3円弧型シムは3枚組でご使用ください。フランジバックを長く調整する場合は、シムを挿入してください。本機は出荷時に以下の3種類のシムによってフランジバックを調整した状態で出荷しています。

0.10 mm (円弧型)

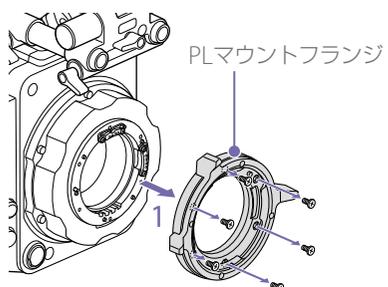
0.05 mm (円弧型)

0.01 mm (1/3円弧型)

また、出荷時のシム厚みを示すシールが貼られています。

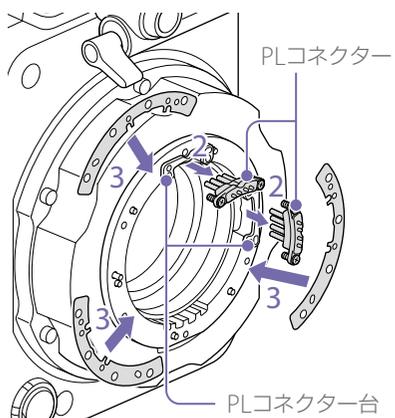
フランジバックの調整

- 1 トルクスネジ (6本) を外してPLマウントフランジを取り外す。



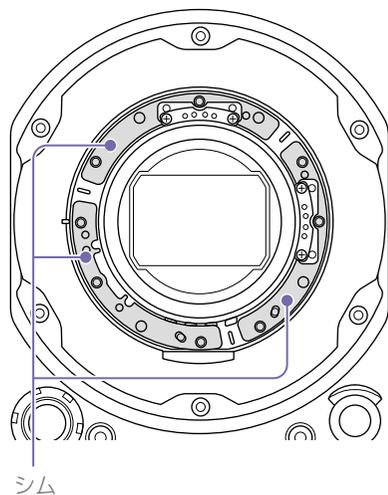
- 2 PLコネクタ (2か所) の両側の十字ネジ (4本) を緩めてPLコネクタとPLコネクタ台を取り外す。

- 3 PLマウントアダプター (3か所) にシムを取り付ける。



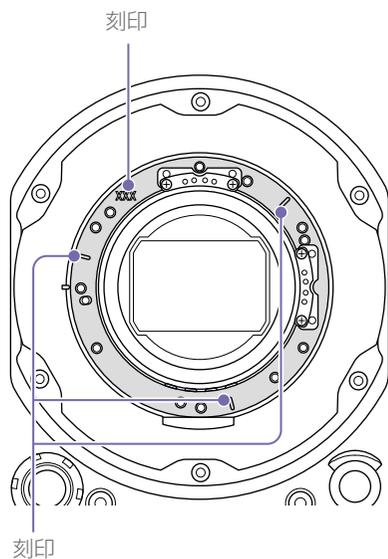
1/3円弧型のシムを使用する場合

3か所とも同じ厚みになるようにシムを取り付けます。



円弧型のシムを使用する場合

刻印がある面を表にして取り付けます。

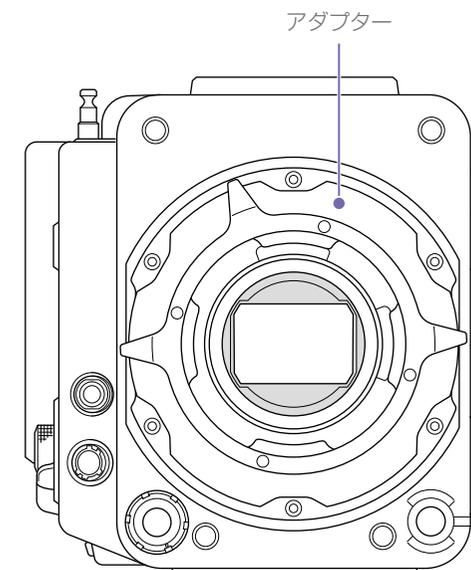


- 4 PLコネクタ (2か所) を元の位置に戻し、締め付けトルク $0.18\text{N}\cdot\text{m}$ で十字ネジ (4本) を締め付ける。

- 5 PLマウントフランジを元の位置に戻し、トルクスレンチ T8 を使用して、締め付けトルク $0.35\text{N}\cdot\text{m}$ でトルクスネジ (6本) を締め付ける。

フィルターのお手入れについて

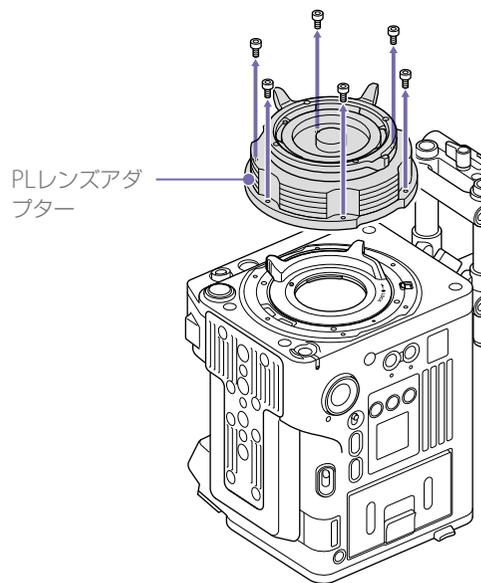
フィルターを掃除するときは、アダプターを外して拭いてください。アダプター中央部 (網掛け部) をクロスなどで拭くと、繊維が付着する場合がありますので注意してください。繊維が付着した場合は、ソフトブラシで掃除してください。



PLレンズアダプターを取り外す

本機にEマウントレンズを取り付ける場合、PLレンズアダプターを取り外します。取り付け／取り外しは、本機後面を下にした状態でを行います。

六角ネジ (2.5 mm、6本) を外してPLレンズアダプターを取り外します。

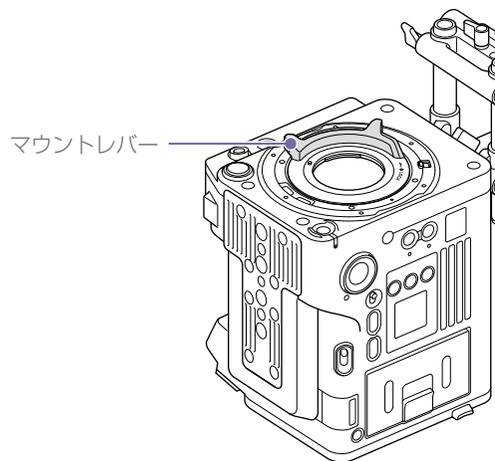


【ご注意】

- バッテリーを取り付けて本機後面を下にして置くと、安定した状態で作業できます。
- 取り付け／取り外し作業時、本機とPLレンズアダプターの端子接点に触れないようにご注意ください。

PLレンズアダプターを取り付けるには

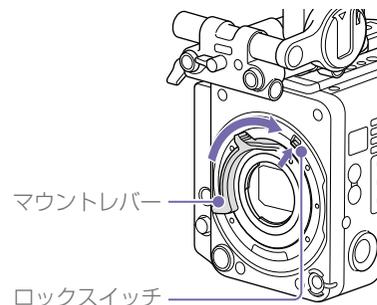
- 1 マウントレバーがロック位置になっていることを確認する。



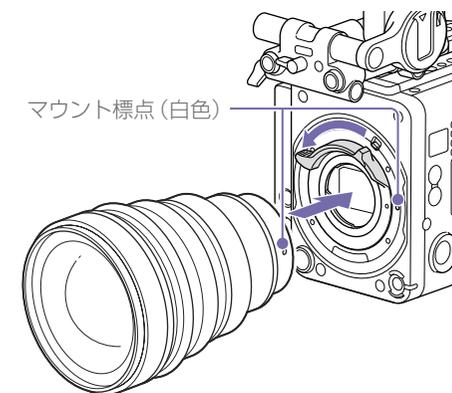
- 2 PLレンズアダプターを元の位置に戻し、六角レンチ (2.5 mm) を使用して、締め付けトルク $0.8 \pm 0.12 \text{ N} \cdot \text{m}$ で六角ネジ (2.5 mm、6本) を締め付ける。

Eマウントレンズを取り付ける

- 1 PLレンズアダプターを取り外す (21ページ)。
- 2 ロックスイッチを上方向に押してから、マウントレバーを時計方向に回してロックを解除する。



- 3 本体とレンズのマウント標点 (白色) を合わせ、レンズをマウントに差し込む。
- 4 レンズを支えながら、マウントレバーを反時計方向に回して、レンズを固定する。



【ご注意】

Eマウントレンズ接続時は、12pinレンズコネクターの動作は保証できません

レンズを取り外すには

- 1 ロックスイッチを上方向に押してから、マウントレバーを時計方向に回してロックを解除する。
- 2 レンズを前方に引き抜く。

【ご注意】

別のレンズをすぐに取り付けないときは、マウントキャップの凹部を確実に合わせて、マウントレバーを反時計方向に回して固定してください。

ビューファインダーの取り付け

本機で使用できるビューファインダー
 DVF-EL200 : OLEDカラービューファインダー
 DVF-L700 : LCDカラービューファインダー

ビューファインダーは別売りです。
 ここではDVF-EL200を取り付ける場合を例に示します。

- ◆ 各ビューファインダーの取り扱いについて詳しくは、使用するビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。

警告

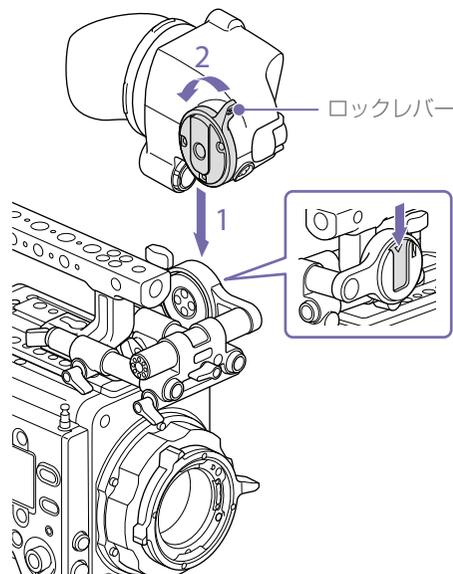
接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

【ご注意】

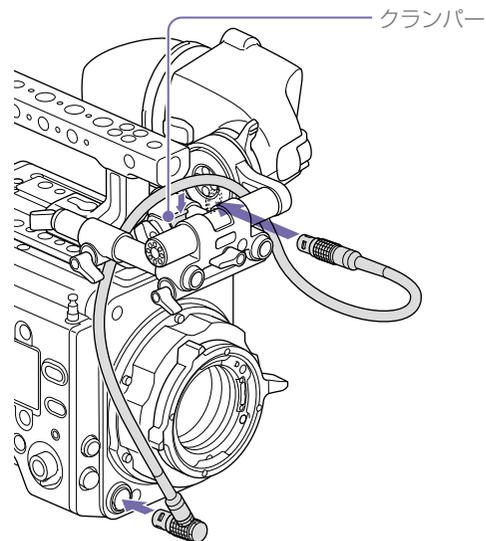
- ビューファインダーの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- DVF-L700を取り付ける場合は、VFケーブル(A-2201-632-AまたはA-2201-633-A)が必要です。また、DVF-L700側のPOWER(電源)スイッチをONにした状態で本機の電源を入れてください。

ビューファインダーを取り付ける

- 1 VFアタッチメントのビューファインダー取り付け部の溝に、ビューファインダーのシューを合わせて取り付ける。
- 2 ビューファインダーのロックレバーをLOCK方向に回して固定する。



- 3 ビューファインダーと本機をVF接続ケーブルで接続する。
 ビューファインダー側：
 コネクターの標点(赤色)を上側にして、奥まで差し込んでください。
 本機側：
 コネクターの標点(赤色)とVF端子の凹部を合わせて、奥まで差し込んでください。



【ご注意】

必要に応じて、クランパーでケーブルを固定してください。

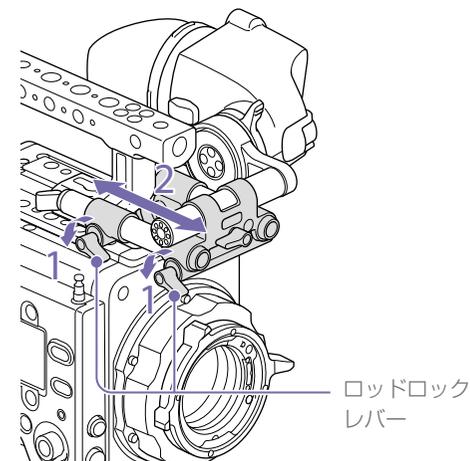
ビューファインダーを取り外すには

- 1 ビューファインダーと本機からVF接続ケーブルを引き抜く。
- 2 ロックレバーをLOCKと反対方向に回してロックを解除し、ビューファインダーをVFアタッチメントから取り外す。

位置を調整する

前後の位置を調整するには

- 1 VFアタッチメントの前後のロッドロックレバーを両方、またはどちらか一方を緩める。
- 2 VFアタッチメントを前後にスライドさせて、ビューファインダーの位置を調整する。



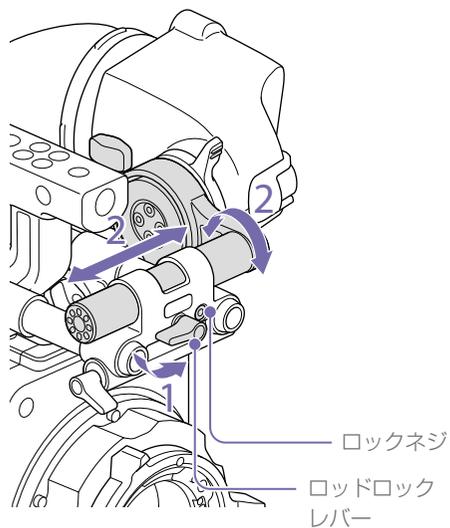
- 3 ロッドロックレバーを締める。

【ご注意】

ロッドロックレバーが回しにくい場合は、レバーを引き出してから操作しやすい位置まで回転させ、押し戻してもとに戻してください。

左右の位置と高さ(角度)を調整するには

- 1 VFアタッチメントの前面のロッドロックレバーを緩める。
- 2 VFアタッチメントのロッドを左右にスライドさせたり、上下に回して、ビューファインダーの位置を調整する。



- 3 ロッドロックレバーを締める。

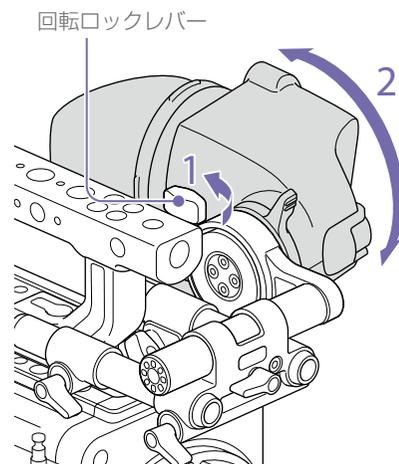
【ご注意】

ロッドロックレバーを緩めたときにビューファインダーが下に回ってしまう場合は、6角レンチ(3mm)でロックネジを調節してください。

角度を調整するには

主に撮影中にビューファインダーの角度を調整します。

- 1 ビューファインダー取り付け部の回転ロックレバーを緩める。
- 2 ビューファインダーを上下に回して角度を調整する。



- 3 回転ロックレバーを締める。

SxSメモリーカードの取り扱い

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード(別売り)に記録します。

SxSメモリーカードについて

本機では、下記のソニー製SxSメモリーカードおよびXQDメモリーカード*をご使用ください。

* XQDメモリーカードを使用するにはXQD ExpressCardアダプター (QDA-EX1)が必要です。

記録フォーマットによって使用可能なメモリーカードが異なります。

SxS PROX

SBP-240F/120F：すべての記録フォーマットで使用可能

SxS PRO+

SBP-256D/E、SBP-128B/C/D/E、SBP-64B/C/D/E：すべての記録フォーマットで使用可能

SxS PRO

SBP-64A、SBP-32：
MPEG 1920x1080i、HD ProRes 422、
HD ProRes 422 Proxy

SxS-1

SBS-128G1B/C、SBS-64G1A/B/C、
SBS-32G1A/B/C：
MPEG 1920x1080i、HD ProRes 422、
HD ProRes 422 Proxy

XQDメモリーカード Sシリーズ、Gシリーズ

QD-S64E、QD-S32E、QD-G128A/E、
QD-G64A/E、QD-G32A/E、QD-G120F、
QD-G240F：すべての記録フォーマットで使用可能

XQDメモリーカード Nシリーズ、Mシリーズ

QD-N64、QD-M128A、QD-M64A、
QD-M32A：
MPEG 1920x1080i、HD ProRes 422 Proxy

ソニー製SxSメモリーカードおよびソニー製XQDメモリーカード以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。これらのカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

◆ SxSメモリーカードの使いかたや使用上のご注意について詳しくは、SxSメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

- SxS、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です。
- XQDはソニー株式会社の商標です。
- ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。
- ProResは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

SxSメモリーカードを入れる

- 1 カードスロット部(9ページ)のカバーを開ける。
- 2 SxSメモリーカードを、SxSのラベルを右にしてカードスロットに差し込む。ACCESSランプ(8ページ)が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。
- 3 カバーを閉める。

ACCESSランプによる状態表示

AとBのカードスロットの状態を示すために、それぞれにACCESSランプがあります。

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されているSxSメモリーカードにアクセス中(データの書き込み/読み出し中)
緑で点灯	スタンバイ状態(装着されているSxSメモリーカードを使用して記録・再生を行います。)
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● SxSメモリーカードが装着されていない。 ● 使用できないカードが装着されている。 ● SxSメモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。

SxSメモリーカードを取り出す

- 1 カードスロット部のカバーを開ける。
- 2 SxSメモリーカードカードを抜く。

【ご注意】

メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

使用するSxSメモリーカードを切り換える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタン(9ページ)を押して使用するカードを切り換えることができます。

記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り換わります。

【ご注意】

記録中および再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り換わりません。

SxSメモリーカードをフォーマット(初期化)する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると、ファイルシステムが異なることを知らせるメッセージが表示されます。その場合は、以下の操作を行ってメモリーカードをフォーマットします。

- 1 メニューのTC/Mediaカテゴリー > Format Mediaを選択する。
- 2 SxS Slot A (スロットA) またSxS Slot B (スロットB) を選択し、MENUダイヤルを押す。フォーマットを実行するかどうかの確認画面が表示されます。
- 3 実行する場合はITEMキー 1とITEMキー 3を同時に3秒間押す。
フォーマットが始まり実行中メッセージが表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUダイヤルを押してメッセージを消します。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。
警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるSxSメモリーカードに交換してください。

【ご注意】

メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。

記録中のフォーマット

記録中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードのフォーマットが可能です。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中(記録中/記録待機中)は、サブディスプレイのホーム画面(33ページ)およびビューファインダー・モニター画面(13ページ)の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されているビデオフォーマット(記録ビットレート)で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

【ご注意】

メモリーカードがプロテクトされている場合は、 マークが表示されます。

SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に挿入されているメモリーカードの残記録可能時間の合計が、Technicalメニュー > System Configuration > Media Near Full Alarm (87ページ) で設定されている時間をきると、記録メディア残量表示が点滅し、RECランプの点滅とブザー音で警告します。空きのあるメディアに交換してください。

- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージがMedia Fullに変わり記録が停止します。

【ご注意】

1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。

記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージMedia Fullが表示されます。

SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがサブディスプレイに表示されます。
修復を実行するには、MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押します。修復が始まります。

実行中メッセージが表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。

修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUダイヤルを押してメッセージを消します。

修復できなかったときは

- プロテクトされたSxSメモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のSxSメモリーカードに交換してください。

- エラーが発生したSxSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合があります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復できませんでした」とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。

- [1] 必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。
- [2] 問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。
- [3] 必要なクリップをフォーマットしたSxSメモリーカードにコピーして戻す。
- [4] 下記の「管理ファイルを更新する」を実施する。

【ご注意】

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

管理ファイルを更新する

クリップが再生できない状態になったときは、管理ファイルを更新することによって症状が改善する場合があります。

管理ファイルの更新には、フルメニューのTC/Media > Update Media (76ページ) を使います。

また、RAW Viewer V2.2以降でエクスポートされたXAVCファイルを、直接SxSメモリーカードの「XDROOT/Clip」ディレクトリ内に書き込

んだ場合、このUpdate Mediaを実行することにより再生が可能になります。

設定データ保存用SDカードの取り扱い

本機では、カメラの設定値ファイルをSDカード（別売り）に保存することができます。保存したファイルはSDカードから読み込んで使用できません。

本機で使用可能なSDカード

SDHCメモリーカード* (Speed Class : 4 ~ 10/
UHS非対応/容量 : 2 ~ 32 GB)

SDメモリーカード* (File system : FAT16/容量 :
2GBまで)

* 本書ではSDカードと表現しています。

SDカードを入れる

SDカードスロット (12ページ) にSDカードを差し込みます。

ACCESSランプ (10ページ) が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

ACCESS ランプによる状態表示

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されているSDカードにアクセス中 (データの書き込み/読み出し中)
消灯	<ul style="list-style-type: none"> SDカードが装着されていない。 使用できないカードが装着されている。

SDカードを取り出す

SDカードを軽く1回押して取り出します。

【ご注意】

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

SDカードをフォーマット (初期化) する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたSDカードを装着すると、ファイルシステムが異なることを知らせるメッセージが表示されます。

- メニューのTC/Mediaカテゴリー > Format Media > SD Cardを選択し、MENUダイヤルを押す。
フォーマットを実行するかどうかの確認画面が表示されます。

- 実行する場合はITEMキー 1とITEMキー 3を同時に3秒間押す。

フォーマットが始まり実行中メッセージが表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUダイヤルを押してメッセージを消します。

【ご注意】

SDカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

AXS-R7を使う

本機にAXS (Access Memory Card System) レコーダー AXS-R7 (別売り) を取り付けて、RAW またはX-OCNの映像・音声を記録できます。

【ご注意】

本機にAXS-R7を取り付ける場合、本機のファームウェアバージョンに合わせてバージョンアップが必要です (31ページ)。以下の組み合わせでご利用ください。

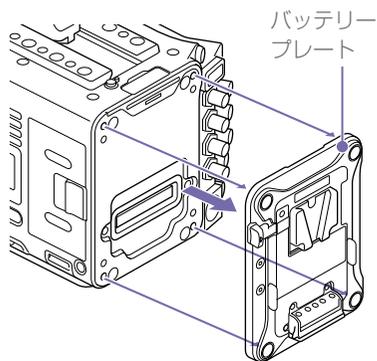
本機のバージョン	AXS-R7のバージョン
1.0、1.01	1.1
2.01	2.0
3.0	3.0
4.0	4.0
5.0	5.0

AXS-R7を取り付ける

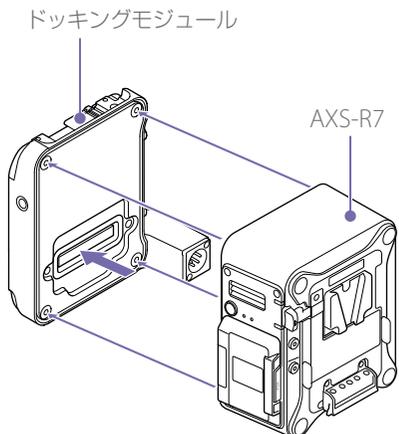
【ご注意】

AXS-R7の取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

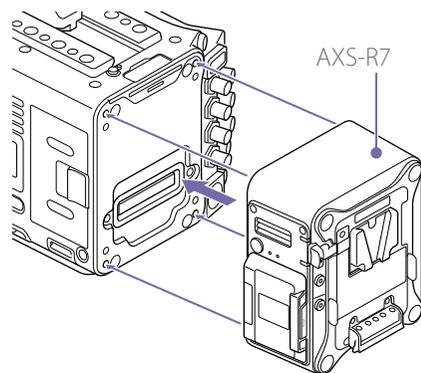
- 1 本機後面の六角ネジ (3 mm、4本) を緩めて、バッテリープレートを取り外す。



- 2 AXS-R7後面の六角ネジ (4本) を緩めて、AXS-R7からドッキングモジュールを取り外す。



- 3 AXS-R7を本機に取り付け、六角ネジ (4本) を締める。

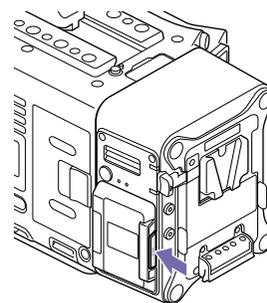


AXS-R7を取り外すには

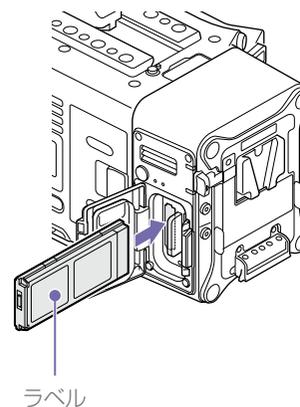
六角ネジ (4本) を緩めて、AXS-R7を取り外します。

AXSメモリーカードを入れる

- 1 メモリスロットカバーオープンボタンを押してカバーを開ける。



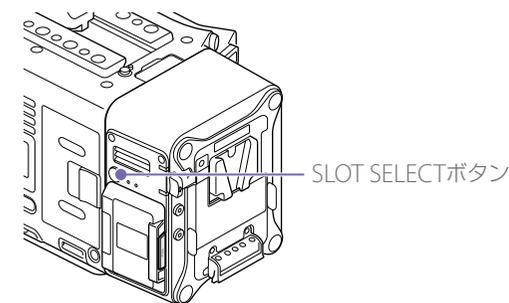
- 2 AXSメモリーカードのラベルを図の向きにしてカードスロットに差し込む。



- 3 カバーを閉める。

AXSメモリーカードを切り換える

AXSメモリーカードが2枚装着されているときは、AXS-R7のSLOT SELECTボタンを押してアクティブなスロットを切り換えます。



AXSメモリーカードを取り出す

AXS-R7のメモリスロットカバーを開け、AXSメモリーカードを手で引き抜きます。

【ご注意】

AXSメモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

AXSメモリーカードに記録する

メニューのProjectカテゴリ > AXS Rec Format (51ページ) で、AXSメモリーカードに記録するフォーマットを選択できます。

AXS-R7内のAXSメモリーカードは、AXS単独記録実行中にカードがフルになったときは、もう1枚のカードに自動的に切り換わります。

S24またはS48 AXSメモリーカード使用時、AXS Rec FormatとImager Modeの設定によって以下の制限があります。S24 AXSメモリーカードが使用できない状態のときに、S24 AXSメモリーカードが検出されると、注意メッセージが表示されます。

【ご注意】

ProRes 4444 HD Pのビデオフォーマットでの記録時は、AXS同時記録はできません。

AXS Rec Format	Imager Mode	撮像フレームレートと対応S24/S48 AXSメモリーカード									
		24	25	30	48	50	60	75	110	120	
X-OCN XT	3.8K 16:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	—
	3.8K 16:9 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—
	4K 2.39:1	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	—
	4K 17:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	—	—
	4K 17:9 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—
	4K 4:3	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	S48	S48	—	—	—
	4K 4:3 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—	—
	4K 6:5	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	S48	—	—	—	—
	5.7K 16:9	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	S48	—	—	—	—	—
	6K 2.39:1	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	S48	—	—	—	—
6K 17:9	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	S48	—	—	—	—	—	

AXS Rec Format	Imager Mode	撮像フレームレートと対応S24/S48 AXSメモリーカード									
		24	25	30	48	50	60	75	110	120	
RAW SQ	6K 1.85:1	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	S48	—	—	—	—	—
	6K 3:2	S48	S48	S48	—	—	—	—	—	—	—
	3.8K 16:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	—	—
	3.8K 16:9 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—
X-OCN ST	4K 17:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	—	—
	4K 17:9 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—
	3.8K 16:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—
	3.8K 16:9 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—
	4K 2.39:1	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48
	4K 17:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	—	—
	4K 17:9 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—
	4K 4:3	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	—	—	—
	4K 4:3 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—	—
	4K 6:5	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	—	—	—	—
	5.7K 16:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	S48	—	—	—	—
	6K 2.39:1	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	—	—	—
6K 17:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	S48	—	—	—	—	
6K 1.85:1	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	S48	—	—	—	—	
6K 3:2	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	S48	S48	—	—	—	—	

AXS Rec Format	Imager Mode	撮像フレームレートと対応S24/S48 AXSメモリーカード									
		24	25	30	48	50	60	75	110	120	
X-OCN LT	3.8K 16:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—
	3.8K 16:9 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—
	4K 2.39:1	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48
	4K 17:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—
	4K 17:9 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—
	4K 4:3	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—
	4K 4:3 Surround View	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—	—	—	—
	4K 6:5	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—
	5.7K 16:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—
	6K 2.39:1	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—
	6K 17:9	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—
	6K 1.85:1	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	—	—	—	—
	6K 3:2	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S24/ S48	S48	—	—	—	—

AXSメモリーカードをフォーマット(初期化)する

本機に装着されたAXS-R7で初めてAXSメモリーカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

AXS-R7で使用するAXSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。AXS-R7を装着して本機の電源を入れたときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。AXS-R7が対応していないフォーマットで初期化されたAXSメモリーカードを装着すると、ファイルシステムが異なることを知らせるメッセージが表示されます。

- 1 メニューのTC/Mediaカテゴリー > Format Mediaを選択し、MENUダイヤルを押す。
- 2 AXS Slot A (スロットA) またAXS Slot B (スロットB) を選択する。
フォーマットを実行するかどうかの確認画面が表示されます。
- 3 実行する場合はITEMキー 1とITEMキー 3を同時に3秒間押す。
フォーマットが始まり実行中メッセージが表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUダイヤルを押してメッセージを消します。

【ご注意】

メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中(記録中/記録待機中)は、サブディスプレイのホーム画面(33ページ)およびビューファインダー・モニター画面(13ページ)の記録メディア残量表示部で、装着したAXSメモリーカードの残量を確認することができます。現在設定されているビデオフォーマット(記録ビットレート)で撮影した場合に記録可能な時間を、メディアの残量から計算して分単位で表示します。

【ご注意】

AXSメモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

AXSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なAXSメモリーカードを装着したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

修復を実行するには、MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押します。修復が始まります。

実行中メッセージが表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。

修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。MENUダイヤルを押してメッセージを消します。

修復できなかったときは

- プロテクトされたAXSメモリーカードや、エラーが発生したAXSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のAXSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したAXSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。

【ご注意】

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

管理ファイルを更新する

クリップが再生できない状態になったときは、管理ファイルを更新することによって症状が改善する場合があります。

管理ファイルの更新には、フルメニューのTC/Media > Update Media (76ページ) を使用します。

AXS-R7のファームウェアをバージョンアップする

AXS-R7を取り付けた状態で、AXS-R7のファームウェアをバージョンアップできます。

【ご注意】

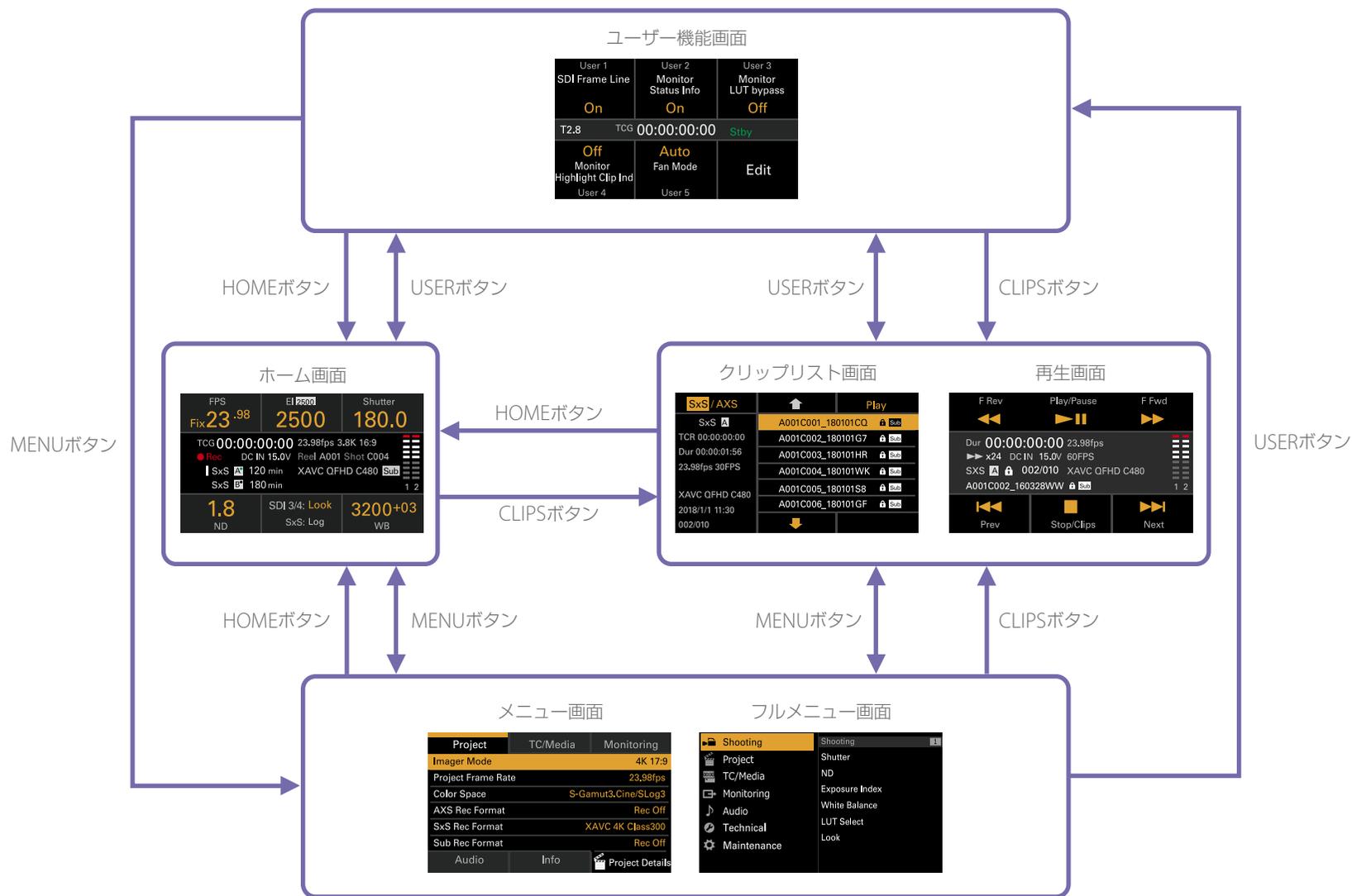
- この操作を行うには、本機のファームウェアバージョンが2.0以上である必要があります。
- AXS Rec Format (51ページ) をRec Offに設定してから操作を行ってください。

- 1 バージョンアップ用として容量が4GB ~ 32GBのUSBメモリーを用意する。
- 2 PCなどでUSBメモリーをフォーマットする。フォーマット要件は以下のとおりです。この設定以外でフォーマットしたUSBメモリーではバージョンアップができません。
ファイルシステム：FAT32
アロケーションユニットサイズ：32KB

- 3 フォーマットしたUSBメモリーのルートディレクトリ直下に所定のバージョンアップデータを書き込む。
USBメモリーにバージョンアップデータ以外のデータは書き込まないでください。
- 4 外部機器接続端子 (12ページ) にバージョンアップ用USBメモリーを装着する。
- 5 Maintenanceメニュー > Firmware > FW Update-AXS-R7 (92ページ) で、AXS-R7のファームウェアバージョンアップを実行する。バージョンアップが完了するまで約15分かかります。バージョンアップが完了すると、自動で本機が再起動し、「Firmware Upgrade Done」が表示されます。

サブディスプレイ

サブディスプレイにはホーム画面、クリップリスト画面、再生画面、メニュー画面、フルメニュー画面、ユーザー機能画面の6種類の画面が表示されます。アシスタントサイドの各ボタンを操作して、サブディスプレイの各画面が下図のように遷移します。

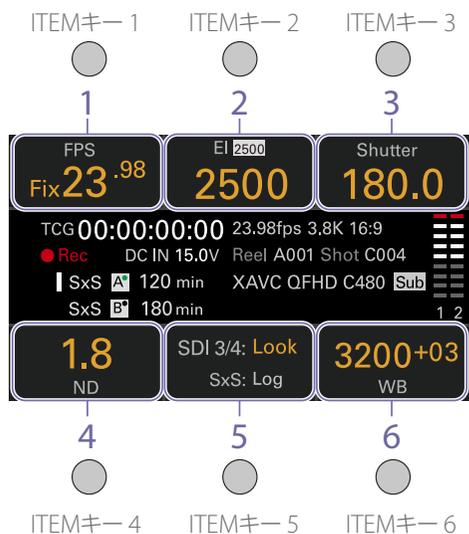


ホーム画面

アシスタントサイドのHOMEボタンを押すとホーム画面が表示されます。ホーム画面では本機の状態の確認や基本的な項目の設定ができます。



項目名/設定値/機能表示部



【ご注意】

1～6に表示される各項目はITEMキー1～6(44ページ)にそれぞれ対応しています。ITEMキーを押すと、対応する項目の操作ができます。オレンジ文字色で表示している機能に対してITEMキーは有効となります。

1. FPS

撮像フレームレートの表示/設定

2. Exposure Index/Gain

Exposure Indexの表示/設定またはRM-B170などのリモートコントロールユニットで設定したゲイン値の表示(上部アイコンには基準感度を表示)

【ご注意】

ゲイン値は、Technicalメニュー>System Configuration>RM/RCP Paint Control(87ページ)がOnに設定されている場合のみ表示されます。

3. Shutter

電子シャッターの開角度/スピードの表示/設定

4. ND Filter

NDフィルターのポジションの表示/設定

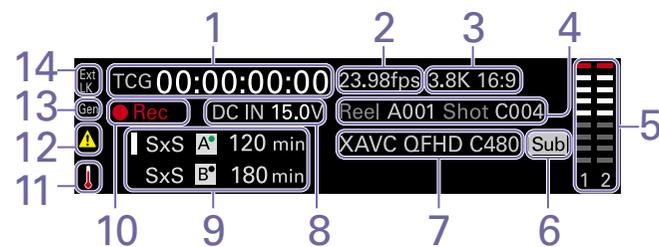
5. LUT

モニター LUTの表示/設定

6. WB (White Balance)

ホワイトバランスの表示/設定

ステータス表示部



1. タイムデータ表示

メニューのTC/Mediaカテゴリー>TC Displayの設定に従って、デュレーションまたはタイムコードが表示されます(51ページ)。

タイムデータに現在表示しているデータの種別は、次のように表示されます。

TCG：記録タイムコード

TCR：再生タイムコード

Dur：デュレーション

2. フレームレート表示

メニューのProjectカテゴリー>Project Frame Rateの設定値が表示されます(51ページ)。

3. イメージャーモード表示

メニューのProjectカテゴリー>Imager Modeの設定値、およびデスクトップ情報が表示されます。

4. クリップ名表示

「Reel：Camera ID + Reel Number」と「ShotNumber」が表示されます。

5. 音声レベルメーター

音声記録レベルまたは再生レベルが表示されます。「1」、「2」は音声チャンネル1、2を示します。

6. 同時記録情報

表示しているメディアに1スロット同時記録を行う設定になっているときは、表示しているメイン記録フォーマットの右側にSubアイコンが表示されます。

7. 記録フォーマット(コーデック)表示

AXSメモリーカード、SxSメモリーカードに記録されるフォーマット名称が表示されます(55ページ)。

8. 電源電圧/バッテリー残量表示

電源電圧またはバッテリー残量が表示されます。

9. メディア残量表示

記録アクティブアイコン、メディア種類、スロット種類(A/B)、残時間(現在の記録フォーマットで記録できる時間)が表示されます。また、再生中のクリップ名が表示されます。

10. 記録動作状態表示

本機の記録動作状態が次のように表示されます。

表示	説明
Stby	記録待機中
●Rec	記録中
●Cache	ピクチャーキャッシュレック記録待機中
CALL	CALLコマンド受信中

11. 温度計アイコン

温度上昇に関する警告メッセージがあるときに表示されます。

メニューのInfoカテゴリーに内容が表示されます。

12. 警告アイコン

温度上昇を除く警告メッセージがあるときに表示されます。

メニューのInfoカテゴリーに内容が表示されます。

13. ゲンロックアイコン

ゲンロックがかかっている場合、ロック状態であることが表示されます。

14. Ext-LKアイコン

内蔵のタイムコードジェネレーターがTC IN端子に接続した外部信号にロックしているときに表示されます。

サブディスプレイのホーム画面の操作方法

基本操作

- HOMEボタンを押す。
ホーム画面が表示されます。



- ITEMキー 1～6で設定したい項目を選ぶ。
設定を変更できる項目は、設定値がオレンジ色になっています。
下図はITEMキー 3を押した場合の表示例です。

Step / Cont.	↑	Set
Current: △144.0 (1/59.95)	172.8 144.0 ● 90.0 45.0 22.5	Use buttons or dial to select.
Step Edit	↓	Cancel

- ↑ボタン (ITEMキー 2)、↓ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、選択項目または設定値にカーソルを合わせる。
- MENUダイヤルまたはSetボタン (ITEMキー 3) を押して決定する。

サブディスプレイの明るさを変更する

サブディスプレイの明るさは、フルメニューのTechnical > Control Display > Brightness level (90ページ) で変更できます。

また、ホーム画面で、BACKボタンを押しながらMENUダイヤルを時計方向に回すと、サブディスプレイの明るさが、その時点での設定を基点にMinimum→Low→Mid→Highの順で変わります。

ホーム画面で、BACKボタンを押しながらMENUダイヤルを反時計方向に回すと、サブディスプレイの明るさが、その時点での設定を基点にHigh→Mid→Low→Minimumの順で変わります。

【ご注意】

ディスプレイの明るさの設定はサブディスプレイとミニディスプレイ共通で、設定が両画面に同時に反映されます。

RM/RCP Paint Control有効時の表示と動作について

- Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、El操作部にはRM-B170などのリモートコントロールユニットで設定したゲイン値が表示されます。この場合、El値は変更できませんが、ゲイン値を変更できます (36ページ)。ただし、Base ISOの切り換えは可能です。
また、この場合、MonitorおよびビューファインダーのLUT設定が可能となり、R709(800%)またはR709-Likeを選択すると、SDR Gain設定で出力ゲインを変更できます。ただし、Projectメニュー > Basic

Setting > Input Color Space (71ページ) がRec.709/User Gammaに設定されている場合は、出力ゲインは変更できません。

- Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、以下の操作部はグレーアウトされ操作できません。リモートコントロールユニットで設定してください (114ページ)。

- シャッター操作部
- WB操作部

Step Edit操作

基本操作の手順2でITEMキー 4の位置に「Step Edit」が表示されていた場合は、選択できる設定値を変更することができます。設定値編集画面で設定値の追加と削除が行えます。

- 設定値選択画面で、変更または削除したい設定値にカーソルを合わせ、Step Editボタン (ITEMキー 4) を押す。
設定値編集画面が表示されます。

Step Edit	+	Use buttons or dial to select.
	↑	
	90.0	
	↓	
Add Delete	-	Cancel

- 設定値を削除する場合は、Delete (ITEMキー 4) を押す。

【ご注意】

Deleteの文字がオレンジ色の場合に、選択している設定値を削除できます。

- ↑ボタン (ITEMキー 2)、↓ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、設定値を変更する。

- 設定値が決まったら、Addボタン (ITEMキー 4) を押す。
設定値が追加され、設定値選択画面に戻ります。

【ご注意】

Addの文字がオレンジ色の場合に、設定値を追加できません。

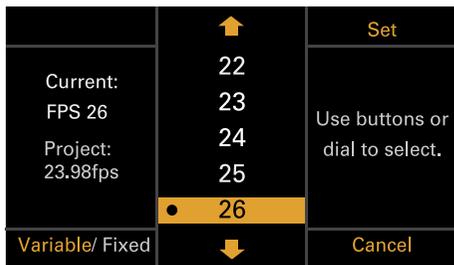
White Balance設定時の操作について

White Balanceの設定値編集画面では、Coarse/Fineボタン (ITEMキー 1) を押すと、1ステップの可変量を「粗い」(Coarse) または「細かい」(Fine) に切り換えることができます。また、Temp/Tintボタン (ITEMキー 3) を押すと、変更する値の色温度 (Temp) と色合い (Tint) を切り換えることができます。

Coarse / Fine	+	Temp / Tint
Step Edit	↑	Use buttons or dial to select temp.
(User WB)	3200K +03	
Base: 3200 K + 03	↓	Coarse=100K Fine=1K
Add Delete	-	Cancel

FPS操作

ホーム画面でITEMキー 1を押してFPS操作画面表示時、Variable/Fixedボタン (ITEMキー 4) を押すと、Project Frame Rateに対して等速撮影を行う「Fixed」と可変速撮影を行う「Variable (Select FPS)」を切り換えることができます。



【ご注意】
Select FPS時は音声記録されません。

EI操作/Gain操作

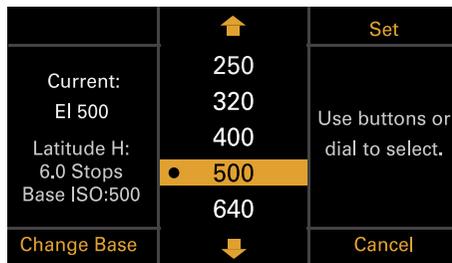
EI値を変更できます。また、Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニットが接続されていないときは、EI値の代わりにゲイン値が表示され、設定を変更できます。

EI値またはゲイン値を変更する

【ご注意】
ここではEI値を変更する場合の画面を例に示します。

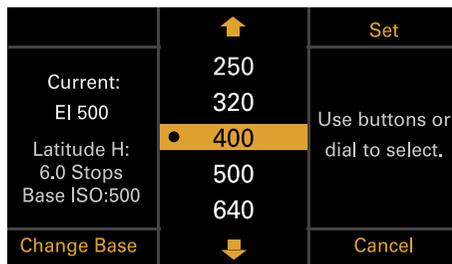
ホーム画面でITEMキー 2を押すと、EI値またはゲイン値を変更できます。

- 1 ホーム画面でITEMキー 2を押す。
EI操作画面またはGain操作画面が表示されます。



- 2 ↑ ボタン (ITEMキー 2)、↓ ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで設定値を変更する。

- 3 MENUダイヤルまたはSetボタン (ITEMキー 3) を押して決定する。

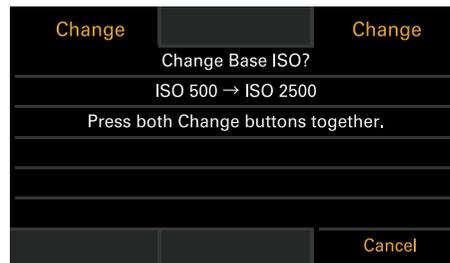


Base ISOを切り換える

EI操作画面またはGain操作画面でITEMキー 4を押すと、Base ISOを切り換えることができます。

- 1 EI操作画面またはGain操作画面でITEMキー 4を押す。
Base ISOの切り換え画面が表示されます。

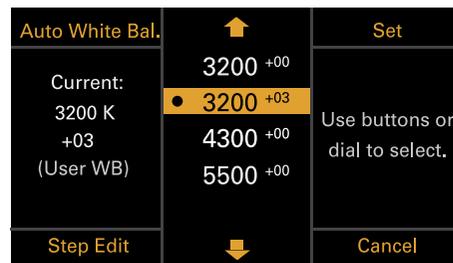
- 2 2つのChangeボタン (ITEMキー 1とITEMキー 3) を同時に押す。



Base ISOが切り換わります (42ページ)。

AWB操作

ホーム画面でITEMキー 6を押してホワイトバランス操作画面表示時、Auto White Bal.ボタン (ITEMキー 1) を押すとオートホワイトバランスを実行します。実行後、Addボタン (ITEMキー 4) を押して設定値をステップに追加します。また、設定値をステップに追加する前に、Temp/Tintボタン (ITEMキー 3) を押して色温度 (Temp) と色合い (Tint) を切り換えることにより各値を微調整できます。



【ご注意】
AWB操作を行う場合は、均一適正輝度のホワイトチャートを撮像してください。

LUT操作

LUTを設定する

ホーム画面でITEMキー 5を押すと、各出力系統のLUTを設定できます。

- 1 ホーム画面でITEMキー 5を押す。
LUT選択画面が表示されます。



LUT選択画面は2ページで構成されており、ITEMキー 1を押すとページを切り換えることができます。
ページ1では、SDI 1/2(表示のみ)、SDI 3/4、Monitor、HDMIのLUT設定ができます。
ページ2では、Viewfinder、SDR Gain、SxS Rec、Sub RecのLUT設定ができます。

【ご注意】
Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) がRec.2020/User GammaまたはRec.709/User Gammaに設定されている場合は、LUT選択画面にはユーザーガンマの情報が表示されません。

- 2 ITEMキー 2、3、5、6で設定したい出力を選ぶ。
設定値変更画面が表示されます。

3 ↑ボタン (ITEMキー 2)、↓ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、設定値を変更する。

4 MENUダイヤルまたはSetボタン (ITEMキー 3) を押して決定する。

Preset Lookを変更する

ページ1またはページ2のEdit Lookボタン (ITEMキー 4) を押すと、LUT選択画面でLookを選択したときのLUTを設定できます。

1 LUT選択画面でEdit Lookボタン (ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。

CDL / ART Info	↑	Select
Category	Preset look	
Preset Look	s709	
ASC CDL Process	CDL Off	
ASC CDL Select	03: Scene4_Dark_160830	
Load File	↓	Done

2 Selectボタン (ITEMキー 3) を押す。
選択可能な値が表示されます。

3 ↑ボタン (ITEMキー 2)、↓ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、設定値を変更する。

4 MENUダイヤルまたはSetボタン (ITEMキー 3) を押して決定する。

LUT操作のカテゴリを変更する

LUT操作の対象となるカテゴリを、User 3D LUT、ACESまたはPreset Lookのいずれかに変更できます (69ページ)。

1 LUT選択画面でEdit Lookボタン (ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。

2 ↑ボタン (ITEMキー 2)、↓ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、カテゴリの選択が可能な状態にする。

3 MENUダイヤルまたはSelectボタン (ITEMキー 3) を押す。

4 ↑ボタン (ITEMキー 2)、↓ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、カテゴリ (User 3D LUT、ACESまたはPreset Look) を選択する。

5 MENUダイヤルまたはSetボタン (ITEMキー 3) を押して決定する。

User 3D LUTファイルを読み込む

SDカードに保存されているUser 3D LUTファイルを本機に読み込むことができます。

【ご注意】

User 3D LUTファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください (108ページ)。
PRIVATE\SONY\PRO\LUT\

1 SDカードスロット (12ページ) にSDカードを差し込む。

2 LUT選択画面でEdit Lookボタン (ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。

3 Load Fileボタン (ITEMキー 4) を押す。

CDL / ART Info	↑	Select
Category	User 3D LUT	
User 3D LUT	s709.cube	
ASC CDL Process	CDL Off	
ASC CDL Select	03: Scene4_Dark_160830	
Load File	↓	Done

4 MENUダイヤルまたはSelectボタン (ITEMキー 3) を押す。
読み込み先の番号 (01 ~ 16) が表示されます。
読み込み済みの番号にはファイル名が表示されます。

Load 3D LUT	↑	Select
Step1:	03: LightIllusion_LP.cube	
Select	04: Binary_Through_17.I3D	
Destination	05: Test0312_EI+0.6/Cube	
	↓	Back

5 ↑ボタン (ITEMキー 2)、↓ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、読み込み先の番号を選択する。

6 MENUダイヤルまたはSelectボタン (ITEMキー 3) を押す。
SDカードに保存されているUser 3D LUTのファイル名が表示されます。

Load 3D LUT	↑	Load
Step2:	Raw Viewer_LP2.cube	
Select File to Load on 03	ACES_RRT709_V1--_f5_V7.13	
	↓	Back

7 ↑ボタン (ITEMキー 2)、↓ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、ファイルを選択する。

8 MENUダイヤルまたはLoadボタン (ITEMキー 3) を押す。
ファイルの読み込みが完了すると、「Successfully loaded」が表示されます。

9 OKボタン (ITEMキー 6) を押す。

ARTファイルを読み込む

SDカードに保存されているARTファイルを本機に読み込むことができます。

【ご注意】

ARTファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください (108ページ)。
PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\MPC3610\

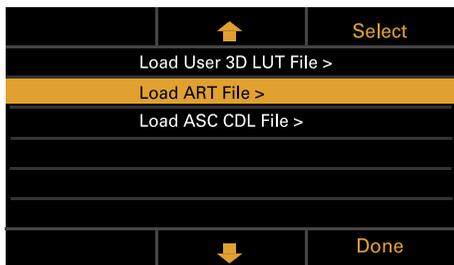
1 SDカードスロット (12ページ) にSDカードを差し込む。

- 2 LUT選択画面でEdit Lookボタン (ITEMキー4) を押す。
Look選択画面が表示されます。

- 3 Load Fileボタン (ITEMキー4) を押す。



- 4 ↑ ボタン (ITEMキー2)、↓ ボタン (ITEMキー5) またはMENUダイヤルで、Load ART Fileを選択する。



- 5 MENUダイヤルまたはSelectボタン (ITEMキー3) を押す。
読み込み先の番号 (01 ~ 16) が表示されます。
読み込み済みの番号にはファイル名が表示されます。



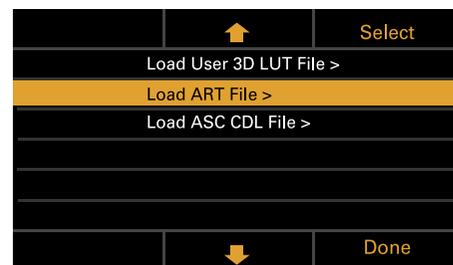
- 6 ↑ ボタン (ITEMキー2)、↓ ボタン (ITEMキー5) またはMENUダイヤルで、読み込み先の番号を選択する。

- 7 MENUダイヤルまたはSelectボタン (ITEMキー3) を押す。
SDカードに保存されているARTのファイル名が表示されます。



- 8 ↑ ボタン (ITEMキー2)、↓ ボタン (ITEMキー5) またはMENUダイヤルで、ファイルを選択する。

- 9 MENUダイヤルまたはLoadボタン (ITEMキー3) を押す。
ファイルの読み込みが完了すると、以下の画面が表示されます。



- 10 BACKボタンまたはDoneボタン (ITEMキー6) を押す。

ASC CDLファイルを読み込む

SDカードに保存されているASC CDLファイルの本機に読み込むことができます。

[ご注意]

ASC CDLファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください(108ページ)。
PRIVATE\SONY\PRO\CDL\

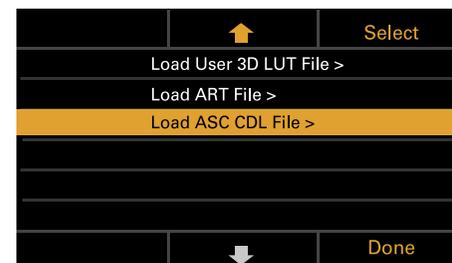
- 1 SDカードスロット (12ページ) にSDカードを差し込む。

- 2 LUT選択画面でEdit Lookボタン (ITEMキー4) を押す。
Look選択画面が表示されます。

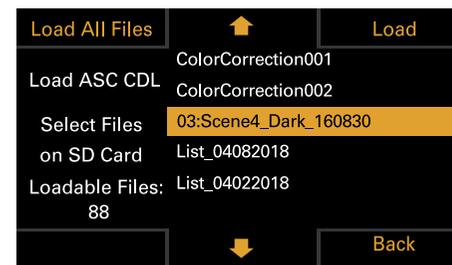
- 3 Load Fileボタン (ITEMキー4) を押す。



- 4 Load ASC CDL Fileを選択し、MENUダイヤルまたはSelectボタン (ITEMキー3) を押す。



SDカードに保存されているASC CDLのファイル名が表示されます。



- 5 ↑ ボタン (ITEMキー2)、↓ ボタン (ITEMキー5) またはMENUダイヤルで、ファイルを選択する。

- 6 MENUダイヤルまたはLoadボタン (ITEMキー3) を押す。
Load All Filesボタン (ITEMキー1) を押すと、すべてのファイルを読み込むことができます。
ファイルの読み込みが完了すると、「Successfully loaded」が表示されます。

- 7 OKボタン (ITEMキー6) を押す。

- 8 ASC CDL ProcessでASC CDLの処理の順番を指定する。



User 3D LUTファイルを変更する

現在選択されているUser 3D LUTファイルを変更できます。

- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン (ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。



- 2 MENUダイヤルまたはSelectボタン (ITEMキー 3) を押す。
- 3 ↑ ボタン (ITEMキー 2)、↓ ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、User 3D LUTファイルを変更する。

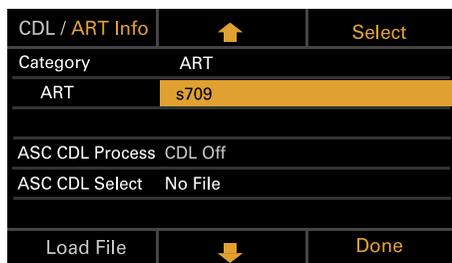


- 4 MENUダイヤルまたはSetボタン (ITEMキー 3) を押して決定する。

ARTファイルを変更する

現在選択されているARTファイルを変更できません。

- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン (ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。



- 2 MENUダイヤルまたはSelectボタン (ITEMキー 3) を押す。
- 3 ↑ ボタン (ITEMキー 2)、↓ ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、ARTファイルを変更する。

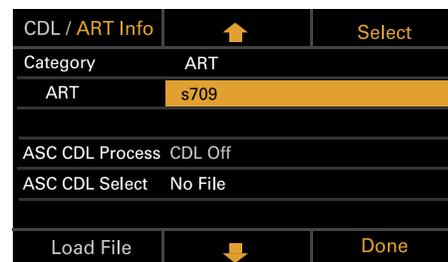


- 4 MENUダイヤルまたはSetボタン (ITEMキー 3) を押して決定する。

ARTファイルの情報を表示する

現在選択されているARTファイルの情報を表示できます。

- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン (ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。
- 2 ARTファイルを選択し、CDL / ART Infoボタン (ITEMキー 1) を押す。



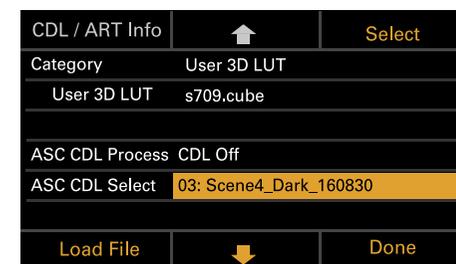
ARTファイルの情報が表示されます。



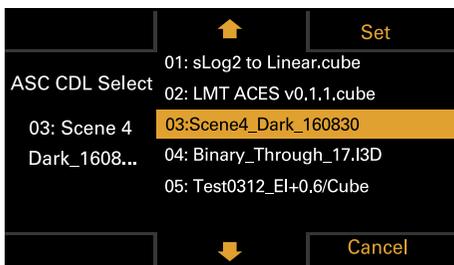
ASC CDLファイルを変更する

現在選択されているASC CDLファイルを変更できます。

- 1 LUT選択画面でEdit Lookボタン (ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。
- 2 ASC CDL Selectを選択し、MENUダイヤルまたはSelectボタン (ITEMキー 3) を押す。



- 3 ↑ ボタン (ITEMキー 2)、↓ ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、ASC CDLファイルを変更する。



【ご注意】

本機に適用できないファイルはグレイアウト表示されます。

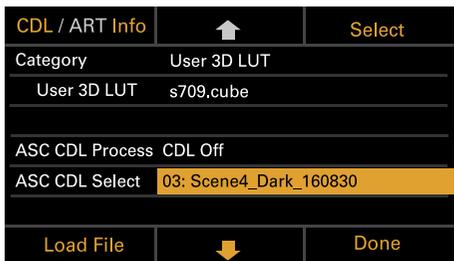
- MENUダイヤルまたはSetボタン (ITEMキー 3) を押して決定する。

ASC CDLファイルの情報を表示する

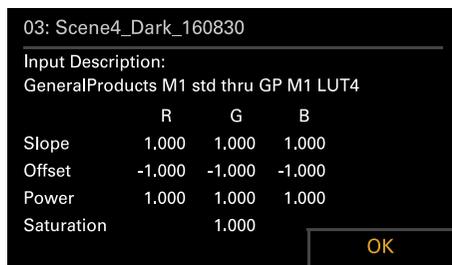
現在選択されているASC CDLファイルの情報を表示できます。

- LUT選択画面でEdit Lookボタン (ITEMキー 4) を押す。
Look選択画面が表示されます。

- ASC CDL Selectを選択し、CDL / ART Infoボタン (ITEMキー 1) を押す。



ASC CDLファイルの情報が表示されます。



ASC CDLファイルの設定可能範囲について

ASC CDLファイルの設定可能範囲は以下のとおりです。範囲を超えたファイルは読み込めません。

Slope : 0.000 ~ 3.999

Offset : -1.000 ~ 1.000

Power : 0.400 ~ 4.000

Saturation : 0.000 ~ 3.999

Monitor/ビューファインダーのLUT設定

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、Monitorとビューファインダーの出力のそれぞれをSDI出力などの本線と同じ信号にするか、R709(800%)またはR709-Likeにするかを選択できます。

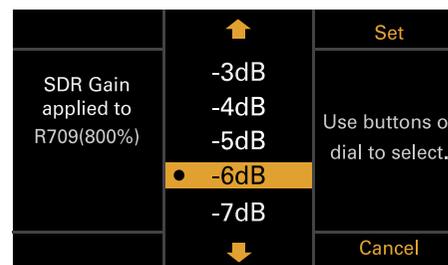
【ご注意】

Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) がRec.2020/User Gammaに設定されている場合は、R709-Likeと表示されます。

ゲインを切り換える

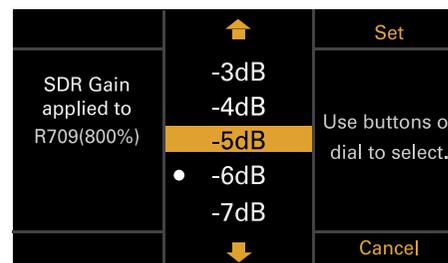
Monitorまたはビューファインダーの出力をR709(800%)またはR709-Likeに設定すると、各出力のゲインを切り換えることができます。

- ホーム画面のページ2で、SDR Gainボタン (ITEMキー 3) を押す
SDR Gain画面が表示されます。



- ↑ボタン (ITEMキー 2)、↓ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで設定値を変更する。

- MENUダイヤルまたはSetボタン (ITEMキー 3) を押して決定する。



サブディスプレイのホーム画面設定項目一覧

各項目名称と設定内容は次のとおりです。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

【ご注意】

撮像フレームレートの最大値は記録フォーマットによっても変わります。SxS単独記録時およびAXSとSxSの同時記録時は、撮像フレームレートの最大値が次のように制限されます。

4K/QFHD XAVC Intra Class 480：最大30FPS

4K/QFHD XAVC Intra Class 300：最大60FPS

MPEG HD 422 Codec：最大30FPS

ProRes 422 Codec：最大60FPS

項目	内容																
FPS	撮像フレームレートを設定する。 Variable/Fixed：等速撮影と可変速撮影を切り換えます。 「Fixed」を選択した場合、メニューのProjectカテゴリ > Project Frame Rate (51ページ) の設定で値が決まります。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Project Frame Rate</th> <th>表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.98</td> <td>Fix 23.98</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>Fix 24.00</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>Fix 25.00</td> </tr> <tr> <td>29.97</td> <td>Fix 29.97</td> </tr> <tr> <td>47.95</td> <td>Fix 47.95</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>Fix 50.00</td> </tr> <tr> <td>59.94</td> <td>Fix 59.94</td> </tr> </tbody> </table>	Project Frame Rate	表示	23.98	Fix 23.98	24	Fix 24.00	25	Fix 25.00	29.97	Fix 29.97	47.95	Fix 47.95	50	Fix 50.00	59.94	Fix 59.94
Project Frame Rate	表示																
23.98	Fix 23.98																
24	Fix 24.00																
25	Fix 25.00																
29.97	Fix 29.97																
47.95	Fix 47.95																
50	Fix 50.00																
59.94	Fix 59.94																

項目	内容																																																
	「Variable」を選択した場合、Projectカテゴリ > Imager Mode (71ページ) の設定によって、設定値が次のように異なります。																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Imager Mode</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.8K 16:9</td> <td>1 ~ 60 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 17:9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4K 2.39:1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.8K 16:9¹⁾</td> <td>1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 17:9¹⁾</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.8K 16:9 Surround View</td> <td>1 ~ 48 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 17:9 Surround View</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4K 4:3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4K 4:3¹⁾</td> <td>1 ~ 60、66、72、75 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 2.39:1¹⁾</td> <td>1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 4:3 Surround View</td> <td>1 ~ 30 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 6:5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.7K 16:9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 2.39:1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 17:9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 1.85:1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 2.39:1¹⁾</td> <td>1 ~ 60、66、72、75、90 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 6:5¹⁾</td> <td>1 ~ 60、66、72 FPS</td> </tr> <tr> <td>5.7K 16:9¹⁾</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 17:9¹⁾</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 1.85:1¹⁾</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 3:2</td> <td>1 ~ 25 FPS</td> </tr> <tr> <td>6K 3:2¹⁾</td> <td>1 ~ 60 FPS</td> </tr> </tbody> </table>	Imager Mode	設定値	3.8K 16:9	1 ~ 60 FPS	4K 17:9		4K 2.39:1		3.8K 16:9 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS	4K 17:9 ¹⁾		3.8K 16:9 Surround View	1 ~ 48 FPS	4K 17:9 Surround View		4K 4:3		4K 4:3 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75 FPS	4K 2.39:1 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS	4K 4:3 Surround View	1 ~ 30 FPS	4K 6:5		5.7K 16:9		6K 2.39:1		6K 17:9		6K 1.85:1		6K 2.39:1 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、90 FPS	4K 6:5 ¹⁾	1 ~ 60、66、72 FPS	5.7K 16:9 ¹⁾		6K 17:9 ¹⁾		6K 1.85:1 ¹⁾		6K 3:2	1 ~ 25 FPS	6K 3:2 ¹⁾	1 ~ 60 FPS
Imager Mode	設定値																																																
3.8K 16:9	1 ~ 60 FPS																																																
4K 17:9																																																	
4K 2.39:1																																																	
3.8K 16:9 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS																																																
4K 17:9 ¹⁾																																																	
3.8K 16:9 Surround View	1 ~ 48 FPS																																																
4K 17:9 Surround View																																																	
4K 4:3																																																	
4K 4:3 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75 FPS																																																
4K 2.39:1 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS																																																
4K 4:3 Surround View	1 ~ 30 FPS																																																
4K 6:5																																																	
5.7K 16:9																																																	
6K 2.39:1																																																	
6K 17:9																																																	
6K 1.85:1																																																	
6K 2.39:1 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、90 FPS																																																
4K 6:5 ¹⁾	1 ~ 60、66、72 FPS																																																
5.7K 16:9 ¹⁾																																																	
6K 17:9 ¹⁾																																																	
6K 1.85:1 ¹⁾																																																	
6K 3:2	1 ~ 25 FPS																																																
6K 3:2 ¹⁾	1 ~ 60 FPS																																																

項目	内容
Exposure Index	<p>EI値を設定する。Change Baseボタン (ITEMキー 4) を押し、次の画面で2つのChangeボタン (ITEMキー 1とITEMキー 3) を同時に押し、Base ISOを切り換えることができます。Base ISOの設定によって、設定値が次のように異なります。</p> <p>Base ISO 500 :</p> <p>125EI/160EI/200EI/250EI/320EI/400EI/<u>500EI</u>/640EI/800EI/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI</p> <p>Base ISO 2500 :</p> <p>640EI/800EI/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI/<u>2500EI</u>/3200EI/4000EI/5000EI/6400EI/8000EI/10000EI</p>
Gain	<p>基準感度を設定する。</p> <p>-6dB/-3dB/<u>0dB</u>/3dB/6dB/9dB/12dB/15dB/18dB</p> <p>[ご注意]</p> <p>Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニットが接続されていない場合のみ設定できます。</p>
Shutter	<p>電子シャッターの開角度/スピードを設定する。</p> <p>Step/Cont.ボタン (ITEMキー 1) を押し、StepとCont.を切り換えることで選択方法が変更されます。</p> <p>Step : ステップシャッターとして登録されている最大16種類のプリセット値から選択する。(選択後、Step Editボタンを (ITEMキー 4) を押し、任意の設定値をプリセット値から変更することができます。)</p> <p>フルメニューのTechnical > System Configuration > Shutter Mode (87ページ) の設定によって次のように選択肢が表示される。</p> <p>Angle : 開角度表示</p> <p>工場出荷時の選択肢</p> <p>360/180/172.8/144/90/45/22.5/11.2/5.6</p> <p>Speed : スピード表示</p> <p>工場出荷時の選択肢</p> <p>1/24、1/25、1/30、1/50、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000²⁾</p> <p>[ご注意]</p> <p>スピードの初期値はProject Frame Rate (51ページ) の設定によって次のようになります。</p> <p>23.98/24 : 1/24、25 : 1/25、29.97 : 1/30、47.95 : 1/48、50 : 1/50、59.94 : 1/60</p> <p>Cont. : 設定可能な任意の開角度/スピードを選択する。</p>
ND Filter	<p>NDフィルターのポジションを設定する。設定値は以下のとおりです。</p> <p><u>Clear</u>/0.3/0.6/0.9/1.2/1.5/1.8/2.1/2.4</p>

項目	内容
LUT	<p>各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行う。Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) の設定によって設定値が異なる。</p> <p>Page 1</p> <p>SDI 1/2 (ITEMキー 2)</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOffのとき : Log</p> <p>SDI 1/2出力映像にはLUTを適用できないため表示のみ。</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOnのとき : <u>Log</u>/HLG(Natural)/HLG(Live)/User Gamma</p> <p>SDI 1/2出力映像の設定値は、メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定で決まるため表示のみ。</p> <p>SDI 3/4 (ITEMキー 3)</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOffのとき : Log/<u>Look</u></p> <p>SDI 3/4出力映像に適用するLUTを選択する。</p> <p>メニューのMonitoringカテゴリー > Output Format > SDI 1/2が4K/QFHDのときは無効となります。</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOnのとき : <u>Log</u>/HLG(Natural)/HLG(Live)/User Gamma</p> <p>SDI 3/4出力映像の設定値は、メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定で決まるため表示のみ。</p> <p>Monitor (ITEMキー 5)</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOffのとき :</p> <p>Monitor出力映像に適用するLUTを選択する。</p> <p>Output Format > SDI1/2が2K/HDのとき : Log/<u>s709</u>/R709(800%)</p> <p>Output Format > SDI1/2が4K/QFHDのとき : Log/<u>Look</u></p> <p>RM/RCP Paint ControlがOnのとき :</p> <p>Monitor出力映像の種類を選択する。</p> <p>メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定によって、設定値が次のように異なります。</p> <p>S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3 : <u>Log</u>/R709(800%)</p> <p>HLG(Natural) : <u>HLG(Natural)</u>/R709(800%)</p> <p>HLG(Live) : <u>HLG(Live)</u>/R709(800%)</p> <p>Rec.2020/User Gamma : <u>User Gamma</u>/R709-Like</p> <p>Rec.709/User Gamma : User Gamma</p>

項目	内容
	<p>HDMI (ITEMキー 6)</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOffのとき：Log/s709/R709(800%)/Look HDMI出力映像に適用するLUTを表示する。 メニューのMonitoringカテゴリー > Output Format > SDI 1/2が4K/QFHDで、HDMIが4K/QFHDのときはLog固定となります。それ以外はMonitorと同期します。</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOnのとき (4K/QFHD出力時)：Log/ HLG(Natural)/HLG(Live)/User Gamma HDMI出力映像の設定値はSDI 1/2と同じため表示のみ。</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOnのとき (2K/HD出力時)：Log/HLG(Natural)/ HLG(Live)/User Gamma/R709(800%)/R709-Like HDMI出力映像の設定値はMonitorと同じため表示のみ。</p> <p>Page 2</p> <p>Viewfinder (ITEMキー 2)</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOffのとき：Log/s709/R709(800%) ビューファインダー・モニター画面出力映像に適用するLUTを選択する。</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOnのとき： ビューファインダー・モニター画面出力映像の種類を選択する。 メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定によって、設定値が次のように異なります。</p> <p>S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3：Log/R709(800%) HLG(Natural)：HLG(Natural)/R709(800%) HLG(Live)：HLG(Live)/R709(800%) Rec.2020/User Gamma：User Gamma/R709-Like Rec.709/User Gamma：User Gamma</p> <p>SDR Gain (ITEMキー 3)：-15dB ~ 0dB (-12dB) HDRモード時のSDR出力ゲインを設定する。</p> <p>[ご注意]</p> <p>Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ)がOnに設定されている場合に設定できます。</p> <p>SxS Rec (ITEMキー 5)</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOffのとき：Log/Look SxS Mainクリップ記録映像に適用するLUTを選択する。 メニューのProjectカテゴリー > SxS Rec FormatがRec Offのときは無効、XAVCのときはLog固定となります。</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOnのとき：Log/HLG(Natural)/HLG(Live)/User Gamma SxS Mainクリップ記録映像の設定値は、メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定で決まるため表示のみ。</p>

項目	内容
	<p>Sub Rec (ITEMキー 6)</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOffのとき：Log/Look SxS Subクリップ記録映像に適用するLUTを選択する。 メニューのProjectカテゴリー > SxS Rec FormatがRec Offのときは無効となります。</p> <p>RM/RCP Paint ControlがOnのとき：Log/HLG(Natural)/HLG(Live)/User Gamma SxS Subクリップ記録映像の設定値は、メニューのProjectカテゴリー > Input Color Spaceの設定で決まるため表示のみ。</p> <p>Page1/2共通</p> <p>Edit Look：Lookとして使用するLUTを設定する。 s709 / R709(800%) / S-Gamut3.Cine/SLog3 / S-Gamut3/SLog3 / User 3D LUT</p> <hr/> <p>WB (White Balance) ホワイトバランスの色温度／色合いを設定する。 工場出荷時の選択肢 3200K+00/4300K+00/5500K+00 (Step Editボタン (ITEMキー 4) を押すとホワイトバランスのプリセット値とTint値を変更できます。) Auto White Bal.：オートホワイトバランスを実行する。</p>

¹⁾ ハイフレームレートライセンス有効時のみ。

²⁾ プロジェクトフレームレートが59.94の場合は1/60以降の値、50.0の場合は1/50以降の値、29.97の場合は1/30以降の値、25.0の場合は1/25以降の値が選択肢となります。

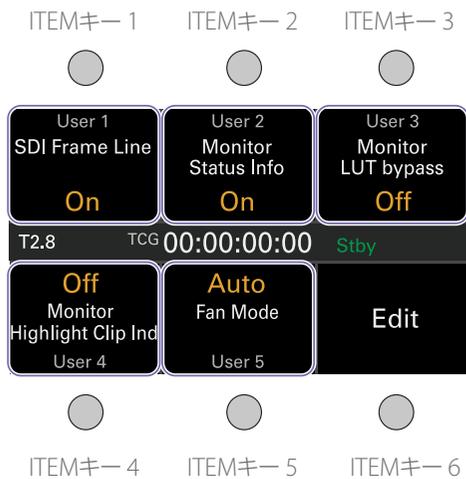
ユーザー機能画面

USERボタン (10ページ) を押すと、サブディスプレイにユーザー機能画面が表示され、ITEMキー 1～5をアサイン可能なボタン (User 1～5) として機能させることができます。

また、機能を割り当てて使用できるアサイン可能なボタン (1～4) が4個* (8、9、10ページ) と、ビューファインダー (DVF-EL200) アサイン可能なボタン (A～C) があります。

これらのボタンへの機能の割り当てはユーザー機能画面で行えるほか、フルメニューのProjectメニュー > Assignable Buttonで行えます。

* CBK-3620XS接続時は (1～7) の7個になります。



[ご注意]

アイリス設定表示対応レンズ装着時は、ユーザー機能画面の左側中央にアイリスの位置が表示されます。

ボタンの機能を変更する

ユーザー機能画面のEdit (ITEMキー 6) を押すとユーザー機能選択画面が表示されます。ユーザー機能選択画面で、User1～5とアサイン可能なボタン1～4 (CBK-3620XS接続時は1～7)、ビューファインダーアサイン可能なボタンA～Cの機能を設定します。

	↑	Select
User 1	SDI Frame Line	
User 2	Monitor Status Info	
User 3	Monitor LUT bypass	
User 4	Monitor Highlight Clip Ind	
User 5	Fan Mode	
Assign Btn 1	VF Highlight Clip Ind	
	↓	Done

- 1 ユーザー機能選択画面で、変更したいボタンにカーソルを合わせ、Select (ITEMキー 3) を押す。

選択可能な機能が表示されます。

	↑	Set
<User 1>	No Assign	
SDI Frame Line	SDI Frame Line	
	SDI Status Info	
	SDI LUT bypass	
	Monitor Frame Line	
	Monitor Status Info	
	↓	Cancel

- 2 ↑ ボタン (ITEMキー 2)、↓ ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで、設定値を変更する。

- 3 設定値が決まったら、Setボタン (ITEMキー 3) を押す。

画面がユーザー機能画面に切り換わり、変更した機能が表示されます。

工場出荷時には、それぞれ下表に示す機能が割り当てられています。

ボタン	機能	Assignable Buttonの設定
アサインابل1	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてビューファインダーに表示する。	VF Highlight Clip Ind
アサインابل2	未設定	Not Assigned
アサインابل3	未設定	Not Assigned
アサインابل4	未設定	Not Assigned
アサインابل5*	未設定	Not Assigned
アサインابل6*	未設定	Not Assigned
アサインابل7*	未設定	Not Assigned
ITEMキー 1	未設定	Not Assigned
ITEMキー 2	未設定	Not Assigned
ITEMキー 3	未設定	Not Assigned
ITEMキー 4	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてMonitor出力に表示する。	Monitor Highlight Clip Ind
ITEMキー 5	ファンの回転方法を設定する。	Fan Mode
ビューファインダーアサインابلA	ビューファインダーのピント拡大機能をオン/オフする。	VF Focus Magnifier
ビューファインダーアサインابلB	ビューファインダーに表示するフォルスカラー機能をオン/オフする。	VF False Color
ビューファインダーアサインابلC	ビューファインダー・モニター画面出力映像への情報の表示をオン/オフする。	VF Status Info

* CBK-3620XS接続時に設定可能

ITEMキー 1～5に割り当て可能な機能

Assignable Buttonの設定	機能	電源再投入時の状態
No Assign	未設定	—
SDI Frame Line	SDI 3/4出力映像へのフレームラインの重畳をオン/オフする。	設定を保持する
SDI Status Info	SDI 3/4出力映像への情報の表示をオン/オフする。	設定を保持する

Assignable Buttonの設定	機能	電源再投入時の状態
Press & Hold for SDI Log ¹⁾	押している間だけSDI 3/4出力映像に適用しているLUTをOffにして、LUTを適用しないLogの画質にする。	設定を保持しない
Monitor Frame Line	Monitor出力映像へのフレームラインの重畳をオン/オフする。	設定を保持する
Monitor Status Info	Monitor出力映像への情報の表示をオン/オフする。	設定を保持する
Monitor Focus Magnifier ²⁾³⁾	Monitor出力映像のピント拡大機能をオン/オフする。	設定を保持しない
Press & Hold for Monitor Log ⁴⁾	押している間だけMonitor出力映像に適用しているLUTをOffにして、LUTを適用しない画質にする。	設定を保持しない
Monitor Highlight Clip Ind ¹⁾	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてMonitor出力映像に表示する機能をオン/オフする。	設定を保持する
Monitor False Color ¹⁾	モニターに表示するフォルスカラー機能をオン/オフする。	設定を保持する
Color Bars ⁵⁾	カラーバーをオン/オフする。	設定を保持する
AXS Slot Change	AXSメモリーカードが2枚挿入されているときのアクティブスロットを切り換える。キーを押すたびにAとBが切り換わる。	設定を保持する
SxS Slot Change	SxSメモリーカードが2枚挿入されているときのアクティブスロットを切り換える。キーを押すたびにAとBが切り換わる。	設定を保持する
Fan Mode	ファンの回転方法を選択する。キーを押すたびにAuto→Max→Off in Rec/Auto→Off in Rec/Maxと切り換わる。	設定を保持する
Format Media AXS Slot A	AXS Slot Aをフォーマットする。	—
Format Media AXS Slot B	AXS Slot Bをフォーマットする。	—
Format Media SxS Slot A	SxS Slot Aをフォーマットする。	—
Format Media SxS Slot B	SxS Slot Bをフォーマットする。	—
APR	APRを実行する。	—

Assignable Buttonの設定	機能	電源再投入時の状態
PL-Mt Interface Position	PLマウントレンズのインターフェース位置を設定する。 キーを押すたびにTop→Side→Offと切り換わる。	設定を保持する
VF Highlight Clip Ind ¹⁾	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてビューファインダーに表示する機能をオン/オフする。	設定を保持する
VF False Color ¹⁾	ビューファインダーに表示するフォルスカラー機能をオン/オフする。	設定を保持する
Line A: Aspect Ratio Disp.	Line AのAspect Ratioの表示をオン/オフする。	設定を保持する
Line B: Aspect Ratio Disp.	Line BのAspect Ratioの表示をオン/オフする。	設定を保持する
Line A: User Frame Disp.	Line AのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン/オフする。 キーを押すたびにUser Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示と切り換わる。	設定を保持する
Line B: User Frame Disp.	Line BのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン/オフする。 キーを押すたびにUser Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示と切り換わる。	設定を保持する
Auto White Balance ⁵⁾	オートホワイトバランスを実行する。	—
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレック機能をオン/オフする。	設定を保持する
Iris Open (1/16 stop) ⁶⁾	レンズのアイリスをOpen側に動かす。 押し続けると連続的にOpen端まで動き続ける。 電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有効な機能です。 1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は1/3stop単位になります。	—

Assignable Buttonの設定	機能	電源再投入時の状態
Iris Close (1/16 stop) ⁶⁾	レンズのアイリスをClose側に動かす。 押し続けると連続的にClose端まで動き続ける。 電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有効な機能です。 1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は1/3stop単位になります。	—
H & V Flip ⁷⁾	撮影モード時、画像を上下左右反転する機能をオン/オフする。	設定を保持する
SxS/Output De-Squeeze	Projectメニュー > Basic Setting > SxS/Output De-Squeezeの設定を変更する。 キーを押すたびに、メニュー選択肢の並び順で現在設定されている選択肢より1つ下位の選択肢に設定変更する。	設定を保持する

- ¹⁾ Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、キーを押しても何も動作しません。
- ²⁾ HDMI出力がMonitor出力と同じ出力フォーマットの場合、HDMI出力も連動します。Monitoringメニュー > OSD Appearance > HDMI (77ページ) で設定を確認できます。HDMIがSame as Monitorに設定されている場合、HDMI出力はMonitor出力と同じです。
- ³⁾ SDIの出力フォーマットが1920x1080iの場合は、ピント拡大機能がオフになり、キーを押しても何も動作しません。
- ⁴⁾ 押している間だけ、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) で選択した本線と同じ映像に切り換わります。
- ⁵⁾ Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、キーを押しても何も動作しません。
- ⁶⁾ RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、キーを押しても何も動作しません。
- ⁷⁾ Technical > Special Configuration > Flip Image (87ページ) のH & V Flipがグレーアウトされているときは、キーを押しても何も動作しません。

アサインブル1～7ボタンに割り当て可能な機能

【ご注意】

アサインブルボタン5～7は、本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ割り当てて使用できます。

Assignable Buttonの設定	機能	電源再投入時の状態
No Assign	未設定	—
SDI Frame Line	SDI 3/4出力映像へのフレームラインの重畳をオン/オフする。	設定を保持する
SDI Status Info	SDI 3/4出力映像への情報の表示をオン/オフする。	設定を保持する
Press & Hold for SDI Log ¹⁾	押し続けている間だけSDI 3/4出力映像に適用しているLUTをOffにして、LUTを適用しないLogの画質にする。	設定を保持しない
Monitor Frame Line	Monitor出力映像へのフレームラインの重畳をオン/オフする。	設定を保持する
Monitor Status Info	Monitor出力映像への情報の表示をオン/オフする。	設定を保持する
Monitor Focus Magnifier ²⁾³⁾	Monitor出力映像のピント拡大機能をオン/オフする。	設定を保持しない
Press & Hold for Monitor Log ⁴⁾	押し続けている間だけMonitor出力映像に適用しているLUTをOffにして、LUTを適用しないLogの画質にする。	設定を保持しない
Monitor Highlight Clip Ind ¹⁾	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてMonitor出力映像に表示する機能をオン/オフする。	設定を保持する
Monitor High/Low Key ¹⁾	Monitor出力の状態を選択する。ボタンを押すたびにHigh Key (高輝度の白飛び確認画面) →Low Key (低輝度の暗部の確認画面) →Off (通常画面) と切り換わる。	設定を保持しない
Monitor False Color ¹⁾	モニターに表示するフォルスカラー機能をオン/オフする。	設定を保持する
Color Bars ⁵⁾	カラーバーをオン/オフする。	設定を保持する
AXS Slot Change	AXSメモリーカードが2枚挿入されているときのアクティブスロットを切り換える。ボタンを押すたびにAとBが切り換わる。	—
SxS Slot Change	SxSメモリーカードが2枚挿入されているときのアクティブスロットを切り換える。ボタンを押すたびにAとBが切り換わる。	—
Rec Review	レックレビュー機能の実行。	設定を保持しない

Assignable Buttonの設定	機能	電源再投入時の状態
VF Frame Line	ビューファインダー・モニター画面出力映像へのフレームラインの重畳をオン/オフする。	設定を保持する
VF Zebra	ビューファインダー・モニター画面出力映像のゼブラ機能をオン/オフする。	設定を保持する
VF Status Info	ビューファインダー・モニター画面出力映像への情報の表示をオン/オフする。	設定を保持する
VF Focus Magnifier	ビューファインダーのピント拡大機能をオン/オフする。	設定を保持しない
Press & Hold for VF Log ⁶⁾	押し続けている間だけビューファインダー・モニター画面出力映像に適用しているLUTをOffにして、LUTを適用しない画質にする。	設定を保持しない
VF Highlight Clip Ind ¹⁾	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてビューファインダーに表示する機能をオン/オフする。	設定を保持する
VF High/Low Key ¹⁾	ビューファインダー出力の状態を選択する。ボタンを押すたびにHigh Key (高輝度の白飛び確認画面) →Low Key (低輝度の暗部の確認画面) →Off (通常画面) と切り換わる。	設定を保持しない
VF False Color ¹⁾	ビューファインダーに表示するフォルスカラー機能をオン/オフする。	設定を保持する
Line A: Aspect Ratio Disp.	Line AのAspect Ratioの表示をオン/オフする。	設定を保持する
Line B: Aspect Ratio Disp.	Line BのAspect Ratioの表示をオン/オフする。	設定を保持する
Line A: User Frame Disp.	Line AのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン/オフする。ボタンを押すたびにUser Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示と切り換わる。	設定を保持する
Line B: User Frame Disp.	Line BのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン/オフする。ボタンを押すたびにUser Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示と切り換わる。	設定を保持する
Auto White Balance ⁵⁾	オートホワイトバランスを実行する。オートホワイトバランス実行中に中断する。	—

Assignable Buttonの設定	機能	電源再投入時の状態
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレック機能をオン/オフする。	設定を保持する
Iris Open (1/16 stop) ⁷⁾	レンズのアイリスをOpen側に動かす。押し続けると連続的にOpen端まで動き続ける。電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有効な機能です。1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は1/3stop単位になります。	—
Iris Close (1/16 stop) ⁷⁾	レンズのアイリスをClose側に動かす。押し続けると連続的にClose端まで動き続ける。電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有効な機能です。1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は1/3stop単位になります。	—
ND +1stop	NDフィルターを濃度の濃い側に切り換える。	—
ND -1stop	NDフィルターを濃度の薄い側に切り換える。	—
Rec	記録を開始/停止する。	—
H & V Flip ⁸⁾	撮影モード時、画像を上下左右反転する機能をオン/オフする。	設定を保持する
SxS/Output De-Squeeze	Projectメニュー > Basic Setting > SxS/Output De-Squeezeの設定を変更する。ボタンを押すたびに、メニュー選択肢の並び順で現在設定されている選択肢より1つ下の選択肢に設定変更する。	設定を保持する

¹⁾ Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、ボタンを押しても何も動作しません。

²⁾ HDMI出力がMonitor出力と同じ出力フォーマットの場合、HDMI出力も連動します。Monitoringメニュー > OSD Appearance > HDMI (77ページ) で設定を確認できます。HDMIがSame as Monitorに設定されている場合、HDMI出力はMonitor出力と同じです。

³⁾ SDIの出力フォーマットが1920x1080iの場合は、ピント拡大機能がオフになり、ボタンを押しても何も動作しません。

⁴⁾ 押ししている間だけ、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) で選択した本線と同じ映像に切り換わります。

⁵⁾ Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、ボタンを押しても何も動作しません。

⁶⁾ Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、Shootingメニュー > LUT Select > VF LUT (68ページ) がR709(800%)またはR709-Likeに設定されている場合は、押ししている間だけ本線と同じ映像に切り換わります。または、RM/RCP Paint ControlがOffで、VF LUTがLog以外に設定されている場合は、押ししている間だけ本線と同じ映像に切り換わります。

⁷⁾ RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、ボタンを押しても何も動作しません。

⁸⁾ Technical > Special Configuration > Flip Image (87ページ) のH & V Flipがグレーアウトされているときは、ボタンを押しても何も動作しません。

ビューファインダー (DVF-EL200) アサイナブルA ~ Cボタンに割り当て可能な機能

Assignable Buttonの設定	機能	電源再投入時の状態
No Assign	未設定	—
Color Bars ¹⁾	カラーバーをオン/オフする。	設定を保持する
AXS Slot Change	AXSメモリーカードが2枚挿入されているときのアクティブスロットを切り換える。ボタンを押すたびにAとBが切り換わる。	—
SxS Slot Change	SxSメモリーカードが2枚挿入されているときのアクティブスロットを切り換える。ボタンを押すたびにAとBが切り換わる。	—
Rec Review	レックレビュー機能の実行。	設定を保持しない
VF Frame Line	ビューファインダー・モニター画面出力映像へのフレームラインの重畳をオン/オフする。	設定を保持する
VF Zebra	ビューファインダー・モニター画面出力映像のゼブラ機能をオン/オフする。	設定を保持する
VF Status Info	ビューファインダー・モニター画面出力映像への情報の表示をオン/オフする。	設定を保持する
VF Focus Magnifier	ビューファインダーのピント拡大機能をオン/オフする。	設定を保持しない
Press & Hold for VF Log ²⁾	押ししている間だけビューファインダー・モニター画面出力映像に適用しているLUTをOffにして、LUTを適用しない画質にする。	設定を保持しない
VF Highlight Clip Ind ³⁾	高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてビューファインダーに表示する機能をオン/オフする。	設定を保持する
VF High/Low Key ³⁾	ビューファインダー出力の状態を選択する。ボタンを押すたびにHigh Key (高輝度の白飛び確認画面) →Low Key (低輝度の暗部の確認画面) →Off (通常画面) と切り換わる。	設定を保持しない
VF False Color ³⁾	ビューファインダーに表示するフォルスカラー機能をオン/オフする。	設定を保持する

Assignable Buttonの設定	機能	電源再投入時の状態
Line A: Aspect Ratio Disp.	Line AのAspect Ratioの表示をオン/オフする。	設定を保持する
Line B: Aspect Ratio Disp.	Line BのAspect Ratioの表示をオン/オフする。	設定を保持する
Line A: User Frame Disp.	Line AのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン/オフする。ボタンを押すたびにUser Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示と切り換わる。	設定を保持する
Line B: User Frame Disp.	Line BのUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示をオン/オフする。ボタンを押すたびにUser Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示と切り換わる。	設定を保持する
Picture Cache Rec	ピクチャーキャッシュレック機能をオン/オフする。	設定を保持する
Iris Open (1/16 stop) ⁴⁾	レンズのアイリスをOpen側に動かす。押し続けると連続的にOpen端まで動き続ける。電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有効な機能です。1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は1/3 stop単位になります。	—
Iris Close (1/16 stop) ⁴⁾	レンズのアイリスをClose側に動かす。押し続けると連続的にClose端まで動き続ける。電動アイリス対応のEマウントレンズ装着時に有効な機能です。1/16 stop刻みの設定に対して、アイリス表示は1/3 stop単位になります。	—
ND +1stop	NDフィルターを濃度の濃い側に切り換える。	—
ND -1stop	NDフィルターを濃度の薄い側に切り換える。	—
Rec	記録を開始/停止する。	—
H & V Flip ⁵⁾	撮影モード時、画像を上下左右反転する機能をオン/オフする。	設定を保持する

Assignable Buttonの設定	機能	電源再投入時の状態
SxS/Output De-Squeeze	Projectメニュー > Basic Setting > SxS/Output De-Squeezeの設定を変更する。ボタンを押すたびに、メニュー選択肢の並び順で現在設定されている選択肢より1つ下位の選択肢に設定変更する。	設定を保持する

¹⁾ Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、ボタンを押しても何も動作しません。

²⁾ 押ししている間だけ、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) で選択した本線と同じ映像に切り換わります。

³⁾ Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、ボタンを押しても何も動作しません。

⁴⁾ RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、ボタンを押しても何も動作しません。

⁵⁾ Technical > Special Configuration > Flip Image (87ページ) のH & V Flipがグレーアウトされているときは、ボタンを押しても何も動作しません。

メニューの操作方法

撮影中(記録中/記録待機中)および再生中にMENUボタンを押すと、サブディスプレイにメニュー画面が表示され、操作することができます。

- Projectカテゴリ：基本設定、記録フォーマットの設定
- TC/Mediaカテゴリ：タイムコードの値やTCフォーマットの設定
- Monitoringカテゴリ：SDI、HDMI、Monitorの各外部出力の信号フォーマットやOSDやマーカーの重畳状態の設定
- Audioカテゴリ：オーディオのソースやレベルなどの設定
- Infoカテゴリ：カメラやメディア、バッテリーなどの状態確認

操作部

MENUボタン(9ページ)

サブディスプレイにメニューが表示されます。

ITEMキー 1～6(9ページ)

メニューのカテゴリを選びます。

SEL/SET ダイヤル(MENUダイヤル)(9ページ)

回すとカーソルが上下に移動して、設定項目や設定値を選択できます。

MENUダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

BACKボタン(10ページ)

1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

基本操作

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2 ITEMキー 1～6で設定したいカテゴリを選ぶ。
- 3 MENUダイヤルで、選択項目にカーソルを合わせる。
各設定項目には、設定値が表示されていません。

◆ 「メニュー設定項目一覧」(51ページ)

Project	TC/Media	Monitoring
Imager Mode		4K 17:9
Project Frame Rate		23.98
Input Color Space		S-Gamut3.Cine/SLog3
AXS Rec Format		Rec Off
SxS Rec Format		XAVC 4K Class300
Sub Rec Format		Rec Off
Audio	Info	Project Details

- 4 MENUダイヤルを押す。

選んだ項目の横に、設定値の選択画面が表示されます。

Project	TC/Media	Monitoring
Imager Mode		4K 4:3
Project Frame Rate		4K 17:9
Input Color Space		3.8K 16:9
AXS Rec Format		Rec Off
SxS Rec Format		XAVC 4K Class300
Sub Rec Format		Rec Off
Audio	Info	Project Details

- 5 MENUダイヤルで設定値にカーソルを合わせる。

- 6 MENUダイヤルを押して決定する。

メニュー設定項目一覧

各カテゴリの設定内容は以下のとおりです。

Projectカテゴリ

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

項目	設定値	内容
Imager Mode	6K 3:2/6K 1.85:1/6K 17:9/ 6K 2.39:1/5.7K 16:9/ 4K 6.5/4K 4:3/4K 4:3 Surround View/ 4K 17:9 / 4K 17:9 Surround View/ 4K 2.39:1/3.8K 16:9/3.8K 16:9 Surround View	有効画サイズを設定する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none"> 6K 3:2/6K 1.85:1/6K 17:9はフルフレームライセンスインストール時のみ表示されます。 4K 6.5/4K 4:3/4K 4:3 Surround Viewはアナモフィックライセンスインストール時のみ表示されます。
Project Frame Rate	23.98 /24/25/29.97/47.95/ 50/59.94	プロジェクトフレームレートを設定する。
Input Color Space	S-Gamut3.Cine/SLog3 / S-Gamut3/SLog3 / HLG(Natural) / HLG(Live) / Rec.2020/User Gamma / Rec.709/User Gamma	色域を設定する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none"> HLG(Natural) / HLG(Live) / Rec.2020/User Gamma / Rec.709/User Gammaは、Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合のみ選択できます。 HLG(Natural)はHLG BT.2100と同等です。
AXS Rec Format ¹⁾ (AXS-R7装着時のみ)	Rec Off /X-OCN XT/ RAW SQ/X-OCN ST/ X-OCN LT	AXS-R7接続時にAXSメモリーカードに記録するフォーマットを設定する。
SxS Rec Format ¹⁾	Rec Off/XAVC 4K Class480/ XAVC 4K Class300 / XAVC QFHD Class480/ XAVC QFHD Class300/ MPEG HD P/MPEG HD i/ ProRes 4444 HD P/ ProRes 422 HQ HD P/ ProRes 422 HQ HD i/ ProRes 422 HD P/ ProRes 422 HD i/ ProRes Proxy HD P/ ProRes Proxy HD i	SxSメモリーカードにメインとして記録するフォーマットを設定する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none"> ProRes 4444 HD Piは、以下の有効画サイズにのみ対応しています。 <ul style="list-style-type: none"> - 5.7K 16:9 - 4K 6:5 - 4K 4:3 - 3.8K 16:9 Input Color SpaceがHLG(Natural)、HLG(Live)またはRec.2020/User Gammaに設定されている場合、ProRes 4444 HD Piは選択できません。

項目	設定値	内容
Sub Rec Format ¹⁾	Rec Off /MPEG HD P/MPEG HD i/ProRes 422 Proxy HD P/ProRes 422 Proxy HD i	SxSメモリーカードにサブとして記録するフォーマットを設定する。
Project Details (ITEMキー 6)		フルメニューのProjectメニュー (71ページ)の内容が表示されます。

¹⁾ 有効画サイズやプロジェクトフレームレートの組み合わせによって、設定可能な記録フォーマットは異なります。「記録フォーマット設定表」(55ページ)を参照し、設定してください。

TC/Mediaカテゴリ

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

項目	設定値	内容
TC Mode	Preset F-Run (Ext-Lk)/ Preset R-Run /Int Regen	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset F-Run (Ext-Lk)：記録に関係なく設定された状態から常に歩進する。 Preset R-Run：記録時のみ設定された状態から歩進する。 Int Regen：前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。
TC Display	Timecode /Duration	タイムデータの表示を切り換える。
TC Setting (別画面に移行して 設定)	Setting (H、M、S、F) Reset	タイムコードを任意の値に設定する。 タイムコードを00:00:00:00にリセットする。
	TC Format DF / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 DF：ドロップフレーム NDF：ノンドロップフレーム
	TC Source Internal/External	表示のみ。
Cam ID	A ~ Z	クリップ名の生成時のカメラIDを設定する。 クリップ名：Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列

項目	設定値	内容
Reel#	001 ~ 999	クリップ名の生成時のReel Numberの数字部分を設定する。 クリップ名：Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列
Camera Position	C/L/R	クリップ名の生成時のShot Numberの先頭文字部分を設定する。 クリップ名：Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列
Format Media (別画面に移行して実行)	AXS Slot A	スロットAのAXSメモリーカードを初期化する。
	AXS Slot B	スロットBのAXSメモリーカードを初期化する。
	SxS Slot A	スロットAのSxSメモリーカードを初期化する。
	SxS Slot B	スロットBのSxSメモリーカードを初期化する。
	SD Card	SDカードを初期化する。
Media Details (ITEMキー 6)		フルメニューのTC/Mediaメニュー(75ページ)の内容が表示されます。

Monitoringカテゴリー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

[ご注意]

- 本機では、Status InfoとFrame Lineの2種類を系統別に設定できます。AとBの出力映像の表示情報は、Monitoringメニュー(77ページ)で設定してください。
- Output Formatの設定によってInfoおよびFrame Lineが表示できない場合があります。その際は「-」が表示され、設定値の変更ができません。

項目	設定値	内容
VF	Status Info Info A/Info B/Off	ビューファインダーの映像に重畳して表示する情報を選択する。
	Frame Line Line A/Line B/Off	ビューファインダーの映像に重畳して表示するフレームラインを選択する。

項目	設定値	内容	
SDI 1/2	Output Format	Imager Mode、プロジェクトフレームレート、SxS記録フォーマットの設定に応じて変わる。	SDI 1/2出力フォーマットを選択する。 ¹⁾
	Status Info	-	SDI 1/2出力には情報表示は重畳されません。
	Frame Line	Line A/Line B/Off	SDI 1/2出力に重畳して表示するフレームラインを選択する。 [ご注意] 出力フォーマットが4K/QFHD以外のときはフレームラインは重畳されません。
SDI 3/4 [ご注意] SDI 1/2のOutput Formatの設定によっては、SDI 3/4のOutput Format、Info、Frame Lineが空欄となり、設定値の変更ができません。	Output Format	SDI 1/2の設定に応じて変わる。	SDI 3/4出力フォーマットを選択する。 ¹⁾
	Status Info	Info A/ Info B/Off	SDI 3/4出力に重畳して表示する情報を選択する。
	Frame Line	Line A/Line B/Off	SDI 3/4出力に重畳して表示するフレームラインを選択する。
Monitor	Output Format	SDI 1/2の設定に応じて変わる。	Monitor出力フォーマットを選択する。 ²⁾
	Status Info	Info A/ Info B/Off	Monitor出力に重畳して表示する情報を選択する。
	Frame Line	Line A/Line B/Off	Monitor出力に重畳して表示するフレームラインを選択する。
HDMI	Output Format	SDI 1/2の設定に応じて変わる。	HDMI出力フォーマットを選択する。 ²⁾
Moni. Details (ITEMキー 6)		フルメニューのMonitoringメニュー(77ページ)の内容が表示されます。	

¹⁾ 選択可能なフォーマットは「SDI OUT端子の出力フォーマット」(125ページ)を参照してください。

²⁾ 選択可能なフォーマットは「MONITOR OUT端子/HDMI OUT端子の出力フォーマット」(129ページ)を参照してください。

Audioカテゴリー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

項目	設定値	内容
Source Switch	LINE / AES/EBU / MIC	CH1とCH-2の入力源を設定するAUDIO INスイッチ (10ページ) の位置が表示される。
CH-1 Audio Level	Auto/Manual -99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Autoにすると、録音レベルは自動調整される。Manualを選択時、手で録音レベルを調整する。
CH-2 Audio Level	Auto/Manual -99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Autoにすると、録音レベルは自動調整される。Manualを選択時、手で録音レベルを調整する。
MIC Reference	-60dB/ <u>-50dB</u> / -40dB	マイクの基準入力レベルを選択する。
Monitor CH	Monitor Output CH Pairが CH-1/CH-2の場合 <u>CH-1/CH-2</u> 、CH-1、 CH-2 Monitor Output CH Pairが CH-3/CH-4の場合 <u>CH-3/CH-4</u> 、CH-3、 CH-4	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。
Monitor Level	<u>0</u> ~ 99	モニター音量を調整する。
CH1 Level Meter	-	CH1のレベルメーターが表示される。
CH2 Level Meter	-	CH2のレベルメーターが表示される。
CH3 Level Meter	-	CH3のレベルメーターが表示される。
CH4 Level Meter	-	CH4のレベルメーターが表示される。
Audio Details (ITEMキー 6)		フルメニューのAudioメニュー (83ページ) の内容が表示されます。

Infoカテゴリーで本機の状態を確認する

Infoカテゴリーでは、メディアやバッテリーなどの状態や、発生している警告やエラーの内容を確認できます。本機の状態の変化に応じて、表示内容がリアルタイムに更新されます。Infoカテゴリーは、次の8種類の情報ページで構成されています。MENUダイヤルを回すと、ページを移動できます。

No.	ページ	内容
1	Camera Condition	警告メッセージとエラーメッセージが表示されます。何もメッセージがないときは、一番上の表示エリアに「All Systems are OK」が表示されます。
2	Firmware	本機のシリアルナンバーやファームウェアバージョン、本機に装着したAXS-R7のシリアルナンバーやファームウェアバージョンが表示されます。
3	License	本機のオプションのライセンス名称とインストール状態または期限が表示されます。オプションを追加していないときは、インストール状態表示は「Not Installed」または「Expired」となります。
4	System	次のシステム情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 設定日時 ファン回転速度 センサー検出温度 アワーズメーター IP Address <p>【ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> センサー検出温度は、検出温度が65℃以上のときはHigh Tempの警告状態となります。 IPアドレスを取得できない場合は「0.0.0.0」が表示されます。
5	Battery	次のバッテリー情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 検出されたバッテリーの品名または種類 残容量 (パーセント) 予想残時間 残容量 (Ah) 電圧 (V) 充電を行った回数 電源供給源 供給電源電圧
6	Media	SxSメモリーカード、AXSメモリーカード (AXS-R7装着時)、SDカードの残量と記録可能時間、寿命データが表示されます。

No.	ページ	内容
7	Lens	<p>本機に装着されている次のレンズ情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• レンズの型名• アイリスのT値 <p>[ご注意] T値が取得できない場合など、T値ではなくF値が表示される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 焦点距離• フォーカス距離• 被写界深度• シリアルナンバー
8	Network	<p>次のネットワーク接続の設定情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 設定状態 (LAN/Wireless Access Point/Wireless Station/Off)• IP Address• SSID• MAC Address <p>[ご注意] IPアドレスを取得できない場合は「0.0.0.0」が表示されます。</p>

記録フォーマット設定表

有効画サイズやプロジェクトフレームレートの組み合わせによって、以下の記録フォーマットの設定が可能です。

太字とアンダーラインで表示されている値を選択した場合、記録される映像信号にLogまたはLUT設定が適用可能になります。

AXS Rec FormatとSxS Rec Formatの組み合わせ

有効画サイズ (Imager Mode)	メイン記録フォーマット		Project Frame Rate						
	AXS Rec Format	SxS Rec Format	23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50.00	59.94
6K 3:2 (6048x4032)	X-OCN XT X-OCN ST X-OCN LT	None	○	○	○	○	○	○	○
		4K XAVC-I Class480	○	○	○	○	—	—	—
		4K XAVC-I Class300	○	○	○	○	—	○	○
		<u>MPEG HD422 P</u>	○	—	○	○	—	—	—
		<u>MPEG HD422 i</u>	—	—	—	—	—	○	○
		<u>FHD ProRes 422 HQ P</u>	○	○	○	○	—	○	○
		<u>FHD ProRes 422 P</u>	○	○	○	○	—	○	○
		<u>FHD ProRes 422 Proxy P</u>	○	○	○	○	—	○	○
		<u>FHD ProRes 422 Proxy i</u>	—	—	—	—	—	○	○
		6K 1.85:1 (6054x3272)	X-OCN XT X-OCN ST X-OCN LT	None	○	○	○	○	○
4K XAVC-I Class480	○			○	○	○	—	—	—
4K XAVC-I Class300	○			○	○	○	—	○	○
<u>MPEG HD422 P</u>	○			—	○	○	—	—	—
<u>MPEG HD422 i</u>	—			—	—	—	—	○	○
<u>FHD ProRes 422 HQ P</u>	○			○	○	○	—	○	○
<u>FHD ProRes 422 P</u>	○			○	○	○	—	○	○
<u>FHD ProRes 422 Proxy P</u>	○			○	○	○	—	○	○
<u>FHD ProRes 422 Proxy i</u>	—			—	—	—	—	○	○

有効画サイズ (Imager Mode)	メイン記録フォーマット	SxS Rec Format	Project Frame Rate						
			23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50.00	59.94
6K 17:9 (6054x3192)	X-OCN XT X-OCN ST X-OCN LT	None	○	○	○	○	○	○	○
		4K XAVC-I Class480	○	○	○	○	—	—	—
		4K XAVC-I Class300	○	○	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 HQ P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○
		6K 2.39:1 (6048x2534)	X-OCN XT X-OCN ST X-OCN LT	None	○	○	○	○	○
4K XAVC-I Class480	○			○	○	○	—	—	—
4K XAVC-I Class300	○			○	○	○	—	○	○
MPEG HD422 P	○			—	○	○	—	—	—
MPEG HD422 i	—			—	—	—	—	○	○
FHD ProRes 422 HQ P	○			○	○	○	—	○	○
FHD ProRes 422 P	○			○	○	○	—	○	○
FHD ProRes 422 Proxy P	○			○	○	○	—	○	○
FHD ProRes 422 Proxy i	—			—	—	—	—	○	○
5.7K 16:9 (5674x3192)	X-OCN XT X-OCN ST X-OCN LT			None	○	○	○	○	—
		QFHD XAVC-I Class480	○	—	○	○	—	—	—
		QFHD XAVC-I Class300	○	—	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 HQ P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○

有効画サイズ (Imager Mode)	メイン記録フォーマット		Project Frame Rate						
	AXS Rec Format	SxS Rec Format	23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50.00	59.94
4K 6:5 (4096x3432)	X-OCN XT X-OCN ST X-OCN LT	None	○	○	○	○	○	○	○
		4K XAVC-I Class480	○	○	○	○	—	—	—
		4K XAVC-I Class300	○	○	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 HQ P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○
4K 4:3 (4096x3024)	X-OCN XT X-OCN ST X-OCN LT	None	○	○	○	○	○	○	○
		4K XAVC-I Class480	○	○	○	○	—	—	—
		4K XAVC-I Class300	○	○	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 HQ P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○
4K 4:3 Surround (4096x3024) 撮画像サイズ (4552x3360)	X-OCN XT X-OCN ST X-OCN LT	None	○	○	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		FHD ProRes 422 HQ P	○	○	○	○	—	—	—
		FHD ProRes 422 P	○	○	○	○	—	—	—
		FHD ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—
4K 17:9 (4096x2160)	X-OCN XT RAW SQ X-OCN ST X-OCN LT	None	○	○	○	○	○	○	○
		4K XAVC-I Class480	○	○	○	○	—	—	—
		4K XAVC-I Class300	○	○	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 HQ P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 HQ i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	○	○
FHD ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○		

有効画サイズ (Imager Mode)	メイン記録フォーマット		Project Frame Rate						
	AXS Rec Format	SxS Rec Format	23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50.00	59.94
4K 17:9 Surround (4096x2160) 撮像画サイズ (4552x2400)	X-OCN XT	None	○	○	○	○	—	—	—
	RAW SQ	MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	FHD ProRes 422 HQ P	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN LT	FHD ProRes 422 P	○	○	○	○	—	—	—
		FHD ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—
4K 4096x1716 2.39:1	X-OCN XT	None	○	○	○	○	○	○	○
	X-OCN ST	4K XAVC-I Class480	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN LT	4K XAVC-I Class300	○	○	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 HQ P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○
3.8K (QFHD) 16:9 (3840x2160)	X-OCN XT	None	○	○	○	○	—	○	○
	RAW SQ	QFHD XAVC-I Class480	○	—	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	QFHD XAVC-I Class300	○	—	○	○	—	○	○
	X-OCN LT	MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 HQ P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 HQ i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 P	○	○	○	○	—	○	○
		FHD ProRes 422 i	—	—	—	—	—	○	○
		FHD ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	○	○
	FHD ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○	
3.8K (QFHD) 16:9 Surround (3840x2160) 撮像画サイズ (4268x2400)	X-OCN XT	None	○	○	○	○	—	—	—
	RAW SQ	MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
	X-OCN ST	FHD ProRes 422 HQ P	○	○	○	○	—	—	—
	X-OCN LT	FHD ProRes 422 P	○	○	○	○	—	—	—
		FHD ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—

SxS Rec FormatとSub Rec Formatの組み合わせ

有効画サイズ (Imager Mode)	記録フォーマット		Project Frame Rate						
	SxSメイン記録フォーマット (SxS Rec Format) ¹⁾	SxSサブ記録フォーマット (Sub Rec Format) ²⁾	23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50.00	59.94
6K 3:2 (6048x4032)	4K XAVC-I Class480	None	—	—	—	—	—	—	—
	4K XAVC-I Class300	None	—	—	—	—	—	—	—
	MPEG HD422 P	None	—	—	—	—	—	—	—
	FHD ProRes 422 HQ P	None	—	—	—	—	—	—	—
	FHD ProRes 422 P	None	—	—	—	—	—	—	—
	FHD ProRes 422 Proxy P	None	—	—	—	—	—	—	—
6K 1.85:1 (6054x3272)	4K XAVC-I Class480	None	○	○	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—
	4K XAVC-I Class300	None	○	○	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—
		ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○
	MPEG HD422 P	None	○	—	○	○	—	—	—
	MPEG HD422 i	None	—	—	—	—	—	○	○
	FHD ProRes 422 HQ P	None	○	○	○	○	—	○	○
	FHD ProRes 422 P	None	○	○	○	○	—	○	○
6K 17:9 (6054x3192)	4K XAVC-I Class480	None	○	○	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—
	4K XAVC-I Class300	None	○	○	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—
ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○		

有効画サイズ (Imager Mode)	記録フォーマット		Project Frame Rate							
	SxSメイン記録フォーマット (SxS Rec Format) ¹⁾	SxSサブ記録フォーマット (Sub Rec Format) ²⁾	23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50.00	59.94	
6K 2.39:1 (6048x2534)	4K XAVC-I Class480	None	○	○	○	○	—	—	—	
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—	
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—	
	4K XAVC-I Class300	None	○	○	○	○	—	○	○	
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—	
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○	
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—	
		ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○	
	MPEG HD422 P	None	○	—	○	○	—	—	—	
	MPEG HD422 i	None	—	—	—	—	—	○	○	
	FHD ProRes 422 HQ P	None	○	○	○	○	—	○	○	
	FHD ProRes 422 P	None	○	○	○	○	—	○	○	
	5.7K 16:9 (5674x3192)	QFHD XAVC-I Class480	None	○	—	○	○	—	—	—
			MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
ProRes 422 Proxy P			○	—	○	○	—	—	—	
QFHD XAVC-I Class300		None	○	—	○	○	—	○	○	
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—	
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○	
		ProRes 422 Proxy P	○	—	○	○	—	—	—	
		ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○	
MPEG HD422 P		None	○	—	○	○	—	—	—	
FHD ProRes 4444 P		None	○	○	○	○	—	—	—	
FHD ProRes 422 HQ P		None	○	○	○	○	—	—	—	
FHD ProRes 422 P		None	○	○	○	○	—	—	—	

有効画サイズ (Imager Mode)	記録フォーマット		Project Frame Rate						
	SxSメイン記録フォーマット (SxS Rec Format) ¹⁾	SxSサブ記録フォーマット (Sub Rec Format) ²⁾	23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50.00	59.94
4K 6:5 (4096x3432)	4K XAVC-I Class480	None	○	○	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—
	4K XAVC-I Class300	None	○	○	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—
		ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○
	MPEG HD422 P	None	○	—	○	○	—	—	—
	FHD ProRes 4444 P (Anamorphic: None)	None	○	○	○	○	—	—	—
	FHD ProRes 422 HQ P	None	○	○	○	○	—	—	—
	FHD ProRes 422 P	None	○	○	○	○	—	—	—
	4K 4:3 (4096x3024)	4K XAVC-I Class480	None	○	○	○	○	—	—
MPEG HD422 P			○	—	○	○	—	—	—
ProRes 422 Proxy P			○	○	○	○	—	—	—
4K XAVC-I Class300		None	○	○	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—
		ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○
MPEG HD422 P		None	○	—	○	○	—	—	—
MPEG HD422 i		None	—	—	—	—	—	○	○
FHD ProRes 4444 P		None	○	○	○	○	—	—	—
FHD ProRes 422 HQ P		None	○	○	○	○	—	○	○
FHD ProRes 422 P		None	○	○	○	○	—	○	○
4K 4:3 Surround (4096x3024) 撮像画サイズ (4552x3360)	MPEG HD422 P	None	○	—	○	○	—	—	—
	FHD ProRes 422 HQ P	None	○	○	○	○	—	—	—
	FHD ProRes 422 P	None	○	○	○	○	—	—	—

有効画サイズ (Imager Mode)	記録フォーマット		Project Frame Rate							
	SxSメイン記録フォーマット (SxS Rec Format) ¹⁾	SxSサブ記録フォーマット (Sub Rec Format) ²⁾	23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50.00	59.94	
4K 17:9 (4096x2160)	4K XAVC-I Class480	None	○	○	○	○	—	—	—	
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—	
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—	
	4K XAVC-I Class300	None	○	○	○	○	—	○	○	
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—	
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○	
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—	
	4K 4096x1716 2.39:1	4K XAVC-I Class480	None	○	○	○	○	—	—	—
			MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
			ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—
4K XAVC-I Class300		None	○	○	○	○	—	○	○	
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—	
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○	
		ProRes 422 Proxy P	○	○	○	○	—	—	—	
MPEG HD422 P		ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○	
		None	○	—	○	○	—	—	—	
		None	—	—	—	—	—	○	○	
	None	○	○	○	○	—	○	○		
	None	○	○	○	○	—	○	○		

有効画サイズ (Imager Mode)	記録フォーマット		Project Frame Rate						
	SxSメイン記録フォーマット (SxS Rec Format) ¹⁾	SxSサブ記録フォーマット (Sub Rec Format) ²⁾	23.98	24.00	25.00	29.97	47.95	50.00	59.94
3.8K (QFHD) 16:9 (3840x2160)	QFHD XAVC-I Class480	None	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		ProRes 422 Proxy P	○	—	○	○	—	—	—
	QFHD XAVC-I Class300	None	○	—	○	○	—	○	○
		MPEG HD422 P	○	—	○	○	—	—	—
		MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	○	○
		ProRes 422 Proxy P	○	—	○	○	—	—	—
		ProRes 422 Proxy i	—	—	—	—	—	○	○
	MPEG HD422 P	None	○	—	○	○	—	—	—
	MPEG HD422 i	None	—	—	—	—	—	○	○
	FHD ProRes 4444 P	None	○	○	○	○	—	—	—
	FHD ProRes 422 HQ P	None	○	○	○	○	—	○	○
	FHD ProRes 422 HQ i	None	—	—	—	—	—	○	○
	FHD ProRes 422 P	None	○	○	○	○	—	○	○
FHD ProRes 422 i	None	—	—	—	—	—	○	○	
3.8K (QFHD) 16:9 Surround (3840x2160) 撮像画サイズ (4268x2400)	MPEG HD422 P	None	○	—	○	○	—	—	—
	FHD ProRes 422 HQ P	None	○	○	○	○	—	—	—
	FHD ProRes 422 P	None	○	○	○	○	—	—	—

¹⁾ SxSメイン記録フォーマットがXAVC設定のときは、XAVC記録のLUT設定はオフ固定になります。

²⁾ SxS記録フォーマットがMPEGまたはProResのときは、LogまたはLookのいずれかを選択可能です (FHDのみ)。

フルメニューの操作方法

MENUボタンを2秒以上長押しすると、撮影や再生に必要な各種設定を行うフルメニューがサブディスプレイに表示されます。

メニュー構成

Shootingメニュー

撮影に関する設定をするときに使用するメニューです。

Projectメニュー

プロジェクトの基本的な設定をするときに使用するメニューです。

TC/Mediaメニュー

タイムコードと記録メディアに関する設定をするときに使用するメニューです。

Monitoringメニュー

ビデオ出力やビューファインダー出力に関する設定をするときに使用するメニューです。

Audioメニュー

オーディオに関する設定をするときに使用するメニューです。

Paintメニュー

ペイント機能に関する設定をするときに使用するメニューです。

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに

設定されている場合のみ、Paintメニューを表示・選択できます。

Technicalメニュー

技術的な内容の設定をするときに使用するメニューです。

Maintenanceメニュー

時計や言語設定などの機器設定をするときに使用するメニューです。

操作部

MENUボタン (9ページ)

2秒以上長押しすると、サブディスプレイにフルメニューが表示されます。

SEL/SET ダイヤル (MENUダイヤル) (9ページ)

回すとカーソルが上下に移動して、設定項目や設定値を選択できます。

MENUダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

BACKボタン (10ページ)

1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

メニューを設定する

MENUダイヤルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、MENUダイヤルを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大9行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合 (例：-99 ~ +99) は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

フルメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は次のとおりです。

Shootingメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Shooting > FPS

撮像フレームレートを設定します。

【ご注意】

Projectメニュー > Basic Setting > SxS Rec Formatの設定がInterlace記録またはProRes 4444記録の場合は、FPSを設定できません。この場合、Fixed/Variable Selectの設定はFixedに変更されます。

メニュー項目	設定値	内容
Fixed/Variable Select	<u>Fixed</u> /Variable	FPS設定を等速撮影にするか、可変速撮影するかを選択する。
FPS Select	Fixed/Variable SelectがFixedの場合、次のいずれかの値が表示されます。 Fixed 23.98/Fixed 24.00/ Fixed 25.00/Fixed 29.97/ Fixed 47.95/Fixed 50.00/ Fixed 59.94	撮像フレームレートを選択する。 Project Frame Rateの設定によって初期値が次のように異なります。
	Project Frame Rate	Fixed/Variable SelectがVariableの場合の初期値
	59.94	60 Fixed 59.94
	50	50 Fixed 50.00
	47.95	48 Fixed 47.95
	29.97	30 Fixed 29.97
	25	25 Fixed 25.00
	24	24 Fixed 24.00
	23.97	24 Fixed 23.98

Shooting > Shutter

電子シャッターに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、Shutterはグレースアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Shutter Select	Shutter Mode (87ページ) がSpeedの場合 工場出荷時の選択肢 1/24、1/25、1/30、 1/48、1/50、1/60、 1/100、1/120、 1/250、1/500、 1/1000、1/2000 ¹⁾ Shutter Mode (87ページ) がAngleの場合 工場出荷時の選択肢 360.0/ <u>180.0</u> /172.8/ 144.0/90.0/45.0/22.5/ 11.2/5.6 Step/Cont. Selectで Continuousを選択すると、 360.0 ~ 4.2 (Angleの場合) または1/24 ¹⁾ ~ 1/8000 ²⁾ (Speedの場合)の範囲からの 選択となります。	電子シャッターの開角度またはスピードを選択する。 スピードの初期値はProject Frame Rate (71ページ) の設定によって次のようになります。 23.98/24 : 1/24 25 : 1/25 29.97 : 1/30 47.95 : 1/48 50 : 1/50 59.94 : 1/60
Step/Cont. Select	<u>Step</u> /Continuous	電子シャッターの値をステップ単位で選択するか、連続的に選択するかを設定する。
Add/Change Step		Shutter SelectのStepでの選択肢を追加または変更する。 追加できる選択肢は最大16個になります。
Delete Step		Shutter SelectのStepでの選択肢の1つを削除する。
Shooting > ND		
NDフィルターのポジションを設定します。		
メニュー項目	設定値	内容
ND Position	<u>Clear</u> /0.3/0.6/0.9/1.2/1.5/1.8/ 2.1/2.4	NDフィルターの濃度を選択する。

¹⁾ プロジェクトフレームレートが59.94の場合は1/60以降の値、50.0の場合は1/50以降の値、29.97の場合は1/30以降の値、25.0の場合は1/25以降の値が選択肢となります。

²⁾ プロジェクトフレームレートが50.0または25.0の場合は1/7000までの値、24.0または23.98の場合は1/6000までの値が選択肢となります。

Shooting > Exposure Index

EI値を設定します。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、Exposure Indexはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
EI Select	Projectメニュー > Basic Setting > Base ISO (72ページ) の設定によって、設定値が次のように異なります。 ISO 500 : 125EI/160EI/200EI/250EI/ 320EI/400EI/ 500EI / 640EI/800EI/1000EI/ 1250EI/1600EI/2000EI ISO 2500 : 640EI/800EI/1000EI/ 1250EI/1600EI/2000EI/ 2500EI /3200EI/4000EI/ 5000EI/6400EI/8000EI/ 10000EI	EI値を選択する。 【ご注意】 Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、設定値が以下のように固定されます。 Base ISOがISO500のとき : 500EI Base ISOがISO2500のとき : 2500EI

Shooting > Gain

ゲインに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOffに設定されている場合、またはRM-B170などのリモートコントロールユニットが接続されている場合は、Gainの設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Gain Select	-6dB/-3dB/ 0dB /3dB/6dB/ 9dB/12dB/15dB/18dB	基準感度を設定する。

Shooting > White Balance

ホワイトバランスに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、White Balanceはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Color Temp. Select	3200K+00 /4300K+00/ 5500K+00 および追加された選択肢 (計16個まで)	ホワイトバランスの色温度/色合いを表示および選択する。
Add/Change Step		ホワイトバランスのColor TempとTint値を変更して、選択肢を追加または変更する。
Delete Step		追加された選択肢の1つを選択肢から削除する。
Auto White Balance	Execute/Cancel	オートホワイトバランスを実行する (Executeで実行)。

Shooting > LUT Select

各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります (SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
SDI 1/2	RM/RCP Paint ControlがOffのとき : Log	SDI 1/2出力映像にはLUTを適用できないため表示のみ。
	RM/RCP Paint ControlがOnのとき : Log /HLG(Natural)/ HLG(Live)/User Gamma	SDI 1/2出力映像の設定値は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) の設定で決まるため表示のみ。
SDI 3/4	RM/RCP Paint ControlがOffのとき : Log/ Look /---	SDI 3/4出力映像に適用するLUTを選択する。
	RM/RCP Paint ControlがOnのとき : Log /HLG(Natural)/ HLG(Live)/User Gamma	SDI 3/4出力映像の設定値は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) の設定で決まるため表示のみ。

Shooting > LUT Select

各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります (SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
Monitor	RM/RCP Paint ControlがOffのとき： Output Format > SDI1/2が2K/HDのとき： Log/ s709 /R709(800%)/ART Output Format > SDI1/2が4K/QFHDのとき： Log/ Look	Monitor出力映像に適用するLUTを選択する。 【ご注意】 「ART」は、Shootingメニュー > Look > Category (69ページ) がARTに設定されている場合のみ選択できます。
	RM/RCP Paint ControlがOnのとき、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) の設定によって、設定値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3： Log /R709(800%) HLG(Natural)： HLG(Natural) /R709(800%) HLG(Live)： HLG(Live) /R709(800%) Rec.2020/User Gamma： User Gamma /R709-Like Rec.709/User Gamma： User Gamma	Monitor出力映像の種類を選択する。

Shooting > LUT Select

各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります (SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
HDMI	RM/RCP Paint ControlがOffのとき： Log/ s709 /R709(800%)/ART/Look	HDMI出力映像に適用するLUTを表示する。 【ご注意】 「ART」は、Shootingメニュー > Look > Category (69ページ) がARTに設定されている場合のみ選択できます。
	RM/RCP Paint ControlがOnのとき (4K/QFHD出力時)： Log /HLG(Natural)/HLG(Live)/User Gamma	HDMI出力映像の設定値はSDI 1/2と同じため表示のみ。
	RM/RCP Paint ControlがOnのとき (2K/HD出力時)： Log /HLG(Natural)/HLG(Live)/User Gamma/R709(800%)/R709-Like	HDMI出力映像の設定値はMonitorと同じため表示のみ。

Shooting > LUT Select

各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります (SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
VF LUT	RM/RCP Paint ControlがOffのとき： Log/ s709 /R709(800%)/Look	ビューファインダー・モニター画面出力映像に適用するLUTを選択する。 【ご注意】 ビューファインダー・モニター画面出力映像にはSDRゲイン値 (-12dB) が反映されます。
	RM/RCP Paint ControlがOnのとき、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) の設定によって、設定値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3： Log/ R709(800%) HLG(Natural)： HLG(Natural)/ R709(800%) HLG(Live)： HLG(Live)/ R709(800%) Rec.2020/User Gamma： User Gamma/ R709-Like Rec.709/User Gamma： User Gamma	ビューファインダー・モニター画面出力映像の種類を選択する。
SxS Rec	RM/RCP Paint ControlがOffのとき： Log /Look	SxS Mainクリップ記録映像に適用するLUTを選択する。
	RM/RCP Paint ControlがOnのとき： Log/HLG(Natural)/ HLG(Live)/User Gamma	SxS Mainクリップ記録映像の設定値は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) の設定で決まるため表示のみ。

Shooting > LUT Select

各種出力映像に適用するLUTに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) の設定によって各メニュー項目の設定値が異なります (SDR Gainを除く)。

メニュー項目	設定値	内容
Sub Rec	RM/RCP Paint ControlがOffのとき： Log / Look	SxS Subクリップ記録映像に適用するLUTを選択する。
	RM/RCP Paint ControlがOnのとき： Log/HLG(Natural)/ HLG(Live)/User Gamma	SxS Subクリップ記録映像の設定値は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) の設定で決まるため表示のみ。
SDR Gain	-15dB ~ 0dB (-12dB) (1 dB刻み)	HDRモード時のSDR出力ゲインを設定する。 R709(800%)またはR709-Likeに設定されているMonitorまたはビューファインダーの出力ゲインを変更することができます。 【ご注意】 Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合に設定できます。

Shooting > Look

Preset Lookに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、Lookはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Category	Preset Look /ACES/User 3D LUT/ART	LUTの 카테고리 を選択する。 【ご注意】 「ACES」は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) がS-Gamut3/SLog3に設定されている場合のみ選択できます。
Preset Look Select	s709 /R709(800%) / S-Gamut3.Cine/SLog3 / S-Gamut3/SLog3	Preset Lookを選択する。 カラーグレーディングの開始点に適した映像やプリントフィルムに近づけた映像を出力する。 s709：シネマ色 R709(800%)：忠実色 S-Gamut3/SLog3：広い色域 S-Gamut3.Cine/SLog3：デジタルシネマを考慮した色域 【ご注意】 <ul style="list-style-type: none"> CategoryがPreset Lookに設定されている場合のみ設定できます。 「S-Gamut3/SLog3」は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) がS-Gamut3/SLog3に設定されている場合のみ選択できます。
ACES Select	ACESproxy /ACEScct/ACES 1.0 Output-Rec.709	ACES規格のLookの種類を選択する。 ACESproxy：アカデミーにより規定されている広色域 (AP1) のLogカーブです。 ACEScct：ACESproxyにコントラストを抑えたToe特性を持たせた広色域 (AP1) のLogカーブです。 ACES 1.0 Output-Rec.709：アカデミーにより規定されているRec.709のリファレンスルックです。 【ご注意】 CategoryがACESに設定されている場合のみ設定できます。

Shooting > Look

Preset Lookに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、Lookはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
User 3D LUT Select	内部メモリーに保存されている User 3D LUTのファイル名 (01 ~ 16)	User 3D LUTファイルを選択する。 【ご注意】 CategoryがUser 3D LUTに設定されている場合のみ設定できます。
ART Select	内部メモリーに保存されている ARTのファイル名 (01 ~ 16)	ARTファイルを選択する。 【ご注意】 CategoryがARTに設定されている場合のみ設定できます。
ART Information		ART Selectで選択したARTファイルの情報を表示する。 【ご注意】 CategoryがARTに設定されている場合のみ表示できます。

Shooting > Look

Preset Lookに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、Lookはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
ASC CDL Process Look	CDL Off /Look-> CDL/CDL -> Look	出力映像にASC CDL を適用するかを設定する。適用する場合、ASC CDLの処理の順番を指定する。 CDL Off：出力映像にASC CDLを適用しない。 CDL->Look：CDLをLook適用処理の前に適用する。 Look->CDL：CDLをLook適用処理の後に適用する。 【ご注意】 <ul style="list-style-type: none"> ASC CDLは、Shootingメニュー > LUT Select (66ページ) でLookが選択された出力に有効です。 ASC CDL Processの各選択肢が有効になる条件は以下のとおりです。

Shooting > Look >				Project > Basic Setting > Input Color Space	ASC CDL Processの有効選択肢
Category	Preset Look Select	ACES Select	User 3D LUT Select		
Preset Look	s709	—	—	S-Gamut3/SLog3 S-Gamut3.Cine/ SLog3	CDL Off Look -> CDL CDL->Look
	R709(800%) S-Gamut3/ SLog3 S-Gamut3. Cine/SLog3	—	—	S-Gamut3/SLog3 S-Gamut3.Cine/ SLog3	CDL Off Look -> CDL CDL->Look
ACES	—	ACESproxy ACESsct ACES 1.0 Output- Rec.709	—	S-Gamut3/SLog3	CDL Off CDL->Look
User 3D LUT	—	—	s709xxx. cube	S-Gamut3/SLog3 S-Gamut3.Cine/ SLog3	CDL Off Look -> CDL CDL->Look

Shooting > Look

Preset Lookに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、Lookはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
ASC CDL Select	No File /Not Selected	本機に登録されたASC CDLを選択する。
ASC CDL Information		ASC CDL Selectで選択したASC CDLの情報を表示する。

Shooting > Look File

User 3D LUTファイルを本機に読み込みます。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、Look Fileはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Load User 3D LUT		SDカードに保存されているUser 3D LUTファイルを本機に読み込む。
Reset User 3D LUT		任意のUser 3D LUTデータ設定をリセットする。
Reset All User 3D LUTs	Execute/Cancel	すべてのUser 3D LUTデータ設定をリセットする (Executeで実行)。
Load ART		SDカードに保存されているARTファイルを本機に読み込む。
Reset ART		任意のARTデータ設定をリセットする。
Reset All ARTs	Execute/Cancel	すべてのARTデータ設定をリセットする (Executeで実行)。
Load ASC CDL		ASC CDLデータをSDカードから読み込む。
Reset ASC CDL		任意のASC CDLデータ設定をリセットする。
Reset All ASC CDLs	Execute/Cancel	すべてのASC CDLデータ設定をリセットする (Executeで実行)。

Shooting > **Flicker Reduce**

フリッカー低減に関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Mode	On/ Off	フリッカー低減機能をオン/オフする。
Frequency	50Hz/ 60Hz	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。

Projectメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Project > **Basic Setting**

画サイズやプロジェクトフレームレートに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Imager Mode	6K 3:2/6K 1.85:1/6K 17:9/6K 2.39:1/5.7K 16:9/4K 6:5/4K 4:3/4K 4:3 Surround View/ 4K 17:9/4K 17:9 Surround View/4K 2.39:1/3.8K 16:9/3.8K 16:9 Surround View	有効画サイズを選択する。 【ご注意】 • 6K 3:2/6K 1.85:1/6K 17:9はフルフレームライセンスタイプインストール時のみ表示されます。 • 4K 6:5/4K 4:3/4K 4:3 Surround Viewはアナモフィックライセンスインストール時のみ表示されません。
Project Frame Rate	23.98 /24/25/29.97/47.95/50/59.94	プロジェクトフレームレートを選択する。
Input Color Space	S-Gamut3.Cine/SLog3 / S-Gamut3/SLog3 / HLG(Natural) / HLG(Live) / Rec.2020/User Gamma / Rec.709/User Gamma	色域を設定する。 【ご注意】 • HLG(Natural) / HLG(Live) / Rec.2020/User Gamma / Rec.709/User Gammaは、Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合のみ選択できます。 • HLG(Natural)はHLG BT.2100と同等です。
AXS Rec Format (AXS-R7装着時のみ)	Rec Off /X-OCN XT/RAW SQ/ X-OCN ST/X-OCN LT	AXS-R7に挿入されたAXSメモリーカードに記録するビデオフォーマットを選択する。
SxS Rec Format	Rec Off/XAVC 4K Class480/ XAVC 4K Class300 /XAVC QFHD Class480/XAVC QFHD Class300/MPEG HD P/MPEG HD i/ProRes 4444 HD P/ProRes 422 HQ HD P/ProRes 422 HQ HD i/ProRes 422 HD P/ProRes 422 HD i/ProRes 422 Proxy HD P/ProRes 422 Proxy HD i	SxSメモリーカードに記録するビデオフォーマットを選択する。 【ご注意】 • ProRes 4444 HD Pは、以下の有効画サイズにのみ対応しています。 – 5.7K 16:9 – 4K 6:5 – 4K 4:3 – 3.8K 16:9 • Input Color SpaceがHLG(Natural)、HLG(Live)またはRec.2020/User Gammaに設定されている場合、ProRes 4444 HD Pは選択できません。
Sub Rec Format	Rec Off /MPEG HD P/MPEG HD i/ProRes 422 Proxy HD P/ProRes 422 Proxy HD i	SxSiにサブとして記録するフォーマットを選択する。

Project > Basic Setting

画サイズやプロジェクトフレームレートに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Base ISO	ISO 500 /ISO 2500	基準感度を設定する。
SxS/Output De-Squeeze	Off(1.0x) /1.25x/1.3x/1.5x/1.65x/1.8x/2.0x	SxS記録信号およびビデオ出力信号のデスクイーズ変換処理を行うかを設定する。 アナモフィックライセンスがインストールされていて、Imager Modeの設定が4K 4:3/4K 4:3 Surround View/4K 6:5/4K 17:9/4K 17:9 Surround View、またはアナモフィックライセンスとフルフレームライセンスがインストールされていて、Imager Modeの設定が6K 3:2/6K 17:9のときに設定できます。ただし、画サイズによって選択肢が異なります。

Imager Mode	SxS/Output De-Squeeze						
	Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.65x	1.8x	2.0x
6K 3:2	○	○	○	○	○	○	○
6K 1.85:1	○	—	—	—	—	—	—
6K 17:9	○	○	○	—	○	○	○
6K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—
5.7K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
4K 6:5	○	—	—	—	—	—	○
4K 4:3 Surround	○	—	○	—	○	○	○
4K 4:3	○	—	○	—	○	○	○
4K 17:9 Surround	○	○	○	—	○	○	○
4K 17:9	○	○	○	—	○	○	○
4K 2.39:1	○	—	—	—	—	—	—
3.8K 16:9 Surround	○	—	—	—	—	—	—
3.8K 16:9	○	—	—	—	—	—	—

Project > Basic Setting

画サイズやプロジェクトフレームレートに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容					
		RGB出力するHD ProRes 4444では対応する有効画サイズに制限があるため、設定可能な選択肢は以下のとおりとなります。					
Imager Mode	SxS/Output De-Squeeze						
	Off(1.0x)	1.25x	1.3x	1.5x	1.65x	1.8x	2.0x
5.7K 16:9	○	—	—	—	—	—	—
4K 6:5	○	—	—	—	—	—	—
4K 4:3	○	—	○	—	—	—	—
3.8K 16:9	○	—	—	—	—	—	—

Project > Special Recording

ピクチャーキャッシュレックに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Cache Rec Select	On/ Off	ピクチャーキャッシュ機能をオン/オフする。 以下のピクチャーキャッシュ非対応設定時はOffに設定されグレーアウトされます。 <ul style="list-style-type: none"> • XAVC-I Class480 (4K, QFHD) の記録フォーマット設定時 • 有効画サイズ、システム周波数設定の組み合わせによってピクチャーキャッシュ非対応設定となる場合 • AXS Rec FormatとSxS Rec Formatが共にRec Offの場合 • AXSとSxSの同時記録設定時

Project > Special Recording

ピクチャーキャッシュレックに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Max Cache Rec Duration	2sec/4sec/6sec/8sec/10sec/ 15sec/24sec/30sec	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積するときの再生時間長を設定する。 各メモリーカードに設定可能な最大値は以下のとおりです。

SxSメモリーカードに記録するとき

SxS Rec Format	Project Frame Rate							
	23.98	24	25	29.97	47.95	50	59.94	
4K/QFHD XAVC-I Class480	—	—	—	—	—	—	—	
4K/QFHD XAVC-I Class300	2	2	2	2	—	—	—	
FHD ProRes 4444 HQ P	2	2	2	2	—	—	—	
2K/FHD ProRes 422 HQ P	2	2	2	2	—	—	—	
2K/FHD ProRes 422 HQ i	—	—	—	—	—	2	2	
2K/FHD ProRes 422 P	6	6	6	6	—	2	2	
2K/FHD ProRes 422 i	—	—	—	—	—	6	6	
MPEG HD422 P	15	—	15	15	—	—	—	
MPEG HD422 i	—	—	—	—	—	15	15	

Project > Special Recording

ピクチャーキャッシュレックに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容							
		AXSメモリーカードに記録するとき							
Imager Mode	AXS Rec Format	Project Frame Rate							
		23.98	24	25	29.97	47.95	50	59.94	
6K 3:2	X-OCN XT	4	4	2	2	—	—	—	
	X-OCN ST	8	8	8	6	—	—	—	
	X-OCN LT	15	15	15	15	6	6	4	
6K 1.85:1	X-OCN XT	6	6	6	4	—	—	—	
	X-OCN ST	10	10	10	8	2	2	—	
	X-OCN LT	24	24	24	15	10	10	6	
6K 17:9	X-OCN XT	6	6	6	4	—	—	—	
	X-OCN ST	10	10	10	8	4	2	2	
	X-OCN LT	24	24	24	15	10	10	8	
6K 2.39:1	X-OCN XT	10	10	10	6	2	2	—	
	X-OCN ST	15	15	15	10	6	6	4	
	X-OCN LT	30	30	30	24	15	15	10	
5.7K 16:9	X-OCN XT	6	6	6	4	—	—	—	
	X-OCN ST	10	10	10	8	—	2	2	
	X-OCN LT	24	24	24	15	—	10	8	
4K 6:5	X-OCN XT	10	10	10	8	2	2	—	
	X-OCN ST	15	15	15	15	8	6	4	
	X-OCN LT	30	30	30	30	15	15	10	
4K 4:3	X-OCN XT	15	15	10	10	4	4	2	
	X-OCN ST	24	24	24	15	8	8	6	
	X-OCN LT	30	30	30	30	15	15	15	

Project > Special Recording

ピクチャーキャッシュレックに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容							
Imager Mode	AXS Rec Format	Project Frame Rate							
		23.98	24	25	29.97	47.95	50	59.94	
4K 4:3 Surround	X-OCN XT	15	15	10	10	—	—	—	
	X-OCN ST	24	24	24	15	—	—	—	
	X-OCN LT	30	30	30	30	—	—	—	
4K 17:9	RAW SQ	24	24	24	15	8	8	6	
	X-OCN XT	24	24	24	15	8	8	6	
	X-OCN ST	30	30	30	30	15	15	10	
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	30	24	
4K 17:9 Surround	RAW SQ	24	24	24	15	—	—	—	
	X-OCN XT	24	24	24	15	—	—	—	
	X-OCN ST	30	30	30	30	—	—	—	
	X-OCN LT	30	30	30	30	—	—	—	
4K 2.39:1	X-OCN XT	30	30	30	24	10	10	10	
	X-OCN ST	30	30	30	30	15	15	15	
	X-OCN LT	30	30	30	30	30	30	30	
3.8K(QFHD) 16:9	X-OCN XT	24	24	24	15	—	8	6	
	X-OCN ST	30	30	30	30	—	15	10	
	X-OCN LT	30	30	30	30	—	30	24	
3.8K(QFHD) 16:9 Surround	X-OCN XT	24	24	24	15	—	—	—	
	X-OCN ST	30	30	30	30	—	—	—	
	X-OCN LT	30	30	30	30	—	—	—	

Project > Assignable Button

アサインナブルボタンに機能を割り当てます。

◆ 機能の割り当てについては、「ユーザー機能画面」(44ページ)をご覧ください。

メニュー項目	設定値	内容
<1>	44ページ	アサインナブル1ボタンに機能を割り当てる。
<2>	44ページ	アサインナブル2ボタンに機能を割り当てる。
<3>	44ページ	アサインナブル3ボタンに機能を割り当てる。
<4>	44ページ	アサインナブル4ボタンに機能を割り当てる。
<5>	44ページ	アサインナブル5ボタンに機能を割り当てる。 【ご注意】 本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ表示されます。
<6>	44ページ	アサインナブル6ボタンに機能を割り当てる。 【ご注意】 本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ表示されます。
<7>	44ページ	アサインナブル7ボタンに機能を割り当てる。 【ご注意】 本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ表示されます。
<VF A>	44ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインナブルAボタンに機能を割り当てる。
<VF B>	44ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインナブルBボタンに機能を割り当てる。
<VF C>	44ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインナブルCボタンに機能を割り当てる。
<User 1>	45ページ	ITEMキー 1に機能を割り当てる。
<User 2>	45ページ	ITEMキー 2に機能を割り当てる。
<User 3>	45ページ	ITEMキー 3に機能を割り当てる。
<User 4>	45ページ	ITEMキー 4に機能を割り当てる。
<User 5>	45ページ	ITEMキー 5に機能を割り当てる。

Project > All File

Allファイルに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Load SD Card		Allファイルの設定をSDカードから読み出す。
Save SD Card		Allファイルの設定をSDカードに保存する。
File ID		AllファイルのFile IDを表示し、編集する。

Project > All File		
Allファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Format SD Card		SD Cardをフォーマットする。
Project > Scene File		
Sceneファイルに関する設定を行います。		
【ご注意】		
Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合のみ、Scene Fileを表示・選択できます。		
メニュー項目	設定値	内容
Recall Internal Memory		Sceneファイルの設定を内蔵メモリーから読み出す。
Store Internal Memory		Sceneファイルの設定を内蔵メモリーに保存する。
Load SD Card		Sceneファイルの設定をSDカードから読み出す。
Save SD Card		Sceneファイルの設定をSDカードに保存する。
File ID		SceneファイルのFile IDを表示し、編集する。
Project > User Gamma		
ユーザーガンマファイルに関する設定を行います。		
【ご注意】		
Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合のみ、User Gammaを表示・選択できます。		
メニュー項目	設定値	内容
Current Settings		内蔵メモリー上の、現在のユーザーガンマファイル名を表示する。
Load SD Card		SDカード内のユーザー作成によるガンマテーブルデータ(ユーザーガンマファイル)を内蔵メモリーに読み込む。 RAW Viewerで作成されたユーザーガンマファイルを本機で使用する際には、SDカードの以下の階層に保存してください。 PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\MPC3610
Reset	1/2/3/4/5/All	内蔵メモリー上のユーザーガンマファイルを初期値に戻す。 1～5：個別 All：全部

TC/Mediaメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

TC/Media > Timecode		
タイムコードに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Mode	Preset F-Run (Ext-Lk)/ <u>Preset R-Run</u> /Int Regen	タイムコードの歩進モードを選択する。 Preset F-Run (Ext-Lk)：設定された状態から歩進し、外部入力TCに同期する。 Preset R-Run：記録時のみ設定された状態から歩進する。 Int Regen：前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。
Manual Setting	00:00:00:00 ~ 23:59:59:29	任意のタイムコード値を設定する。
Reset	Execute/Cancel	タイムコードを00:00:00:00にリセットする(Executeで実行)
TC Format	DF/ <u>NDF</u>	タイムコードのフォーマットを選択する。 DF：ドロップフレーム NDF：ノンドロップフレーム
TC Source	Internal/External	TCGの同期元を表示する。
Time Data Display	<u>Timecode</u> /Duration	表示するタイムデータを選択する。
TC/Media > Clip Name Format		
クリップ名を設定します。(クリップ名：Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列)		
メニュー項目	設定値	内容
Camera ID	<u>A</u> ~ Z	クリップ名の生成時のカメラIDを設定する。
Reel Number	<u>001</u> ~ 999	クリップ名の生成時のReel Numberの数字部分を設定する。
Camera Position	<u>C</u> /L/R	クリップ名の生成時のShot Numberの先頭文字部分を選択する。

TC/Media > **Clip Name Format**

クリップ名を設定します。(クリップ名：Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列)

メニュー項目	設定値	内容
SxS Root Folder Name	<u>XDROOT</u> /Cam ID + Reel#	SxSカードのボリュームラベル名とルートフォルダ名の命名規則を設定する。 XDROOT：ルートフォルダ名が「XDROOT」になります。 Cam ID + Reel#：ボリュームラベル名とルートフォルダ名がCam ID形式になります。 【ご注意】 <ul style="list-style-type: none"> 設定を変更した場合は、MPC-3610とPMW-PZ1以外のソニー製カムコーダーおよびVTRでは再生できません(PMW-PZ1は設定変更が必要です)。 ボリュームラベル名とルートフォルダ名の変更は記録開始操作時に行われます。 ルートフォルダ名が一度Camera ID形式になったメディアは、本設定でルートフォルダ名を「XDROOT」に戻すことができません。 メディアをフォーマットした際のルートフォルダは、「XDROOT」になります。 Camera ID形式のルートフォルダ名で記録したメディアをCamera ID形式メディア非対応機器(Venice V2.0以前を含む)に挿入すると、Camera ID形式のルートフォルダが認識できないため、XDROOTフォルダが生成されルートフォルダとして認識されます。

TC/Media > **Format Media**

メディアをフォーマットします。

メニュー項目	設定値	内容
AXS Slot A (AXS-R7装着時のみ)	Execute/Cancel	スロットAのAXSメモリーカードを初期化する(Executeで実行)。
AXS Slot B (AXS-R7装着時のみ)	Execute/Cancel	スロットBのAXSメモリーカードを初期化する(Executeで実行)。
SxS Slot A	Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカードを初期化する(Executeで実行)。
SxS Slot B	Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカードを初期化する(Executeで実行)。
SD Card	Execute/Cancel	SDカードを初期化する(Executeで実行)。

TC/Media > **Update Media**

メディア内の管理ファイルを更新します。

メニュー項目	設定値	内容
AXS Slot A (AXS-R7装着時のみ)	Execute/Cancel	AXS-R7のスロットAのAXSメモリーカード内の管理ファイルを更新する(Executeで実行)。
AXS Slot B (AXS-R7装着時のみ)	Execute/Cancel	AXS-R7のスロットBのAXSメモリーカード内の管理ファイルを更新する(Executeで実行)。
SxS Slot A	Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する(Executeで実行)。
SxS Slot B	Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する(Executeで実行)。

Monitoringメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Monitoring > Output Format		
出力フォーマットに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
SDI 1/2	Imager Mode、プロジェクト フレームレート、SxS記録フォーマットの設定に応じて変わる。	SDI 1/2の出力フォーマットを選択する。 記録フォーマットにより設定値が異なる(125ページ)。
SDI 3/4	SDI 1/2の設定に応じて変わる。	SDI 3/4の出力フォーマットを選択する。 記録フォーマットにより設定値が異なる(125ページ)。
Monitor	SDI 1/2の設定に応じて変わる。	Monitorの出力フォーマットを選択する。 記録フォーマットにより設定値が異なる(129ページ)。
HDMI	SDI 1/2の設定に応じて変わる。	HDMIの出力フォーマットを選択する。 記録フォーマットにより設定値が異なる(129ページ)。
Monitoring > OSD Appearance		
各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。 On/Offの設定はチェックボックスで行います(Frame Line on Playbackを除く)。 On：チェックを付ける Off：チェックを外す		
メニュー項目	設定値	内容
VF	Status Info (On/Off 、 Info. A/Info. B) Frame Line (On/ Off 、 Line A/Line B)	ビューファインダー・モニター画面出力映像に重畳して表示する情報を選択する。 ビューファインダー・モニター画面出力映像に重畳して表示するフレームラインを選択する。
SDI SDI 1/2 SDI 3/4	Status Info (On/Off 、Info. A/ Info. B) Frame Line (On/ Off 、Line A/ Line B)	SDI3/4出力信号に重畳して表示する情報を選択する。 SDI3/4出力信号に重畳して表示するフレームラインを選択する。
[ご注意] Output FormatのSDI 1/2とSDI 3/4の設定によって表示が切り換わります。		

Monitoring > OSD Appearance		
各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。 On/Offの設定はチェックボックスで行います(Frame Line on Playbackを除く)。 On：チェックを付ける Off：チェックを外す		
メニュー項目	設定値	内容
Monitor	Status Info (On/Off 、Info. A/ Info. B) Frame Line (On/ Off 、Line A/ Line B)	Monitor出力信号に重畳して表示する情報を選択する。 Monitor出力信号に重畳して表示するフレームラインを選択する。
HDMI	Same as SDI/ Same as Monitor	HDMI出力信号に重畳して表示する情報の設定が、SDI出力と同じか、Monitorと同じかを表示する。
Status Info A/B Setup	Project Info. A (On/Off) Info. B (On/Off) Timecode Info. A (On/ Off) Info. B (On/ Off) Audio Level Meter Info. A (On/ Off) Info. B (On/ Off) Look Status Info. A (On/ Off) Info. B (On/ Off) Output LUT Info. A (On/ Off) Info. B (On/ Off) Recording LUT Info. A (On/ Off) Info. B (On/ Off) VF Status Info. A (On/Off) Info. B (On/ Off) Lens Status Info. A (On/Off) Info. B (On/ Off) Remote Control Status Info. A (On/Off) Info. B (On/ Off)	Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報にプロジェクト情報を選択する。 Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報にタイムコード情報を選択する。 Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報にオーディオレベルメーターを表示するかを選択する。 Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報に選択されているLOOKの種類を表示するかを選択する。 Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報に出力LUT情報を選択する。 Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報に記録LUT情報を選択する。 Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報にビューファインダーの情報を選択する。 Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報にレンズ情報を選択する。 Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報にリモート設定情報を選択する。

Monitoring > OSD Appearance

各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。
On/Offの設定はチェックボックスで行います (Frame Line on Playbackを除く)。
On：チェックを付ける
Off：チェックを外す

メニュー項目	設定値	内容
	Level Gauge Info. A (On/Off) Info. B (On/Off)	Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報に水準器状態の情報をグラフィカル表示するかを選択する。 【ご注意】 本機にCBK-3610XSが接続されている場合は、Level Gaugeはグレーアウトされ設定を変更できません。
	Roll/Tilt Value Info. A (On/Off) Info. B (On/Off)	Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報に水準器状態の情報を数値表示するかを選択する。 【ご注意】 本機にCBK-3610XSが接続されている場合は、Roll/Tilt Valueはグレーアウトされ設定を変更できません。
	TC/Genlock Status Info. A (On/Off) Info. B (On/Off)	Status Info AおよびStatus Info Bに設定した出力情報に、タイムコードの外部ロック状態およびゲンロック状態の情報を表示するかを選択する。
Frame Line A/B Setup	Center Marker Line A (On/Off) Line B (On/Off) Option (Cross/Open Cross/Dot)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にセンターマーカを表示するかを選択する。 センターマーカの設定形態 (Cross/Open Cross/Dot) を選択する。
	Aspect Ratio Line A (On/Off) Line B (On/Off) Option (17:9/16:9/15:9/14:9/13:9/9:16/4:3/1:1/1.43:1/1.66:1/1.85:1/2:1/2.35:1/2.39:1)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にアスペクトマーカを表示するかを選択する。 アスペクトマーカを表示するときのモード (17:9/16:9/15:9/14:9/13:9/9:16/4:3/1:1/1.43:1/1.66:1/1.85:1/2:1/2.35:1/2.39:1) を設定する。
	Aspect Safety Zone Line A (On/Off) Line B (On/Off) Option (80%/90%/92.5%/95%)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にアスペクトセーフティゾーンを表示するかを選択する。 アスペクトセーフティゾーンマーカの大きさ (画面全体に対する比率) を選択する。
	Picture Area Line A (On/Off) Line B (On/Off)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にピクチャーエリアを表示するかを選択する。

Monitoring > OSD Appearance

各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。
On/Offの設定はチェックボックスで行います (Frame Line on Playbackを除く)。
On：チェックを付ける
Off：チェックを外す

メニュー項目	設定値	内容
	Safety Zone Line A (On/Off) Line B (On/Off) Option (80%/90%/92.5%/95%)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にセーフティゾーンを表示するかを選択する。 セーフティゾーンの範囲 (80%/90%/92.5%/95%) を選択する。
	User Frame Line 1 Line A (On/Off) Line B (On/Off) Option (Preset/Variable)	Frame Line A およびFrame Line Bに設定した出力情報にユーザーフレームライン1を表示するかを選択する。 ユーザーフレームライン1を任意に設定した表示にするか、固定のアスペクト比を表示するかを選択する。
	User Frame Line 2 Line A (On/Off) Line B (On/Off) Option (Preset/Variable)	Frame Line AおよびFrame Line Bに設定した出力情報にユーザーフレームライン2を表示するかを選択する。 ユーザーフレームライン2を任意に設定した表示にするか、固定のアスペクト比を表示するかを選択する。
	Color Option (White/Yellow/Cyan/Green/Magenta/Red/Blue)	フレームラインの表示色を設定する。
	Surround View Type Option (Line/Mask/Line&Mask)	サラウンドビューマーカの表示形態を選択する。 Line：記録領域を線で表示する。 Mask：記録領域外側部のビデオ信号レベルを落として表示する。 Line&Mask：記録領域外側部のビデオ信号レベルを落として、記録領域を線で表示する。
	Aspect Ratio Type Option (Line/Mask/Line&Mask)	アスペクトマーカの表示形態を選択する。 Line：Colorで設定されている色の線で表示する。 Mask：マーカ範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。 Line&Mask：マーカ範囲外のビデオ信号レベルを下げて、Colorで設定されている色の線で表示する。

Monitoring > OSD Appearance

各種出力信号に重畳する情報やフレームラインに関する設定を行います。
On/Offの設定はチェックボックスで行います (Frame Line on Playbackを除く)。
On：チェックを付ける
Off：チェックを外す

メニュー項目	設定値	内容
	Mask Level Option (0 ~ 15 (12))	Aspect Ratio TypeまたはSurround View TypeがMaskのとき、マーカーの外側の映像の明るさを選択する。
	Frame Line on Playback Option (On /Off)	再生時にフレームラインを重畳する機能をオン/オフする。

Monitoring > Monitor Display

モニターの表示に関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Focus Distance Format	Meter/ Feet	フォーカスポジション表示の単位を選択する。
Monitor Magnifier Ratio	x2.0 / x4.0 / x2.0/x4.0	Monitor出力映像の拡大フォーカス機能の拡大率を選択する。 【ご注意】 Project Frame Rate (71ページ) が59.94または50のときは、x2.0のみ選択可能です。

Monitoring > Frame Line

出力映像に表示するラインやマーカーに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Center Marker	Cross /Open Cross/Dot	センターマーカーの表示形態を選択する。
Aspect Ratio	17:9/ 16:9 /15:9/14:9/13:9/ 9:16/4:3/1:1/1.43:1/1.66:1/ 1.85:1/2:1/2.35:1/2.39:1	アスペクトマーカーを表示するときのモードを選択する。
Aspect Safety Zone	80%/ 90% /92.5%/95%	アスペクトセーフティーゾーンマーカーの大きさ (画面全体に対する比率) を選択する。
Safety Zone	80%/ 90% /92.5%/95%	セーフティーゾーンの範囲を選択する。
Color	White /Yellow/Cyan/Green/ Magenta/Red/Blue	フレームラインの表示色を選択する。
Surround View Type	Line /Mask/Line&Mask	サラウンドビューマーカーの表示形態を選択する。 Line：記録領域を線で表示する。 Mask：記録領域外側部のビデオ信号レベルを落として表示する。 Line&Mask：記録領域外側部のビデオ信号レベルを落として、記録領域を線で表示する。

Monitoring > Frame Line

出力映像に表示するラインやマーカーに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Aspect Ratio Type	Line /Mask/Line&Mask	アスペクトマーカーの表示形態を選択する。 Line：Colorで設定されている色の線で表示する。 Mask：マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。 Line&Mask：マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて、Colorで設定されている色の線で表示する。
Mask Level	0 ~ 15 (12)	Aspect Ratio TypeまたはSurround View TypeがMaskのとき、マーカーの外側の映像の明るさを選択する。
Frame Line on Playback	On /Off	再生時にフレームラインを重畳する機能をオン/オフする。

Monitoring > User Frame Line 1

ユーザーフレームライン1に関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Select	Preset/ Variable	ユーザーフレームライン1を任意に設定した表示にするか、固定のアスペクト比を表示するかを選択する。 Preset：Preset Aspect Ratio、Scaling、Preset Aspect Ratio Typeで設定したアスペクト比を表示する。 Variable：Width、Height、H Position、V Position、Variable Aspect Typeで設定した任意の矩形枠を表示する。
Preset Aspect Ratio	17:9/ 16:9 /15:9/14:9/13:9/ 9:16/4:3/1:1/1.43:1/1.66:1/ 1.85:1/2:1/2.35:1/2.39:1/ 1.90:1 (W34)* * 1.43:1設定時の水平画サイズを維持したフレームラインです。6K 3:2モードのときは、水平画サイズが約34 mmとなります。	固定のアスペクト比を表示するときのモードを選択する。 【ご注意】 SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できません。
Scaling	1% ~ 100% /---	固定のアスペクト比の拡大・縮小率を設定する。 【ご注意】 • SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できません。 • Preset Aspect Ratioが1.90:1 (W34)に設定されている場合は、「---」が表示され設定できません。

Monitoring > User Frame Line 1 ユーザーフレームライン1に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Preset Aspect Ratio Type	Line /Mask/Line&Mask	<p>固定のアスペクト比の表示形態を選択する。 Line：線で表示する。 Mask：マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げに表示する。 Line&Mask：マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げで線で表示する。</p> <p>【ご注意】 SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できます。</p>
Aspect Ratio(Pixels)	アスペクト比 (画素数、アナモフィック倍率)	<p>有効画サイズに対するユーザーフレームライン1のアスペクト比、画素数、アナモフィック倍率を表示する。</p> <p>【ご注意】 画素数はデアナモ変換する前の有効画サイズに対しての値になります。</p>
Width	3 ~ 480 (240)	<p>ユーザーフレームライン1の幅 (中心から左右端までの距離) を設定する。</p> <p>【ご注意】 SelectがVariableに設定されている場合のみ設定できます。</p>
Height	3 ~ 270 (135)	<p>ユーザーフレームライン1の高さ (中心から上下端までの距離) を設定する。</p> <p>【ご注意】 SelectがVariableに設定されている場合のみ設定できます。</p>
H Position	最大-477 ~ 477 (±0)	<p>ユーザーフレームライン1の中心の水平位置を設定する。 Widthを3より大きくした分だけ設定可能範囲は狭くなります。</p> <p>【ご注意】 SelectがVariableに設定されている場合のみ設定できます。</p>

Monitoring > User Frame Line 1 ユーザーフレームライン1に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
V Position	最大-267 ~ 267 (±0)	<p>ユーザーフレームライン1の中心の垂直位置を設定する。 Heightを3より大きくした分だけ設定可能範囲は狭くなります。</p> <p>【ご注意】 SelectがVariableに設定されている場合のみ設定できます。</p>
Variable Aspect Type	Line	<p>任意に設定するユーザーフレームライン1表示の種類を表示する。</p> <p>【ご注意】 SelectがVariableに設定されている場合のみ設定できます。</p>

Monitoring > User Frame Line 2 ユーザーフレームライン2に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Select	Preset/ Variable	<p>ユーザーフレームライン2を任意に設定した表示にするか、固定のアスペクト比を表示するかを選択する。 Preset：Preset Aspect Ratio、Scaling、Preset Aspect Ratio Typeで設定したアスペクト比を表示する。 Variable：Width、Height、H Position、V Position、Variable Aspect Typeで設定した任意の矩形枠を表示する。</p>
Preset Aspect Ratio	17:9/ 16:9 /15:9/14:9/13:9/9:16/4:3/1:1/1.43:1/1.66:1/1.85:1/2:1/2.35:1/2.39:1/1.90:1 (W34)* * 1.43:1設定時の水平画サイズを維持したフレームラインです。6K 3:2モードのときは、水平画サイズが約34 mmとなります。	<p>固定のアスペクト比を表示するときのモードを選択する。</p> <p>【ご注意】 SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できません。</p>
Scaling	1% ~ 100% /---	<p>固定のアスペクト比の拡大・縮小率を設定する。</p> <p>【ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> • SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できます。 • Preset Aspect Ratioが1.90:1 (W34)に設定されている場合は、「---」が表示され設定できません。

Monitoring > User Frame Line 2 ユーザーフレームライン2に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Preset Aspect Ratio Type	Line	固定のアスペクト比の表示形態を表示する。 [ご注意] SelectがPresetに設定されている場合のみ設定できません。
Aspect Ratio(Pixels)	アスペクト比 (画素数、アナモフィック倍率)	有効画サイズに対するユーザーフレームライン2のアスペクト比、画素数、アナモフィック倍率を表示する。 [ご注意] 画素数はデアナモ変換する前の有効画サイズに対しての値になります。
Width	3 ~ 480 (240)	ユーザーフレームライン2の幅 (中心から左右端までの距離) を設定する。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合のみ設定できません。
Height	3 ~ 270 (135)	ユーザーフレームライン2の高さ (中心から上下端までの距離) を設定する。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合のみ設定できません。
H Position	最大-477 ~ 477 (±0)	ユーザーフレームライン2の中心の水平位置を設定する。 Widthを3より大きくした分だけ設定可能範囲は狭くなります。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合のみ設定できません。
V Position	最大-267 ~ 267 (±0)	ユーザーフレームライン2の中心の垂直位置を設定する。 Heightを3より大きくした分だけ設定可能範囲は狭くなります。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合のみ設定できません。

Monitoring > User Frame Line 2 ユーザーフレームライン2に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Variable Aspect Type	Line	任意に設定するユーザーフレームライン2表示の種類を表示する。 [ご注意] SelectがVariableに設定されている場合のみ設定できません。

Monitoring > False Color フォルスカラーに関する設定を行います。		
[ご注意] Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、False Colorはグレーアウトされ設定を変更できません。		
メニュー項目	設定値	内容
Level	Preset /Manual	ビューファインダーおよびモニター出力のフォルスカラーの各色のオン/オフと閾値をプリセットにするか手動にするかを設定する。 Manualにすると、これ以降の項目を設定できません。
Red	On /Off	赤色の表示のオン/オフを設定する。
Red Upper Limit	0.0% ~ 109.0% (96.1%) (0.1%刻み)	赤色で表示する上限値を設定する。
Red Lower Limit	0.0% ~ 109.0% (93.4%) (0.1%刻み)	赤色で表示する下限値を設定する。
Yellow	On /Off	黄色の表示のオン/オフを設定する。
Yellow Upper Limit	0.0% ~ 109.0% (93.4%) (0.1%刻み)	黄色で表示する上限値を設定する。
Yellow Lower Limit	0.0% ~ 109.0% (91.3%) (0.1%刻み)	黄色で表示する下限値を設定する。
Orange	On /Off	オレンジ色の表示のオン/オフを設定する。
Orange Upper Limit	0.0% ~ 109.0% (90.6%) (0.1%刻み)	オレンジ色で表示する上限値を設定する。
Orange Lower Limit	0.0% ~ 109.0% (87.7%) (0.1%刻み)	オレンジ色で表示する下限値を設定する。
Pink	On /Off	ピンク色の表示のオン/オフを設定する。
Pink Upper Limit	0.0% ~ 109.0% (58.0%) (0.1%刻み)	ピンク色で表示する上限値を設定する。

Monitoring > False Color

フォルスカラーに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、False Colorはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Pink Lower Limit	0.0% ~ 109.0% (54.3%) (0.1%刻み)	ピンク色で表示する下限値を設定する。
Light Pink	On/Off	ライトピンク色の表示のオン/オフを設定する。
Light Pink Upper Limit	0.0% ~ 109.0% (50.8%) (0.1%刻み)	ライトピンク色で表示する上限値を設定する。
Light Pink Lower Limit	0.0% ~ 109.0% (47.8%) (0.1%刻み)	ライトピンク色で表示する下限値を設定する。
Cyan	On/Off	シアン色の表示のオン/オフを設定する。
Cyan Upper Limit	0.0% ~ 109.0% (46.5%) (0.1%刻み)	シアン色で表示する上限値を設定する。
Cyan Lower Limit	0.0% ~ 109.0% (43.8%) (0.1%刻み)	シアン色で表示する下限値を設定する。
Green	On/Off	緑色の表示のオン/オフを設定する。
Green Upper Limit	0.0% ~ 109.0% (42.2%) (0.1%刻み)	緑色で表示する上限値を設定する。
Green Lower Limit	0.0% ~ 109.0% (38.9%) (0.1%刻み)	緑色で表示する下限値を設定する。
Light Blue	On/Off	ライトブルー色の表示のオン/オフを設定する。
Light Blue Upper Limit	0.0% ~ 109.0% (34.4%) (0.1%刻み)	ライトブルー色で表示する上限値を設定する。
Light Blue Lower Limit	0.0% ~ 109.0% (24.6%) (0.1%刻み)	ライトブルー色で表示する下限値を設定する。
Blue	On/Off	青色の表示のオン/オフを設定する。
Blue Upper Limit	0.0% ~ 109.0% (5.6%) (0.1% 刻み)	青色で表示する上限値を設定する。
Blue Lower Limit	0.0% ~ 109.0% (3.5%) (0.1% 刻み)	青色で表示する下限値を設定する。
Purple	On/Off	紫色の表示のオン/オフを設定する。
Purple Upper Limit	0.0% ~ 109.0% (3.5%) (0.1% 刻み)	紫色で表示する上限値を設定する。

Monitoring > False Color

フォルスカラーに関する設定を行います。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、False Colorはグレーアウトされ設定を変更できません。

メニュー項目	設定値	内容
Purple Lower Limit	-7.3% ~ 109.0% (-7.3%) (0.1%刻み)	紫色で表示する下限値を設定する。
Reset	Execute/Cancel	各色のオン/オフと閾値を初期値にする (Executeで実行)。

Monitoring > VF Display

ビューファインダーの表示に関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
VF LUT	Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOffのとき： Log/ s709/R709(800%) / Look	ビューファインダー・モニター画面出力映像に適用するLUTを選択する。
	RM/RCP Paint ControlがOnのとき、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) の設定によって、設定値が次のように異なります。 S-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3： Log/ R709(800%) HLG(Natural)： HLG(Natural)/ R709(800%) HLG(Live)： HLG(Live)/ R709(800%) Rec.2020/User Gamma： User Gamma/ R709-Like Rec.709/User Gamma： User Gamma	ビューファインダー・モニター画面出力映像の種類を選択する。
Status Info	Info. A /Info. B/Off	ビューファインダー・モニター画面出力映像に重畳して表示する情報を選択する。
Frame Line	Frame Line A/Frame Line B/ Off	ビューファインダー・モニター画面出力映像に重畳して表示するフレームラインを選択する。

Monitoring > VF Display ビューファインダーの表示に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
VF Magnifier Ratio	<u>x2.0</u> / x4.0 / x2.0/x4.0	ビューファインダーの拡大フォーカス機能の拡大率を選択する。
Color	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	ビューファインダー映像の色の濃さを調整する。
SDR Gain	-15dB ~ 0dB (<u>-12dB</u>) (1 dB刻み)	HDRモード時のSDR出力ゲインを設定する。R709(800%)またはR709-Likeに設定されているMonitorまたはビューファインダーの出力ゲインを変更することができます。 【ご注意】 Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合に設定できます。
Monitoring > VF Function ビューファインダーの機能に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Double Speed Scan	On/ <u>Off</u>	ビューファインダー倍速駆動機能をオン/オフする。
Peaking Frequency	<u>Normal</u> /High	通常のピーキング時のピーキング周波数を、標準にするか高くするかを選択する。 【ご注意】 ピーキングレベルはビューファインダーメニューで設定します。
Zebra	On/ <u>Off</u>	ゼブラ機能をオン/オフする。
Zebra Select	<u>1/2</u> /Both	ゼブラ表示の種類(ゼブラ1、ゼブラ2、または両方)を選択する。
Zebra1 Level	0% ~ 107% (<u>41%</u>)	ゼブラ1を表示するレベルを設定する。
Zebra1 Aperture Level	1% ~ 20% (<u>10%</u>)	ゼブラ1のアパーチャーレベルを設定する。
Zebra2 Level	0% ~ 109% (<u>61%</u>)	ゼブラ2を表示するレベルを設定する。
Assign<VF A>	44ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインAボタンに機能を割り当てる。
Assign<VF B>	44ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインBボタンに機能を割り当てる。
Assign<VF C>	44ページ	ビューファインダー (DVF-EL200) のアサインCボタンに機能を割り当てる。

Audioメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Audio > Audio Input 録音レベルに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
【ご注意】 AES/EBU信号が選択されている場合の録音レベルは固定になります。		
CH-1 Audio Select	<u>Auto</u> /Manual	Autoにすると、録音レベルは自動調整される。
CH-2 Audio Select	<u>Auto</u> /Manual	Autoにすると、録音レベルは自動調整される。
CH-1 Audio Level	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	CH-1 Audio SelectでManualを選択時、録音レベルを調整する。
CH-2 Audio Level	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	CH-2 Audio SelectでManualを選択時、録音レベルを調整する。
MIC Reference	-60dB/ <u>-50dB</u> /-40dB	マイクの基準入力レベルを選択する。
Audio > Audio Monitor 音声モニターに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Monitor CH	Monitor Output CH Pairが CH-1/CH-2の場合 <u>CH-1/CH-2</u> 、CH-1、 CH-2 Monitor Output CH Pairが CH-3/CH-4の場合 <u>CH-3/CH-4</u> 、CH-3、 CH-4	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4)：チャンネル1、2 (チャンネル3、4) CH-1 (CH-3)：チャンネル1 (チャンネル3)のみ CH-2 (CH-4)：チャンネル2 (チャンネル4)のみ
Monitor Level	<u>0</u> ~ 99	モニター音量を調整する。
Audio > Audio Configuration 音声の入出力に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Alarm Level	<u>0</u> ~ 99	アラームの音量を調整する。
Input Limiter Mode	<u>Off</u> /-6dB/-9dB/-12dB/ -15dB/-17dB	オーディオ入力レベルの手動調整時、大きな入力信号に対するリミッター特性(飽和レベル)を選択する。リミッターを使用しない場合はOffを選択する。
AGC Level	<u>-6dB</u> /-9dB/-12dB/ -15dB/-17dB	AGCの特性(飽和レベル)を選択する。

Audio > Audio Configuration

音声の入出力に関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
AGC Mono/Stereo	Mono/ <u>Stereo</u>	チャンネル1、2に記録するアナログオーディオ信号の入力レベルの自動調整を、各チャンネルで独立して行うか (Mono)、ステレオモードで行うか (Stereo) を選択する。
MIC Input Mono/Stereo	Mono/ <u>Stereo</u>	フロントマイクをモノラル (Mono) にするか、ステレオ (Stereo) にするかを選択する。
Phantom Power +48V	<u>On</u> /Off	マイクに外部電源 (ファントム電源) +48Vを供給する機能をオン/オフする。
Monitor Output CH Pair	<u>CH-1/CH-2</u> 、CH-3/CH-4	音声出力をチャンネル1と2にするか、チャンネル3と4にするかを選択する。
Headphone Mono/ST	<u>Mono</u> /Stereo	ヘッドホンをモノラル (Mono) にするか、ステレオ (Stereo) にするかを選択する。

Paintメニュー

【ご注意】

Paintメニューの各項目を設定するには、Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている必要があります。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Paint > Black		
ブラックレベルに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Master Black	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	マスターブラックレベルを設定する。
R Black	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Rブラックレベルを設定する。
B Black	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	Bブラックレベルを設定する。
Paint > Flare		
フレア補正に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ <u>Off</u>	フレア補正機能をオン/オフする。
Master Flare	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	本体に起因するフレア補正のマスターフレアのユーザー調整値を設定する。
R Flare	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	本体に起因するフレア補正のRフレアのユーザー調整値を設定する。
G Flare	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	本体に起因するフレア補正のGフレアのユーザー調整値を設定する。
B Flare	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	本体に起因するフレア補正のBフレアのユーザー調整値を設定する。
Paint > Gamma		
ガンマ補正に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	<u>On</u> /Off	ガンマ補正機能をオン/オフする。
Gamma Category	S-Log3/HLG(Natural)/HLG(Live)/User	ガンマカテゴリの設定値は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) の設定で決まるため表示のみ。

Paint > Gamma ガンマ補正に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Gamma Select	Gamma CategoryがS-Log3のとき： S-Log3 Gamma CategoryがHLG(Natural)のとき： HLG(Natural) Gamma CategoryがHLG(Live)のとき： HLG(Live) Gamma CategoryがUserのとき： User 1 /User 2/User 3/ User 4/User 5	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する。

Paint > Black Gamma ブラックガンマ補正に関する設定を行います。		
【ご注意】 Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3に設定されている場合は、Black Gammaはグレースアウトされ設定を変更できません。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	ブラックガンマ補正機能をオン/オフする。
Range	Low/L.Mid/ H.Mid	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する。 Low : 0% ~ 3.6% L.Mid : 0% ~ 7.2% H.Mid : 0% ~ 14.4%
Master Black Gamma	-99 ~ ±0 ~ +99	マスターブラックガンマレベルを設定する。

Paint > Knee ニー補正に関する設定を行います。		
【ご注意】 Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3に設定されている場合は、Kneeはグレースアウトされ設定を変更できません。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	ニー補正機能をオン/オフする。
Point	-99 ~ ±0 ~ +99	ニーポイントを設定する。
Slope	-99 ~ ±0 ~ +99	ニースロープを設定する。

Paint > White Clip ホワイトクリップ調整に関する設定を行います。		
【ご注意】 Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) がS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3に設定されている場合は、White Clipはグレースアウトされ設定を変更できません。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ Off	ホワイトクリップ調整機能をオン/オフする。
Level	60.0% ~ 108.0% ~ 109.0%	ホワイトクリップレベルを設定する。

Paint > Detail ディテール調整に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On /Off	ディテール調整機能をオン/オフする。
Level	-99 ~ ±0 ~ +99	ディテールレベルを設定する。
H/V Ratio	-99 ~ ±0 ~ +99	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。
Crispening	-99 ~ ±0 ~ +99	クリスピングレベルを設定する。
Level Depend	On /Off	レベルディPEND調整機能をオン/オフする。
Level Depend Level	-99 ~ ±0 ~ +99	レベルディPENDのレベルを設定する。
Frequency	-99 ~ ±0 ~ +99	Hディテール信号の中心周波数を設定する。(値を大きくするほどディテールは細くなる。)
Knee Aperture	On/ Off	ニーアパーチャー補正機能をオン/オフする。
Knee Aperture Level	-99 ~ ±0 ~ +99	ニーアパーチャーレベルを設定する。
Limit	-99 ~ ±0 ~ +99	白側、黒側両方向のディテールリミッターを設定する。
White Limit	-99 ~ ±0 ~ +99	白側のディテールリミッターを設定する。
Black Limit	-99 ~ ±0 ~ +99	黒側のディテールリミッターを設定する。

Paint > Matrix マトリクス補正に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ <u>Off</u>	マトリクス補正機能をオン/オフする。
User Matrix	On/ <u>Off</u>	ユーザーマトリクス補正機能をオン/オフする。
User Matrix R-G	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	マトリクス係数を個別に設定し、映像全域の色相を微調整する。
User Matrix R-B	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	
User Matrix G-R	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	
User Matrix G-B	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	
User Matrix B-R	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	
User Matrix B-G	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	
Paint > Multi Matrix マルチマトリクス補正に関する設定を行います。		
【ご注意】 MatrixがOffに設定されている場合は、Multi Matrixはグレーアウトされ設定を変更できません。		
メニュー項目	設定値	内容
Setting	On/ <u>Off</u>	16軸の色相(ヒュー)空間で飽和度(サチュレーション)を設定するマルチマトリクス補正をオン/オフする。
Area Indication	On/ <u>Off</u>	画面上のマルチマトリクス補正の対象となる色の部分にゼブラパターンを表示する機能をオン/オフする。
Reset	Execute/Cancel	各軸の[Hue]と[Saturation]をすべて初期値にする(Executeで実行)。
Axis	<u>B</u> /B+/MG-/MG/MG+/R/R+/YL-/YL/YL+/G-/G/G+/CY/CY+/B-	マルチマトリクス補正の対象となる色(16軸モード)を設定する。
Hue	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	マルチマトリクス補正の対象となる色の色相(ヒュー)を16軸ごとに設定する。
Saturation	-99 ~ <u>±0</u> ~ +99	マルチマトリクス補正の対象となる色の飽和度(サチュレーション)を16軸ごとに設定する。

Technicalメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Technical > Test Signals カラーバーに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Color Bars	On/ <u>Off</u>	カラーバーをオン/オフする。 【ご注意】 RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、リモートコントロールユニットからの設定値が表示され、グレーアウトされます。
Color Bars Type	<u>ARIB</u> /SMPTE	カラーバーの種類を選択する。
1kHz Tone on Color Bars	On/ <u>Off</u>	カラーバーモード時に1kHzのテスト信号を出力する機能をオン/オフする。
Test Saw	On/ <u>Off</u>	テスト信号をオン/オフする。
Test Type	<u>Saw</u> /Step	テスト信号の種類を選択する。 Saw：テスト信号としてSaw波形を出力する。 Step：テスト信号としてStep波形を出力する。
Technical > Switch & Rec Light RECボタンに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Lock Operator Side	<u>without Rec Button</u> /with Rec Button	オペレーターサイドのLOCKスイッチによってロックされるボタンにRECボタンを含めるかどうかを設定する。
Lock Assistant Side	<u>without Rec Button</u> /with Rec Button	アシスタントサイドのLOCKスイッチによってロックされるボタンにRECボタンを含めるかどうかを設定する。
Rec Light	<u>On</u> /Off	RECランプをオン/オフする。
Rec Start/Stop Beep	<u>0</u> ~ 99	記録開始・終了操作時のビープ音量を調整する。

Technical > System Configuration 本機の制御に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Fan Control	Auto / Max / Off in Rec/Auto / Off in Rec/Max	ファンの制御モードを選択する。 Auto：常時内部温度に応じて自動制御する。 Max：常時最大回転数で動作する。 Off in Rec/Auto：録画中は静音状態で動作し、録画中以外は内部温度に応じて自動制御する。 Off in Rec/Max：録画中は静音状態で動作し、録画中以外は最大回転数で動作する。
RM/RCP Paint Control	On/ Off	RM-B170などのリモートコントロールユニットのペイント機能をオン/オフする。 [ご注意] RM/RCP Paint Controlの設定を変更すると、本機のすべての設定が初期化されます。ただし、RM/RCP Paint Controlやネットワークの設定など一部初期化されない設定があります。
SDI Rec Remote Trigger	Off / HD SDI Remote I/F / Parallel Rec	SDIリモート制御方式を選択する。 Off：リモート制御しない。 HD SDI Remote I/F：制御方式をHD SDI Remoteにする。 Parallel Rec：制御方式をValid Flagにする。 [ご注意] MONITOR OUTからSDI Rec Remote Trigger信号は出力されません。
3G SDI 1/2/3/4 Output	Level A/ Level B	3G SDI出力フォーマットをLevelAにするかLevel Bにするかを選択する。
SD HDMI	On/ Off	HDMI出力信号をSDフォーマットにする機能をオン/オフする。
Shutter Mode	Speed/ Angle	電子シャッターの動作モードを選択する。
Media Near Full Alarm	1min/3min/ 5min	メディア残量が少なくなったことを知らせるアラームの閾値を設定する。

Technical > Special Configuration 画面反転やノイズリダクション機能に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Flip Image	Normal /Horizontal Flip/ Vertical Flip/H & V Flip	撮影モード時、画像反転のオン/オフとオンのときの画像の反転状態を設定する。 [ご注意] <ul style="list-style-type: none"> AXS記録画像は反転されずに記録されます。 Vertical Flip/H & V Flip選択時は、映像信号と音声信号共に撮像フレームレートで内部の処理が約1 Frame遅延します。
Audio/Video Delay	Off /1frame	映像信号と音声信号を遅延させて画像反転している他の機器と同期する機能をオン/オフする。 Off：遅延制御をしない 1frame：映像信号と音声信号、メタデータ(タイムコードを含む)を約1 Frame遅延させる。 [ご注意] Flip ImageがVertical FlipまたはH & V Flipに設定されている場合は1frame固定になります。
NR(4K 17:9/16:9 AXS)	On/ Off	4K 17:9/16:9 AXS記録画像のノイズリダクションのオン/オフを設定する。 [ご注意] 以下の機能が有効のときはオフ固定になります。 <ul style="list-style-type: none"> Select FPS SxS/Output De-Squeeze：Off(1.0x)以外 Flip Image：Normal以外
Level Gauge Adjust	Execute/Cancel	本体の水準器のゼロ調整を実行する(Executeで実行)。 [ご注意] 本機にCBK-3610XSまたはCBK-3620XSが接続されている場合は、Level Gauge Adjustはグレーアウトされ水準器のゼロ調整を実行できません。
Level Gauge Reset	Execute/Cancel	本体の水準器のゼロ調整値をリセットする(Executeで実行)。
3620XS Lev. Gauge Adj.	Execute/Cancel	CBK-3620XSの水準器のゼロ調整を実行する(Executeで実行)。 [ご注意] 本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ、CBK-3620XSの水準器のゼロ調整を実行できます。

Technical > Special Configuration

画面反転やノイズリダクション機能に関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
3620XS Lev. Gauge Rst.	Execute/Cancel	CBK-3620XSの水準器のゼロ調整値をリセットする (Executeで実行)。 【ご注意】 本機にCBK-3620XSが接続されている場合のみ、CBK-3620XSの水準器のゼロ調整を実行できます。
360° Shutter Setting	Pre Shutter On /Pre Shutter Off	360° シャッター (シャッターオフ) 時のプリシャッターをオン/オフする。 Pre Shutter On: プリシャッターをオンにする。 Pre Shutter Off: プリシャッターをオフにする。 【ご注意】 Pre Shutter Offに設定すると、フラッシュなどの過大光量入射時に残像が1フレーム残る場合があります。

Technical > Lens Configuration

レンズに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
PL-Mt Interface Position	Top /Side/Off	接続するレンズの種類に応じて、接続前にかじめレンズインターフェースを設定する。 【ご注意】 レンズを装着した状態で設定を変更した場合は、電源を再投入してください。
Lens 12pin	On /Off	レンズIF 12pinをオン/オフする。 【ご注意】 レンズを装着した状態で設定を変更した場合は、電源を再投入してください。
E-Mount Shading Comp.	Auto /Off	対応レンズが装着されている場合に周辺光量落ちを補正するかを設定する。
E-Mt Chro. Aber. Comp.	Auto /Off	対応レンズが装着されている場合に倍率色収差を補正するかを設定する。

Technical > Authentication

ネットワークの基本認証に関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
User Name	(現在のユーザー名を表示)	アクセス認証に使用する任意のユーザー名を設定する。 出荷時はadminに設定されています。

Technical > Authentication

ネットワークの基本認証に関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Password	(*****)	アクセス認証に使用するパスワードを設定する (8文字以上で英数字をそれぞれ1文字以上)。パスワード入力時、サブディスプレイのITEMキー 1を押している間、「*」(アスタリスク)を入力した文字に変更して表示する。 【ご注意】 本機のファームウェアを5.0未満から5.0以降にバージョンアップした場合、パスワード設定はリセットされます。この場合はパスワードを再設定してください。

Technical > Network

ネットワークに関する設定を行います。

メニュー項目	設定値	内容
Setting	LAN/Wireless/ Off	ネットワーク接続をオン/オフする。 【ご注意】 Technicalメニュー > Authentication > Password (88ページ) が設定されていない場合は、グレーストされ設定できません。
LAN	DHCP (On /Off)	DHCPを設定する。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てる。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにする。
	IP Address (DHCP/On : 自動取得 、DHCP/Off : 192.168.2.50)	本機のIPアドレスを入力する。 DHCPがOffのときに有効。
	Subnet Mask (DHCP/On : 自動取得 、DHCP/Off : 255.255.255.0)	本機のサブネットマスクを入力する。 DHCPがOffのときに有効。

Technical > Network ネットワークに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Wireless	Network Mode (Access Point /Station)	ワイヤレス接続する際のネットワークモードを設定する。
	Scan Networks (Execute/Cancel)	接続先のアクセスポイントの自動検出を実行する (Executeで実行)。 【ご注意】 Network ModeがStationに設定されている場合のみ設定できます。
SSID	Network ModeがAccess Pointの場合	本機のワイヤレス接続用のSSIDを表示する。
	Network ModeがStationの場合	接続先のアクセスポイントのSSIDを設定・表示する。 【ご注意】 表示または入力できる文字は以下のとおりです。 アルファベット (A ~ Z, a ~ z) 数字 (0 ~ 9, @, _) 記号 (!"#\$%&'*+/,;:<=>?[\ ^ ` { } ~)
Password	Network ModeがAccess Pointの場合	本機のワイヤレス接続用のパスワードを表示する。
	Network ModeがStationの場合	接続先のアクセスポイントのパスワードを設定する。 パスワード入力時、サブディスプレイのITEMキー 1を押している間、「*」(アスタリスク)を入力した文字に変更して表示する。 【ご注意】 表示または入力できる文字は以下のとおりです。 アルファベット (A ~ Z, a ~ z) 数字 (0 ~ 9, @, _) 記号 (!"#\$%&'*+/,;:<=>?[\ ^ ` { } ~)
WPS (Execute/Cancel)		WPSによる接続設定を開始する (Executeで実行)。

Technical > Network ネットワークに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Channel	(Auto(5GHz)/ Auto /CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8/CH9/CH10/CH11)	アクセスポイントのチャンネルを設定する。 【ご注意】 • Network ModeがAccess Pointに設定されている場合のみ設定できます。 • Auto(5GHz)は、ご使用になるワイヤレスLANモジュールにより、表示されない場合があります。ワイヤレスLANモジュールが、ご使用になる国/地域に対応しているかご確認ください。詳しくは、ワイヤレスLANモジュールの取扱説明書をご覧ください。
	DHCP (On /Off)	DHCPを設定する。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てる。手で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにする。 【ご注意】 Network ModeがStationに設定されている場合のみ設定できます。
IP Address (DHCP/On : 自動取得 、DHCP/Off : 192.168.1.50)		本機のIPアドレスを入力する。 DHCPがOffのときに有効。 【ご注意】 Network ModeがStationに設定されている場合のみ設定できます。
	Subnet Mask (DHCP/On : 自動取得 、DHCP/Off : 255.255.255.0)	本機のサブネットマスクを入力する。 DHCPがOffのときに有効。 【ご注意】 Network ModeがStationに設定されている場合のみ設定できます。
MAC Address		本機に接続されているワイヤレスLANアダプターのMACアドレスを表示する。
Regenerate Password (Execute/Cancel)		パスワードの再生成を実行する (Executeで実行)。 【ご注意】 Network ModeがAccess Pointに設定されている場合のみ実行できます。

Technical > APR		
APR (Auto Pixel Restoration : イメージセンサーの自動調整) を実行します。		
メニュー項目	設定値	内容
APR	Execute/Cancel	自動欠陥補正 (自動ピクセルノイズリダクション) 機能を実行する (Executeで実行)。
Reset	Execute/Cancel	APRの実行によって追加登録された白点データを削除する (Executeで実行)。

Technical > Battery		
バッテリーに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Near End:Info Battery	5% ~ 100% (5%刻み)	インフォバッテリー使用時にバッテリー残量表示が点滅するしきい値を設定する。
End:Info Battery	0% ~ 5%	インフォバッテリー使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する。
Near End:Sony Battery	11.5V ~ 17V (0.1V刻み)	ソニー製の非インフォバッテリー使用時にバッテリー残量表示が点滅するしきい値を設定する。
End:Sony Battery	11.0V ~ 11.5V (0.1V刻み)	ソニー製の非インフォバッテリー使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する。
Near End:Other Battery	11.5V ~ 17V (11.8V) (0.1V刻み)	ソニー製以外のバッテリー使用時にバッテリー残量表示が点滅するしきい値を設定する。
End:Other Battery	11.0V ~ 14V (0.1V刻み)	ソニー製以外のバッテリー使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する。
Detected Battery	Sony Info Battery/Sony Battery/Other Battery/DC IN (12V)/DC IN (24V)	バッテリーの種類を自動判別した結果を表示する。

Technical > DC Voltage Alarm		
外部DC電源電圧に関するアラームを設定します。		
メニュー項目	設定値	内容
DC Low Voltage1	11.5V ~ 17V (0.1V刻み)	DC IN端子に外部電源を接続している場合に入力電圧の低下警告を表示するしきい値を設定する。
DC Low Voltage2	11.0V ~ 14V (0.1V刻み)	DC IN端子に外部電源を接続している場合に入力電圧の不足警告を表示するしきい値を設定する。
DC(24V) Low Voltage1	22.5V ~ 34.0V (0.1V刻み)	DC IN端子に24V外部電源を接続している場合に入力電圧の低下警告を表示するしきい値を設定する。

Technical > DC Voltage Alarm		
外部DC電源電圧に関するアラームを設定します。		
メニュー項目	設定値	内容
DC(24V) Low Voltage2	22.0V ~ 28.0V (0.1V刻み)	DC IN端子に24V外部電源を接続している場合に入力電圧の不足警告を表示するしきい値を設定する。

Technical > Control Display		
ディスプレイに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Brightness level	High /Mid/Low/Minimum	サブディスプレイとミニディスプレイの明るさを調整する。

Technical > Genlock		
ゲンロックに関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Input Source	HD SDI /Analog	ゲンロック入力信号を選択する。 HD SDI : デジタル Analog : アナログ
Reference Lock Type	Internal/External(HD)/External(SD)	ゲンロックの状態を表示する。ゲンロックがかかっている場合は信号の種別を表示する。 Internal : かかっていない。 External(HD) : HD信号でかかっている。 External(SD) : SD信号でかかっている。

Maintenanceメニュー

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Maintenance > Clock Set 内蔵時計に関する設定を行います。		
メニュー項目	設定値	内容
Time Zone	UTC +14:00 ~ <u>UTC Greenwich</u> ~ UTC -12:00 (30分単位)	UTC (グリニッジ標準時) からの時差を30分単位で選択する。
Date Mode	<u>YYMMDD</u> /MMDDYY/DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD：年月日の順 MMDDYY：月日年の順 DDMMYY：日月年の順
Date		現在の日付を設定する (Setを押して決定)。
Time		現在の時刻を設定する (Setを押して決定)。
Maintenance > Language メニューとメッセージの表示言語を選択します。		
メニュー項目	設定値	内容
Select	English/中文(簡)	フルメニューとメッセージの表示言語を選択する。
Maintenance > Hours Meter 積算時間を表示します。		
メニュー項目	設定値	内容
Camera(System)		本機の積算使用時間 (リセット不可) を表示する。
R7 Recorder (System) (AXS-R7装着時のみ)		本機に接続したAXS-R7の積算使用時間 (リセット不可) を表示する。
Camera(Resettable)		本機の積算使用時間 (リセット可) を表示する。
R7 Recorder (Resettable) (AXS-R7装着時のみ)		本機に接続したAXS-R7の積算使用時間 (リセット可) を表示する。
Reset-Cam (Resettable)	Execute/Cancel	本機のCamera(Resettable)表示を0にリセットする (Executeで実行)。
Reset-R7 (Resettable) (AXS-R7装着時のみ)	Execute/Cancel	本機に接続したAXS-R7のR7 Recorder (Resettable)表示を0にリセットする (Executeで実行)。

Maintenance > Reset to Default 本機を工場出荷状態に戻します。		
メニュー項目	設定値	内容
Reset	Execute/Cancel	本機のすべての設定を初期化する (Executeで実行)。
Maintenance > Network Reset ネットワーク関連設定を工場出荷状態に戻します。		
メニュー項目	設定値	内容
Reset	Execute/Cancel	ネットワーク関連の設定を初期化する (Executeで実行)。
Maintenance > License Options ソフトウェアオプションをインストールします。		
メニュー項目	設定値	内容
Install:「対象ライセンス」	Execute/Cancel	ソフトウェアオプションをインストールする (Executeで実行)。
Anamorphic	Permanent License Installed/XXdays Remaining (YY keys)/Expired/Not Installed	アナモフィックオプションが有効かどうかを表示する。 Permanent License Installed：永久ライセンスインストール済み XXdays Remaining (YY keys)：時限ライセンス期限内 Expired：時限ライセンス期限切れ Not Installed：未インストール
Full-Frame	Permanent License Installed/XXdays Remaining (YY keys)/Expired/Not Installed	フルフレームオプションが有効かどうかを表示する。 Permanent License Installed：永久ライセンスインストール済み XXdays Remaining (YY keys)：時限ライセンス期限内 Expired：時限ライセンス期限切れ Not Installed：未インストール
High Frame Rate	Permanent License Installed/XXdays Remaining (YY keys)/Expired/Not Installed	ハイフレームレートオプションが有効かどうかを表示する。 Permanent License Installed：永久ライセンスインストール済み XXdays Remaining (YY keys)：時限ライセンス期限内 Expired：時限ライセンス期限切れ Not Installed：未インストール

Maintenance > License Options

ソフトウェアオプションをインストールします。

メニュー項目	設定値	内容
Unique Device ID		ソフトウェアオプションのライセンスキーの発行手続きに使用するIDを表示する。

Maintenance > Firmware

本機とAXS-R7のバージョン表示および本機のバージョンアップを実行します。

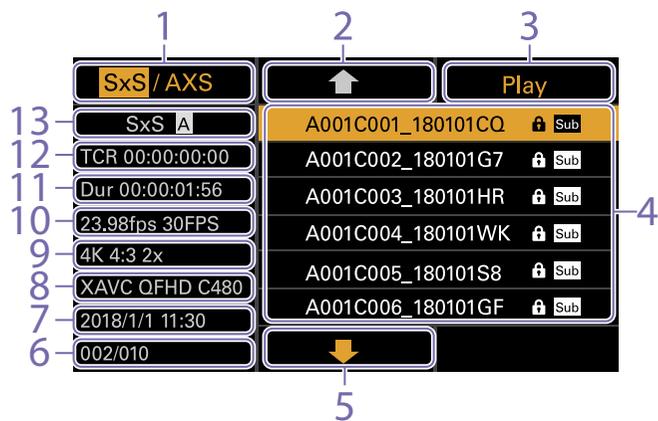
メニュー項目	設定値	内容
Camera		本機のファームウェアバージョンを表示する (Vx.xx)。
AXS (AXS-R7装着時のみ)		本機に接続したAXS-R7のファームウェアバージョンを表示する (Vx.xx)。
FW Update-camera	Execute/Cancel	本機をバージョンアップする (Executeで実行する)。
FW Update-AXS-R7	Execute/Cancel	本機に接続したAXS-R7のファームウェアバージョンアップを実行する (Executeで実行)。

サブディスプレイのクリップ操作

クリップ操作は、クリップリスト画面と再生画面の2つの画面で構成されています。サブディスプレイに表示されるクリップリスト画面から再生するクリップを選択して、クリップを再生できます。メニューのProjectカテゴリーにあるAXS Rec Formatの設定がRec Offではない場合はAXSメディアが再生可能となり、SxS Rec FormatがRec Off以外の場合はSxSメディアが再生可能となります。

クリップリスト画面

アシスタントサイドのCLIPSボタン（10ページ）を押すと、サブディスプレイに再生可能なメディアのクリップリスト画面が表示されます。



1. メディア切り換えボタン

SxSとAXS双方のメディアが再生可能な場合は「SxS/AXS」と表示され、ITEMキー 1を押すと再生メディアを切り換えることができます。

2. 上方向カーソル移動ボタン

ITEMキー 2を押して、クリップ一覧から再生するクリップを選択します。

3. 再生開始ボタン

ITEMキー 3を押すと、再生画面（15ページ）が表示され、再生が開始されます。

4. クリップ一覧

再生アクティブメディア内のクリップ一覧が表示されます。また、クリップの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	意味
Sub	サブクリップが生成されているクリップ
🔒	書き込み禁止されているクリップ

5. 下方向カーソル移動ボタン

ITEMキー 5を押して、クリップ一覧から再

生するクリップを選択します。

6. 再生メディア内のクリップ位置

カーソルがあるクリップのクリップ番号/総数が表示されます。

7. 作成日時

カーソルがあるクリップの作成日時が表示されます。

8. フォーマット（コーデック）

カーソルがあるクリップのフォーマット（コーデック）が表示されます。

9. 画サイズ表示

カーソルがあるクリップを記録したときの有効画サイズが表示されます。

【ご注意】

再生メディアがSxSのときは表示されません。

10. プロジェクトフレームレート／特殊記録表示

カーソルがあるクリップのプロジェクトフレームレートと特殊記録が表示されます。

11. デュレーション（Dur）

カーソルがあるクリップのデュレーションが表示されます。

12. タイムコード（TCR）

カーソルがあるクリップの先頭フレームのタイムコードが表示されます。

13. 再生アクティブメディア

表示しているリストの再生アクティブメディアが表示されます。

再生画面

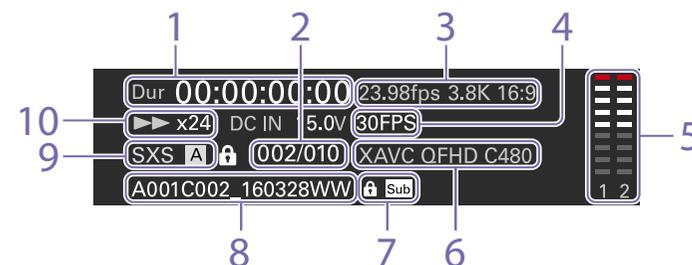
クリップリスト画面で再生するクリップを選択し、MENUダイヤルまたはPlayボタン (ITEMキー 3) を押すと、再生画面が表示されます。

機能表示部



- 1. F Revボタン**
逆方向に高速再生します。
- 2. Play/Pauseボタン**
クリップの再生または再生を一時停止します。
- 3. F Fwdボタン**
順方向に高速再生します。
- 4. Prevボタン**
逆方向にクリップの頭出しをします。
- 5. Stop/Clipsボタン**
再生を停止し、クリップ一覧画面に戻ります。
- 6. Nextボタン**
順方向にクリップの頭出しをします。

ステータス表示部



- 1. タイムデータ表示**
再生位置のタイムコードが表示されます。
- 2. クリップ番号**
再生中のクリップ番号/再生可能なクリップ総数が表示されます。
- 3. フレームレート/イメージャーモード表示**
プロジェクトフレームレートと画サイズが表示されます。
[ご注意]
再生メディアがSxSのとき、画サイズは表示されません。
- 4. 特殊記録表示**
再生クリップの特殊記録情報が表示されます。
- 5. 音声レベルメーター**
再生音声レベルが表示されます。
- 6. 再生クリップフォーマット (コーデック) 表示**
再生クリップのフォーマット (コーデック) が表示されます。
- 7. アイコン表示**
クリップの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	意味
Sub	サブクリップが生成されているクリップ
🔒	書き込み禁止されているクリップ
- 8. クリップ名**
クリップ名が表示されます。
- 9. メディア表示**
再生しているメディアが表示されます。
- 10. 再生状態**
再生状態が表示されます。
CALLコマンドを受信すると、「CALL」が表示されます。

再生

本機が記録停止中(Stby)のときは、記録したクリップを再生することができます。

【ご注意】

各再生項目はITEMキー 1～6(9ページ)にそれぞれ対応しています。ITEMキーを押すと、対応する項目の操作ができます。

- 1 再生するSxSメモリーカードを入れる。
- 2 アシスタントサイドのCLIPSボタン(10ページ)を押す。
サブディスプレイに再生アクティブなメディアのクリップリスト画面が表示されます。
- 3 ↑ボタン (ITEMキー 2)、↓ボタン (ITEMキー 5) またはMENUダイヤルで再生するクリップを選択する。
- 4 MENUダイヤルまたはPlayボタン (ITEMキー 3) を押す。
ビューファインダー・モニター画面に再生画面が表示されます。



再生操作について

再生操作はサブディスプレイのボタンで行います(94ページ)。

Play/Pause ボタン：再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

F Fwd ボタン /F Rev ボタン：高速再生します。
Play/Pause ボタンを押すと標準再生に戻ります。

Stop/Clips ボタン：再生を停止し、クリップリスト画面になります。

音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカー(8ページ)またはヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子(8ページ)にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。モニターするチャンネルの選択および音量の調整は、メニューのAudioカテゴリー > Monitor CHおよびMonitor Level(53ページ)で行います。

頭出しする

クリップの先頭から再生するにはサブディスプレイ(94ページ)のPrevボタンを押して頭出しします。

PrevボタンまたはNextボタンを複数回押すことで、クリップを飛ばして頭出しすることができます。

SxSメモリーカードを切り換える

SxSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタン(9ページ)を押して切り換えます。

【ご注意】

再生中にSxSメモリーカードを切り換えることはできません。またスロットAからスロットBへの連続再生はできません。

AXSメモリーカードに切り換える

AXS-R7に挿入したAXSメモリーカードに記録された映像を、簡易現像して再生することができます。

AXSメモリーカードに切り換えるには、サブディスプレイのITEMキー 1(93ページ)を押します。

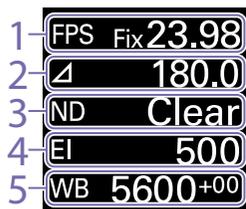
本機で再生できないケースについて

以下の条件でAXS記録したクリップは本機で再生できません。RAW ViewerなどのPCアプリケーションで再生してください。

- Imager Modeが6K 3:2、6K 1.85:1、6K 17:9、6K 2.39:1または5.7K 16:9で、かつProject Frame Rateが59.94P、50Pまたは47.95P

ミニディスプレイのホーム画面の操作方法

ミニディスプレイのホーム画面では、本機の状態の確認や基本的な項目を設定できます。



1. FPS

撮像フレームレートの設定

2. Shutter

電子シャッターの開角度/スピードの表示/設定

3. ND Filter

NDフィルターの濃度の表示/設定

4. Exposure Index/Gain

Exposure Indexの表示/設定またはRM-B170などのリモートコントロールユニットで設定したゲイン値 (dB単位) の表示/設定

[ご注意]

ゲイン値は、Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合のみ表示されます。

5. WB (White Balance)

ホワイトバランスの表示/設定

RM/RCP Paint Control有効時の表示と動作について

- Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、Exposure Indexの代わりにゲイン値が表示されます。この場合、EI値は変更できませんが、ゲイン

値を変更できます。

- Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、以下の項目は操作できません。リモートコントロールユニットで設定してください(115ページ)。
 - Shutter
 - WB (White Balance)

操作部

HOMEボタン (8ページ)

ホーム画面に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

ITEMキー 1 (↑) (8ページ)

ホーム画面の項目を選びます。

ITEMキー 2 (●) (8ページ)

選択している項目を決定します。

ITEMキー 3 (↓) (8ページ)

ホーム画面の項目を選びます。

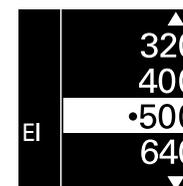
基本操作

- 1 ITEMキー 1、2、3のいずれかを押す。カーソルが表示されます。

- 2 ↑ ボタン (ITEMキー 1)、↓ ボタン (ITEMキー 3) で設定したい項目を選ぶ。



- 3 ● ボタン (ITEMキー 2) を押す。選んだ項目の設定値の選択画面が表示されます。



[ご注意]

- は現在の設定値を示しています。

- 4 ↑ ボタン (ITEMキー 1)、↓ ボタン (ITEMキー 3) で、選択項目または設定値にカーソルを合わせる。

- 5 ● ボタン (ITEMキー 2) を押して決定する。

- 6 HOMEボタンを押してカーソルを消す。

ミニディスプレイのホーム画面設定項目一覧

各項目名称と設定内容は次のとおりです。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

項目	内容																						
FPS	撮像フレームレートを設定する。 Fixed/Variable：サブディスプレイのホーム画面(41ページ)で等速撮影と可変速撮影を切り換えます。 「Fixed」を選択した場合、メニューのProjectカテゴリー > Project Frame Rate(51ページ)の設定で値が決まります。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Project Frame Rate</th> <th>表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.98</td> <td>Fix 23.98</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>Fix 24.00</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>Fix 25.00</td> </tr> <tr> <td>29.97</td> <td>Fix 29.97</td> </tr> <tr> <td>47.95</td> <td>Fix 47.95</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>Fix 50.00</td> </tr> <tr> <td>59.94</td> <td>Fix 59.94</td> </tr> </tbody> </table>	Project Frame Rate	表示	23.98	Fix 23.98	24	Fix 24.00	25	Fix 25.00	29.97	Fix 29.97	47.95	Fix 47.95	50	Fix 50.00	59.94	Fix 59.94						
Project Frame Rate	表示																						
23.98	Fix 23.98																						
24	Fix 24.00																						
25	Fix 25.00																						
29.97	Fix 29.97																						
47.95	Fix 47.95																						
50	Fix 50.00																						
59.94	Fix 59.94																						
	「Variable」を選択した場合、Projectカテゴリー > Imager Mode(71ページ)の設定によって、設定値が次のように異なります。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Imager Mode</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.8K 16:9</td> <td>1 ~ 60 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 17:9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4K 2.39:1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.8K 16:9¹⁾</td> <td>1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 17:9¹⁾</td> <td>110 FPS</td> </tr> <tr> <td>3.8K 16:9 Surround View</td> <td>1 ~ 48 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 17:9 Surround View</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4K 4:3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4K 4:3¹⁾</td> <td>1 ~ 60、66、72、75 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 2.39:1¹⁾</td> <td>1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS</td> </tr> </tbody> </table>	Imager Mode	設定値	3.8K 16:9	1 ~ 60 FPS	4K 17:9		4K 2.39:1		3.8K 16:9 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS	4K 17:9 ¹⁾	110 FPS	3.8K 16:9 Surround View	1 ~ 48 FPS	4K 17:9 Surround View		4K 4:3		4K 4:3 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75 FPS	4K 2.39:1 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS
Imager Mode	設定値																						
3.8K 16:9	1 ~ 60 FPS																						
4K 17:9																							
4K 2.39:1																							
3.8K 16:9 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110 FPS																						
4K 17:9 ¹⁾	110 FPS																						
3.8K 16:9 Surround View	1 ~ 48 FPS																						
4K 17:9 Surround View																							
4K 4:3																							
4K 4:3 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75 FPS																						
4K 2.39:1 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、88、90、96、100、110、120 FPS																						

項目	内容																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Imager Mode</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4K 4:3 Surround View</td> <td>1 ~ 30 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 6:5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.7K 16:9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 2.39:1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 17:9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 1.85:1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 2.39:1¹⁾</td> <td>1 ~ 60、66、72、75、90 FPS</td> </tr> <tr> <td>4K 6:5¹⁾</td> <td>1 ~ 60、66、72 FPS</td> </tr> <tr> <td>5.7K 16:9¹⁾</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 17:9¹⁾</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 1.85:1¹⁾</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6K 3:2</td> <td>1 ~ 25 FPS</td> </tr> <tr> <td>6K 3:2¹⁾</td> <td>1 ~ 60 FPS</td> </tr> </tbody> </table>	Imager Mode	設定値	4K 4:3 Surround View	1 ~ 30 FPS	4K 6:5		5.7K 16:9		6K 2.39:1		6K 17:9		6K 1.85:1		6K 2.39:1 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、90 FPS	4K 6:5 ¹⁾	1 ~ 60、66、72 FPS	5.7K 16:9 ¹⁾		6K 17:9 ¹⁾		6K 1.85:1 ¹⁾		6K 3:2	1 ~ 25 FPS	6K 3:2 ¹⁾	1 ~ 60 FPS
Imager Mode	設定値																												
4K 4:3 Surround View	1 ~ 30 FPS																												
4K 6:5																													
5.7K 16:9																													
6K 2.39:1																													
6K 17:9																													
6K 1.85:1																													
6K 2.39:1 ¹⁾	1 ~ 60、66、72、75、90 FPS																												
4K 6:5 ¹⁾	1 ~ 60、66、72 FPS																												
5.7K 16:9 ¹⁾																													
6K 17:9 ¹⁾																													
6K 1.85:1 ¹⁾																													
6K 3:2	1 ~ 25 FPS																												
6K 3:2 ¹⁾	1 ~ 60 FPS																												
Exposure Index	EI値を設定する。Projectメニュー > Basic Setting > Base ISO(72ページ)の設定によって、設定値が次のように異なります。 ISO 500： 125EI/160EI/200EI/250EI/320EI/400EI/ 500EI /640EI/800EI/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI ISO 2500： 640EI/800EI/1000EI/1250EI/1600EI/2000EI/ 2500EI /3200EI/4000EI/5000EI/6400EI/8000EI/10000EI																												
Gain	基準感度を設定する。 -6dB/-3dB/ 0dB /3dB/6dB/9dB/12dB/15dB/18dB 【ご注意】 Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control(87ページ)がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニットが接続されていない場合のみ設定できます。																												

項目	内容
Shutter	<p>電子シャッターの開角度／スピードを設定する。 ステップシャッターとして登録されているプリセット値から選択する。</p> <p>[ご注意] 電子シャッター動作をContinuousにしているときは操作できません。</p> <p>フルメニューのTechnical > System Configuration > Shutter Mode (87ページ) の設定によって次のように選択肢が表示される。 Angle (Δ)：開角度表示 360.0/180.0/172.8/144.0/90.0/45.0/22.5/11.2/5.6²⁾ Speed (SS)：スピード表示 1/24、1/25、1/30、1/48、1/50、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000²⁾</p>
ND Filter	<p>NDフィルターの濃度を設定する。設定値は以下のとおりです。 Clear/0.3/0.6/0.9/1.2/1.5/1.8/2.1/2.4</p>
WB (White Balance)	<p>ホワイトバランスの色温度を設定する。 WBステップとして登録されているプリセット値から選択します。 3200K+00/4300K+00/5500K+00²⁾</p>

¹⁾ ハイフレームレートライセンス有効時のみ。

²⁾ 選択肢はサブディスプレイのホーム画面でStep Editから変更することができます。

ミニディスプレイのクリップ操作

ミニディスプレイに表示されるクリップ画面から再生するクリップを選択して、クリップを再生できます。

メニューのProjectカテゴリーにあるAXS Rec Formatの設定がRec Offではない場合はAXSメディアが再生可能となり、SxS Rec FormatがRec Off以外の場合はSxSメディアが再生可能となります。

AXS/SxS両方のメディアが再生可能な場合は、サブディスプレイのクリップリスト画面(93ページ)でアクティブメディアの選択ができます。

クリップ画面

オペレーターサイドのCLIPSボタン(8ページ)を押すと、ミニディスプレイに再生可能なメディアのクリップ画面が表示されます。



1. 再生状態表示
クリップの再生状態が表示されます。
2. 再生アクティブメディア
選択しているクリップの再生アクティブメディアが表示されます。
3. クリップ名
選択しているクリップのクリップ名が表示されます。

4. 再生メディア内のクリップ位置
選択しているクリップのクリップ番号/総数が表示されます。

5. F Fwd/Nextボタン
再生一時停止中にITEMキー 3 (⇓) を押すと次のクリップに移動します。
再生中にITEMキー 3 (⇓) を押すと順方向にクリップの頭出しをします。

6. Play/Pauseボタン
ITEMキー 2 (●) を押すとクリップの再生をします。または再生を一時停止します。

7. F Rev/Prevボタン
再生一時停止中にITEMキー 1 (⇑) を押すと1つ前のクリップに移動します。
再生中にITEMキー 1 (⇑) を押すと逆方向にクリップの頭出しをします。

再生する

本機が記録停止中(Stby)のときは、記録したクリップを再生することができます。

- 1 再生するSxSメモリーカードを入れる。
- 2 オペレーターサイドのCLIPSボタン(8ページ)を押す。
ミニディスプレイに再生アクティブなクリップが表示されます。
- 3 Prevボタン (ITEMキー 1) またはNextボタン (ITEMキー 3) で再生するクリップを選択する。

- 4 Play/Pauseボタン (ITEMキー 2) を押す。
ビューファインダー・モニター画面に再生画面が表示されます。



再生操作について

再生操作はミニディスプレイのボタンで行います(99ページ)。

Play/Pause ボタン：再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

F Fwd ボタン/F Rev ボタン：高速再生します。

Play/Pause ボタンを押すと標準再生に戻ります。

音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカー(8ページ)またはヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子(8ページ)にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。モニターするチャンネルの選択および音量の調整は、メニューのAudioカテゴリー > Monitor CHおよびMonitor Level(53ページ)で行います。

SxSメモリーカードを切り換える

SxSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタン(9ページ)を押

して切り換えます。

[ご注意]

再生中にSxSメモリーカードを切り換えることはできません。またスロットAからスロットBへの連続再生はできません。

ネットワークの設定方法と操作方法

本機をネットワークに接続すると、コンピューターやスマートフォン、タブレットなどのデバイスから本機の各種機能を制御したり、本機の各種情報を表示することができます。

ネットワーク機能の概要

本機とデバイスを有線LANまたは無線LAN接続し、デバイスのブラウザから本機にアクセスすると、Webリモコンが表示され、次の各種操作を行うことができます。

- 本機の記録制御 (103ページ)
- 本機の再生制御 (104ページ)
- 本機の撮影設定 (104ページ)
- 本機のレンズ制御 (104ページ)
- 本機のアサインボタンの設定および操作 (104ページ)

Webリモコンを使用すると、記録の開始/停止や撮影設定を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合に有効です。

対応デバイスについて

本機の設定や操作にはコンピューターやスマートフォン、タブレットを使用することができます。確認済みのデバイス、OS、ブラウザは次のとおりです。

デバイス	OS	ブラウザ
コンピューター	Microsoft Windows 8.1/Microsoft Windows 10	Chrome
	macOS 12.x	Safari
スマートフォン	Android 12.x	Chrome
	iOS 15.x/16.x	Safari
タブレット	Android 10.x/11.x	Chrome
	iPadOS 15.x/16.x	Safari

【ご注意】

使用するブラウザのバージョンによっては、正常に描写できない場合があります。確認済みのブラウザのバージョンは次のとおりです

Safari : 15/16
Chrome : 106

本機とデバイスを有線LAN接続する

本機のネットワーク端子を使用して、有線LAN接続により直接デバイスに接続、またはルーターを経由で接続することができます。

- 1 本機ネットワーク端子 (8ページ) とコンピューターをLANケーブルで接続する。または、本機ネットワーク端子とルーターをLANケーブルで接続する。
- 2 Technicalメニュー > Network > Setting (88ページ) をLANにする。
- 3 本機の設定をする。
自動的に本機にIPアドレスを割り当てる場合：
Technicalメニュー > Network > LAN >

DHCP (88ページ) をOnにして、Setを選択して確定する。

接続先のIPアドレスを手動で入力する場合：
Technicalメニュー > Network > LAN > DHCP をOffにし、LAN > IP Addressで指定のIPアドレスを入力後、Setを選択して確定する。

【ご注意】

Technicalメニュー > Network > LANの設定画面でSetを選択してください。Setを選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

有線LAN接続が有効になると、ビューファインダー・モニター画面にネットワーク接続状態表示 (14ページ) のLANアイコンが点灯します。

本機とデバイスを無線LAN接続する

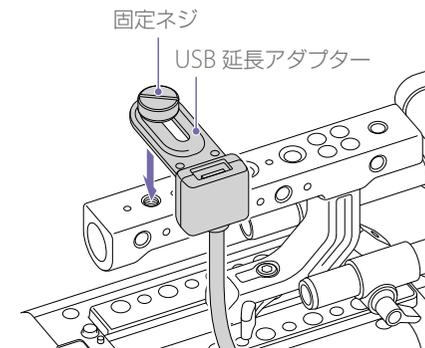
本機にワイヤレスLANアダプター CBK-WA02 (別売り) を取り付けると、本機とデバイスを無線LANで接続することができます。

CBK-WA02を取り付ける

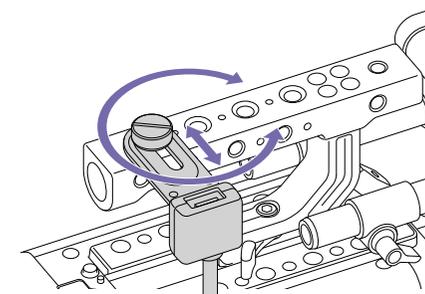
【ご注意】

CBK-WA02の取り付けは、本機の電源を切った状態で行ってください。

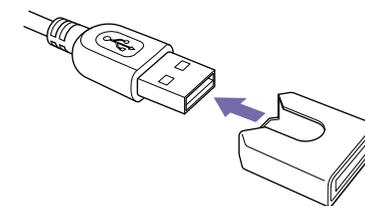
- 1 USB延長アダプターを下図の位置に取り付け、固定ネジを時計方向に回して固定する。



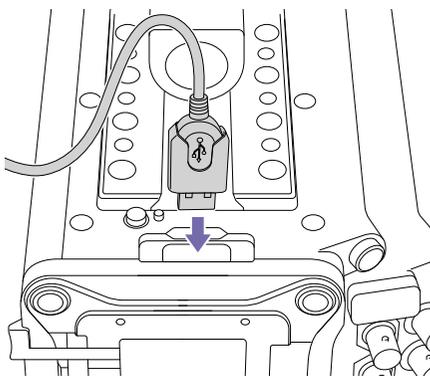
USB延長アダプターは、図に示す範囲で取り付け位置を調節することができます。



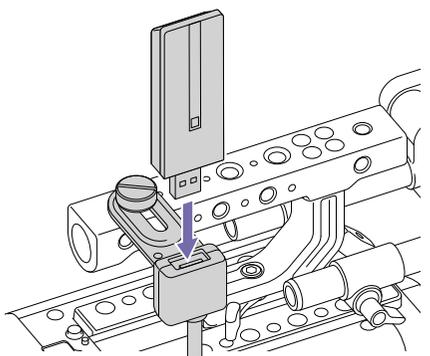
- 2 USB延長アダプターのUSB端子に保護キャップ (付属) を取り付ける。



- 3 外部機器接続端子のカバーを開け、USB延長アダプターのUSB端子を外部機器接続端子に差し込む。

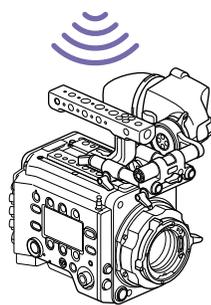
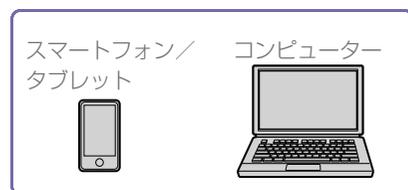


- 4 CBK-WA02 をUSB 延長アダプターのUSB 端子に差し込む。



アクセスポイントモードで接続する

本機をアクセスポイントとしてデバイスと無線 LAN 接続します。



WPS機能搭載のデバイスで接続する
デバイスがWPSをサポートしている場合には、
WPSでの接続が可能です。

- 1 Technicalメニュー > Network > Setting (88ページ) をWirelessにする。
- 2 Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode (89ページ) を Access Pointにする。
- 3 Technicalメニュー > Network > Wireless > WPS (89ページ) を選択する。
- 4 MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。
- 5 デバイスのNetwork設定 / Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

- 6 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定の詳細設定からWPS Push Buttonを押す。

【ご注意】

使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

デバイスでSSID、パスワードを入力して接続する

デバイス側でSSIDとパスワードを入力して接続します。

- 1 Technicalメニュー > Network > Setting (88ページ) をWirelessにする。
- 2 Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode (89ページ) を Access Pointにする。
- 3 デバイスのNetwork設定 / Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。
- 4 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、パスワードを入力して接続する。
本機のSSIDおよびパスワードについては、Technicalメニュー > Network > Wireless > SSIDとPassword (89ページ) をご確認ください。

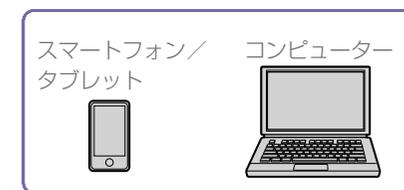
【ご注意】

使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

ステーションモードで接続する

本機をクライアントとして既存の無線LANのアクセスポイントに接続します。

デバイスとはアクセスポイント経由で接続します。



WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で接続することができます。

- 1 アクセスポイントの電源を入れる。
- 2 本機の電源を入れる。
- 3 Technicalメニュー > Network > Setting (88ページ) をWirelessにする。

4 Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode (89ページ) をStationにする。

5 Technicalメニュー > Network > Wireless > WPS (89ページ) を選択する。

6 MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

7 アクセスポイントのWPS ボタンを押す。WPSボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

【ご注意】

接続に失敗した場合は手順1からやり直してください。

SSID、パスワードを入力して接続する本機でSSIDとパスワードを入力して接続します。

1 Technicalメニュー > Network > Setting (88ページ) をWirelessにする。

2 Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode (89ページ) をStationにする。

3 Technicalメニュー > Network > Wireless (89ページ) の以下の項目を設定する。

- SSID
- Password
- DHCP
- IP Address
- Subnet Mask

4 Setを選択して確定する。

【ご注意】

必ずSetで確定してください。Setで確定しなかった場合は設定した内容が反映されません。

アクセスポイントを自動検出して接続する

接続先のアクセスポイントを自動検出して、SSIDを手動入力しないで接続することができます。

1 Technicalメニュー > Network > Setting (88ページ) をWirelessにする。

2 Technicalメニュー > Network > Wireless > Network Mode (89ページ) をStationにする。

3 Technicalメニュー > Network > Wireless > Scan Networks (89ページ) を選択する。

4 MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

本機が接続先のアクセスポイントの自動検出を開始します。自動検出が終了すると、接続可能なネットワークがリスト表示されます。

5 MENUダイヤルを回して接続するネットワークを選択し、MENUダイヤルを押す。

6 Setを選択して確定する。パスワードの入力画面が表示されます。

7 パスワードを入力してDoneを選択する。Wireless設定詳細画面が表示されます。

8 Technicalメニュー > Network > Wireless の以下の項目を入力した後、Setを選択して確定する。

- DHCP
- IP Address
- Subnet Mask

【ご注意】

必ずSetで確定してください。Setで確定しなかった場合は設定した内容が反映されません。

Webリモコンを表示する

デバイスのブラウザから本機にアクセスしてWebリモコンを表示します。Webリモコン画面は、デバイスの画面サイズに応じて自動で切り換わります。

1 「本機とデバイスを有線LAN接続する」または「本機とデバイスを無線LAN接続する」の手順に従って、本機とデバイスを接続する。

2 デバイスでブラウザを起動し、「http://本機のIPアドレス/rm.html」にアクセスする。本機のIPアドレスは、Infoカテゴリ > SystemのIP Address (53ページ) で確認できます。
例：IPアドレスが「192.168.1.1」の場合は、アドレスバーに「http://192.168.1.1/rm.html」と入力します。

3 ブラウザー画面に、ユーザー名とパスワード (Technicalメニュー > Authentication (88ページ)) を入力する。

接続が完了すると、デバイスにWebリモコン画面が表示されます。

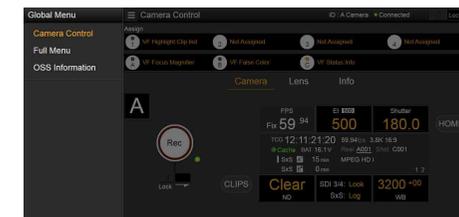
【ご注意】

スマートフォン等でモバイル用ページ表示設定にしている場合、正しく表示されないことがあります。デスクトップ用ページ表示設定に変更してください。

Webリモコン画面

Global Menu

Webリモコン画面左上の  を選択するとGlobal Menuが表示されます。設定したい項目を選択します。



Camera Control画面

Camera Control画面は、Camera画面とLens画面、Info画面で構成されています。Cameraタブを選択するとCamera画面が、Lensタブを選択するとLens画面が、Infoタブを選択するとInfo画面が表示されます。

Camera Control画面では、各種表示項目と操作ボタンが配置されています (Camera画面 / Lens画面 / Info画面 / 再生画面共通)。

- ネットワーク接続状態 (Connected/Disconnected)
- Camera ID*
- Recボタン
- アサインボタン(1～7、A～C)

* Camera IDの文字色は、Frame Line A/B SetupのColorと同じ色になります。

Camera画面



Camera画面では、サブディスプレイのホーム画面と同じ内容が表示され各種設定ができます。

【ご注意】

サブディスプレイ画面と同様に、Technicalメニュー>System Configuration>RM/RCP Paint Control (87ページ)がOnに設定されている場合は、El表示がGain表示に切り換わり、操作項目に制限がかかります(35ページ)。

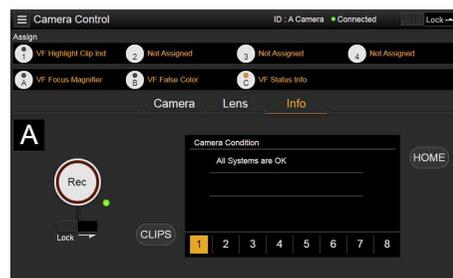
- 撮影設定 (33ページ)
FPS、El、Shutter、ND、LUT、WB
- カメラステータス表示 (33ページ)
動作状態、タイムデータ、音声レベルメーター、クリップ名、記録フォーマット、メディア状態/残量、電源電圧/バッテリー残量

Lens画面



Lens画面では、ズーム、フォーカス、アイリスの各レンズコントロールが表示されます。

Info画面



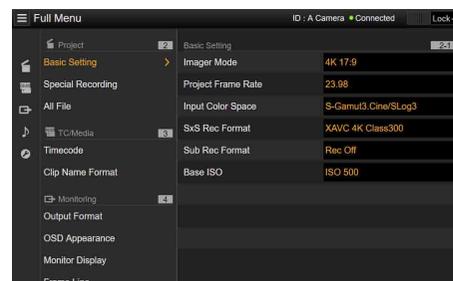
Info画面では、サブディスプレイのメニュー画面のInfoカテゴリー (53ページ)と同じ内容が表示され、カメラやメディア、バッテリーなどの状態を確認できます。

Full Menu画面

Global MenuでFull Menuを選択すると、フルメニューの設定画面が表示され、各項目を設定できます(65ページ)。

【ご注意】

Webリモコンでは一部設定できない項目があります。



OSS(Open Source Software) Information画面

Global MenuでOSS Informationを選択するとオープンソースソフトウェアの情報が表示されます。

再生画面



再生画面では、クリップの再生機能の操作を行うことができます。また画面には再生しているクリップの情報がステータス表示部に表示されます。

- 機能表示 (94ページ)
F Rev、Play/Pause、F Fwd、Prev、Stop/Clips、Next
- 再生ステータス表示 (94ページ)
タイムデータ表示、クリップ番号、フレームレート/再生クリップ画サイズ表示 (AXSのみ)、特殊記録表示、音声レベルメーター、再

生クリップフォーマット(コーデック)表示、アイコン表示(保護、サブクリップ)、クリップ名、再生メディア表示、再生状態

HOMEボタン

HOMEボタンを押すと、Camera画面に切り換わります。

本体が再生状態で、Webリモコン画面に再生画面を表示していても、HOMEボタンを押すと、カメラ撮像状態に戻ります。

CLIPSボタン

CLIPSボタンを押すと、再生画面に切り換わります。(本体はクリップリスト画面に切り換わります(93ページ)。)

記録する

Camera Control画面でRecボタンを押すと記録が始まりRECランプが赤色に点灯し、もう一度押すと記録が停止します。

Recボタン右下のREC ACTIVEランプが緑のときRecボタンを操作できます。

Recボタンをロックするには

Recボタン下のLockつまみを右にスライドすると、Recボタンの操作を禁止することができます。

再生する

Camera画面でCLIPSボタンを押すと、再生画面に切り換わり、本体が再生状態になります。(本体のサブディスプレイはクリップリスト画面が表示されます(93ページ)。)

再生画面で再生するクリップの選択、再生操作を行うことができます。

再生メディアを切り換えるには

本機が再生状態のときはメディア切り換えボタンが表示されます。SxSとAXS双方のメディアが再生可能な場合は、メディア切り換えボタンが有効になり、ボタンを押すと再生メディアを切り換えることができます。

撮影設定をする

Camera画面で、本機のサブディスプレイのホーム画面と同じ項目の設定と操作を行うことができます。

【ご注意】
ShutterのStep Edit操作はできません。

操作方法はサブディスプレイのホーム画面と同じです。

- ◆ 「サブディスプレイのホーム画面の操作方法」(35ページ)

レンズを制御する

Lens画面で、Eマウントレンズ設定(ズーム、フォーカス、アイリス)の状態を確認したり、制御可能なレンズを装着していた場合はスライダ操作でズーム、フォーカス、アイリスを制御できます。

Lens画面で、PLマウントCookeレンズ通信制御が可能です。

また、Lens画面で、12pinレンズ通信制御が可能です。

【ご注意】
Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnで、RM-B170などのリモートコントロールユニット接続時は、スライダはグレースアウトされ操作できません。フォーカスとズームのスライダは、フォーカスまたはズームのリモート操作を有効にした場合にグレースアウトされます。

アサインボタンを設定／操作する

Camera Control画面には、アサインボタン1～4ボタンとアサインボタン5～7ボタンまたはビューファインダーアサインボタンA～Cボタンが配置されています。

本機のアサインボタン1～4ボタン、CBK-3620XSのアサインボタン5～7ボタンまたはDVF-EL200のアサインボタンA～Cボタンを操作したときと同様に、アサインボタンを押すと、割り当てられた機能のOn(有効)とOff(無効)を切り換えたり、割り当てられた機能を起動したりできます。

アサインボタンの機能名を選択すると、切

り換え可能な選択肢がプルダウン表示され、選択肢を選択することにより、アサインボタンに割り当てる機能を変更できます。

- ◆ 「アサインボタン1～7ボタンに割り当て可能な機能」(47ページ)
- ◆ 「ビューファインダー(DVF-EL200)アサインボタンA～Cボタンに割り当て可能な機能」(48ページ)

【ご注意】

アサインボタンに割り当てた機能が、ボタンを押している間だけ有効になる機能、またはボタンを長押しして有効になる機能だった場合、Webリモコンのアサインボタンからの操作は無効になります。対象となる機能は以下のとおりです。

- Press & Hold for SDI Log
- Press & Hold for Monitor Log
- Press & Hold for VF Log
- Iris Open (1/16 stop)
- Iris Close (1/16 stop)

Webリモコン画面をロックする

Webリモコン画面右上のLockつまみを右にスライドすると、Webリモコン画面の操作を禁止することができます。

基本操作

基本的な撮影は次の手順で行います。

- 1 必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。
- 2 電源スイッチ (8ページ) をONにする。
ビューファインダーに撮影画面が表示されます。
- 3 必要なメモリーカードを入れる。
AXSメモリーカードまたはSxSメモリーカードは2枚入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り換わります。
【ご注意】
同時記録中は、自動的には切り換わりません。
- 4 RECボタン (8、10ページ) を押す。
RECランプが点灯して、記録が始まります。
【ご注意】
REC操作を受け付けた後、すぐに記録を開始できない場合はRECランプが点滅に変わり、記録開始されると点灯します。
- 5 記録を終了するときは、もう一度RECボタンを押す。
記録が停止し、本機はSTBY (記録待機) モードになります。
記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつのクリップとして記録されます。

クリップ名について

Cam ID + Reel#形式のクリップ名で記録を行います。以下の規則に従ってクリップ名が生成されます。

- 挿入されたSxSメモリーカードまたはAXSメモリーカードにCam ID + Reel#形式のクリップ名が存在している場合は、最終クリップの情報が継承されます。
例：「B002C003_XXXXXXXX」がAXSメモリーカードに存在している場合
次に生成されるクリップは「B002C004_XXXXXXXX」になります。
- 空のAXSメモリーカードを挿入した場合は、前回記録したクリップのReel Numberに1だけ追加されます。
例：カード1で「D001CXXX_XXXXXXXX」まで記録した後、空のカード2を入れて記録を行った場合
次に生成されるクリップは「D002C001_XXXXXXXX」になり、記録開始までクリップ名表示に下線が表示されます。
- メニューのTC/MediaカテゴリーのCamera IDや、Reel Numberを設定した場合は、その情報が有効になります。
例：「E003CXXX_XXXXXXXX」まで記録したAXSメモリーカードのCamera IDとReel Numberをメニューから変更した場合
Camera IDを「F」に、Reel Numberを「001」に変更すると、次に記録されるクリップは「F001CXXX_XXXXXXXX」になります。また、Camera IDだけを変更すると、Reel Numberは「001」に変更されます。

クリップの最長時間

SxSメモリーカードに記録できる単独クリップの最長時間は6時間です。また、録画最大時間は、24時間です。

録画時間がクリップの最長時間を超える場合、クリップを跨いで記録を続けます。
録画時間が、24時間に達した場合、記録が停止します。

便利な機能

同時記録

1スロットのSxSメモリーカードに2つの画サイズの映像を同時に記録したり、AXS-R7にRAWフォーマットの映像・音声を記録しながら、本体のSxSメモリーカードにHD信号を同時に記録することができます。

「記録フォーマット設定表」(55ページ)に従ってメニューのProjectカテゴリー > AXS Rec FormatとSxS Rec Format、もしくはSxS Rec FormatとSub Rec Formatを設定することで同時記録することができます。

1スロット同時記録を実施した際のXAVC 4K Class480/XAVC 4K Class300/XAVC QFHD Class480/XAVC QFHD Class300のクリップは、SxSメモリーカードのXDROOT/Clipディレクトリー下に記録されますが、MPEG2 1920×1080のクリップは、SxSメモリーカードのXDROOT/Subディレクトリー下に記録され、クリップ名は末尾に「S02」の_SUFFIXが追加されます。

【ご注意】

ProRes 4444 HD Pのビデオフォーマットでは、同時記録はできません。

ユーザーフレームライン表示

ユーザーフレームラインは任意に設定した表示にするか、固定のアスペクト比を表示するかを選択することができます。

ユーザーフレームラインは、User Frame Line 1とUser Frame Line 2を設定することができます。

任意に設定する場合は、Monitoringメニュー > User Frame Line 1 (79ページ) または User Frame Line 2 (80ページ) > SelectでVariableを選択し、Width、Height、H Position、V Positionの各メニュー項目で設定することができます。

固定のアスペクト比を設定する場合は、Monotoringメニュー > User Frame Line 1 (79ページ) またはUser Frame Line 2 (80ページ) > SelectでPresetを選択し、Preset Aspect Ratio、Scaling、Preset Aspect Ratio Typeの各メニュー項目で設定することができます。

任意の設定、固定のアスペクト比の設定ともに、Aspect Ratio(Pixels) (80ページ) で、設定したユーザーフレームラインのアスペクト比、画素数、アナモフィック倍率を確認することができます。

【ご注意】

- User Frame Line 2 > Preset Aspect Ratio Typeの設定はLineに固定されています。
- アナモフィック倍率を設定できない有効画サイズ (Imager Mode) 設定のときは、アナモフィック倍率は表示されません。

アサインボタン操作について

アサインプル1～4 (CBK-3620XS接続時は1～7)、ビューファインダーアサインプルA～C、ITEMキー 1～5 (44ページ) のいずれかにLine A: User Frame Disp.を割り当てると、Line Aに設定しているUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示・非表示を切り換えることができます。

アサインボタンを押すたびに、User Frame Line 1と2を表示→User Frame Line 1を表示→User Frame Line 2を表示→User Frame Line 1と2を非表示の順に切り換わります。同様にLine B: User Frame Disp.を割り当てると、Line Bに設定しているUser Frame Line 1およびUser Frame Line 2の表示・非表示を切り換えることができます。

また、アサインプル1～4 (CBK-3620XS接続時は1～7)、ビューファインダーアサインプルA～C、ITEMキー 1～5のいずれかに、Line A: Aspect Ratio Disp.またはLine B: Aspect Ratio Disp.を割り当てると、Line AまたはLine Bに設定しているAspect Ratioの表示・非表示を切り換えることができます。アサインボタンを押すたびに、Aspect Ratioの表示・非表示が切り換わります。

ピクチャーキャッシュレック

撮影している映像/音声データを、本機のメモリーに常時数秒間(最大30秒間)分蓄えておくことにより、記録を開始したとき、その数秒前からの映像を記録することができます。

Projectメニュー > Special RecordingのCache Rec Select (72ページ) をオンにして記録を開始すると、Projectメニュー > Special RecordingのMax Cache Rec Duration (73ページ) で設定した蓄積時間にさかのぼって映像を記録します。

Picture Cache Recを割り当てたアサインボタンを押して、ピクチャーキャッシュレック機能をオン/オフすることもできます。

【ご注意】

- システム周波数や記録フォーマット、記録するメディアによってMax Cache Rec Durationの設定に制限があります。詳しくは73ページを参照してください。
- 記録フォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記録されません。ピクチャーキャッシュモードは自動的に解除されます。
- ピクチャーキャッシュモードでは、1スロット同時記録およびAXSとSxSの同時記録はできません。
- 記録中にピクチャーキャッシュの設定を変更することはできません。
- 低い撮像フレームレートでMPEG 422記録を行った場合、記録停止やメモリーカードの切り換わり動作に時間がかかることがあります。

レックレビュー

アサインブル1～4 (CBK-3620XS接続時は1～7) ボタン (44ページ) のいずれかにRec Reviewを割り当てると、直前に記録したクリップの映像を画面で確認 (レックレビュー) できます。

記録を停止し、Rec Reviewを割り当てたアサインブルボタンを押すと、クリップの最初のフレームから1倍速で再生します。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY (記録待機) モードに戻ります。また、再生中にオペレーターサイドもしくはアシスタントサイドのHOMEボタンを押すと、再生が停止し記録可能な状態になります。

高精細拡大フォーカス機能

ビューファインダー画面、またはMonitor出力に対して、拡大表示することができます。

本機に装着されたビューファインダー (DVF-EL200、DVF-L700) のFOCUS MAGボタンや、VF Focus Magnifierを割り当てたアサインブルボタンを押すことによって、ビューファインダーの画面中央部分が拡大表示され、フォーカスを合わせやすくなります。または、Monitor Focus Magnifierを割り当てたアサインブルボタンを押すことによって、Monitor出力映像の画面中央部分が拡大表示され、フォーカスを合わせやすくなります。

拡大表示中は、記録映像やMonitor出力を除いた他の出力信号に影響はありません。

通常の拡大フォーカスは、それまで表示されている画の一部分を拡大するため解像度が荒くなりますが、本機のx2倍フォーカスは、拡大した部分が記録映像やMonitor出力を除いた他の出力信号とは別に4K映像からの切り出しで表示されるため解像度を保ったまま拡大フォーカス調整することが可能です。

また、さらに4K切り出し映像からの拡大でx4倍フォーカスも選択できます。

アサインブルボタン (47ページ) に割り当てることができる拡大フォーカス機能は以下のとおりです。

ビューファインダー画面の拡大フォーカス機能：

VF Focus Maginifier

Monitor 出力の拡大フォーカス機能：Monitor Focus Magnifier

FOCUS MAGボタンや、拡大フォーカス機能を割り当てたアサインブルボタンの動作順は以下の項目で設定できます。

ビューファインダー画面：Monitoring メニュー
→ VF Display > VF Magnifier Ratio (83ページ)

Monitor 出力：Monitoring メニュー >
Monitor Display > Monitor Magnifier Ratio (79ページ)

VF Magnifier Ratioをx2.0/x4.0に設定すると、VF Focus Magnifierを割り当てたアサインブルボタンを押すたびに、x2.0→x4.0→x1.0→x2.0の順に拡大率が切り換わります。

同様にMonitor Magnifier Ratioをx2.0/x4.0に設定すると、Monitor Focus Magnifierを割り当てたアサインブルボタンを押すたびに、拡大率が切り換わります。

【ご注意】

- 撮像フレームレートが61fps以上のハイフレームレートモード時は、4K映像からの切り出し表示ができないため、x2/x4倍フォーカスの表示映像の解像度が下がります。
- Project Frame Rateが59.94または50のとき、Monitor出力設定が1920x1080Pの場合、Monitor Magnifier Ratioはx4.0およびx2.0/x4.0には設定できません。また、Monitor出力設定が1920x1080iの場合、Monitor Focus Magnifierは動作しません。
- HDMI出力がMonitor出力と同じ出力フォーマットの場合にMonitor Focus MagnifierはHDMI出力に対しても拡大表示されます。Monitoringメニュー > OSD Appearance > HDMI (77ページ) で設定を確認できます。HDMIがSame as Monitorに設定されている場合、HDMI出力はMonitor出力と同じです。

ハイライトクリップインジケーター

高輝度のためクリップされた箇所を赤色にしてMonitor出力映像およびビューファインダー出力映像に表示することができます。

Monitor Highlight Clip IndおよびVF Highlight Clip Indを割り当てたアサインブルボタン (45ページ、47ページ) を押すと、ハイライトクリップインジケーターのオン/オフを切り換えることができます。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、ハイライトクリップインジケーターは動作しません。

ハイ/ローキー

Monitor出力映像およびビューファインダー出力映像を、高輝度の白飛び確認または低輝度の暗部確認の状態にすることができます。

High Keyがオンになると、高輝度部分の差異が見やすくなり、高輝度の白飛びを確認できます。

Low Keyがオンになると、低輝度部分の差異が見やすくなり、低輝度の暗部を確認できます。

Monitor High/Low KeyおよびVF High/Low Keyを割り当てたアサインブル1～4 (CBK-3620XS接続時は1～7) ボタン (47ページ) を押すと、ハイ/ローキーの設定を切り換えることができます。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、ハイ/ローキーは動作しません。

フォルスカラー表示

本機に装着されたビューファインダー (DVF-EL200) のB/False Colorボタン、またはビューファインダー (DVF-L700) のSPAREボタンを押すことによって、ビューファインダー内にフォルスカラー (偽色) 表示を行うことができます。

また、モニター出力にもフォルスカラー表示を行うことができます。

表示色	信号レベル	
	S-Log3 (初期値)	S-Log2 (PMW-F55 参考値)
赤	93.4% ~ 96.1%	105.5% ~ 109.5%
黄	91.3% ~ 93.4%	102.5% ~ 105.5%
オレンジ	87.7% ~ 90.6%	97.4% ~ 101.5%
ピンク	54.3% ~ 58.0%	50.2% ~ 55.2%
ライト ピンク	47.8% ~ 50.8% (18%Gray+1stop)	41.5% ~ 45.4% (18%Gray+1stop)
シアン	43.8% ~ 46.5%	36.3% ~ 39.6%
緑	38.9% ~ 42.2%(18%Gray)	30.4% ~ 34.4%(18%Gray)
ライト ブルー	24.6% ~ 34.4%	15.5% ~ 25.2%
青	3.5% ~ 5.6%	3.0% ~ 4.0%
紫	-7.3% ~ 3.5%	-7.3% ~ 3.0%

- Monitoring > False Color (81ページ) でビューファインダーおよびモニター出力の

フォルスカラーの各色のオン/オフと閾値をプリセットにするか手動にするかを設定できます。

- VF False Colorを割り当てたアサインブルボタンを押すと、ビューファインダーに表示するフォルスカラー機能をオン/オフできます。
- Monitor False Colorを割り当てたアサインブルボタンを押すと、モニターに表示するフォルスカラー機能をオン/オフできます。

【ご注意】

- DVF-L700の場合、ビューファインダーに出力されている映像信号のGammaがS-Log2のときのみ表示可能です。
- Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、フォルスカラー機能は動作しません。

ビューファインダー倍速駆動機能

プロジェクトフレームレートが23.98P、24P、25P、29.97Pの場合、フレーム周波数が低いため左右に振って撮影するような場合に映像がぶれて見にくい場合があります。

このような場合にビューファインダー倍速駆動機能を有効にすることで、ビューファインダーの映像のブレが軽減され、見やすくすることができます。

Monitoringメニュー > VF FunctionのDouble Speed Scan (83ページ) をOnに設定することで、機能を有効にすることができます。

【ご注意】

- 本機能が有効なときは、電子シャッターは開角度換算で180°以下に制限されます。
- 可変速撮影時は本機能はOffになります

- 本機能が有効になるイメージサイズとプロジェクトフレームレートは以下のとおりです。
3.8K 16:9 (23.98p、24p、25p、29.97p)
4K 17:9 (23.98p、24p、25p、29.97p)
3.8K16:9 Surround (23.98p、24p)
4K 17:9 Surround (23.98p、24p)
4K 4:3 (23.98p、24p)
4K 2.39:1 (23.98p、24p、25p、29.97p)

User 3D LUT

本機では、RAW ViewerやBlackmagic Design Pty. Ltd.製DaVinci Resolveで生成される17格子または33格子のCUBEファイル (*.cube) をインポートすることができます (37ページ)。CUBEファイル生成時のInput Color Spaceと本機のInput Color Spaceは合わせてください。S-Gamut3.Cine/SLog3で生成した場合は、本機のProject > Basic SettingのInput Color Space (71ページ) をS-Gamut3.Cine/SLog3に設定してください。

生成されたUser 3D LUTファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください。

PRIVATE\SONY\PRO\LUT\

ART

本機では、RAW Viewerなどで生成されるART (Advanced Rendering Transform) ファイル (*.art) をインポートすることができます (37ページ)。

ARTファイルは、バイナリフォーマットで生成されたソニー独自のLookファイルです。ARTファイルを使用することにより、本機にUser 3D LUTをインポートするより高品質なモニター出力が可能です。

本機に生成されたARTファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください。

PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\MPC3610\

ASC CDL

本機では、外部ツールで生成されたASC CDL (The American Society of Cinematographers Color Decision List) ファイル (*.cdl) をインポートすることができます。ASC CDLのパラメーターをLookに適用して撮影を行うことができます。

生成されたASC CDLファイルは、SDカードの以下の階層に保存してください。

PRIVATE\SONY\PRO\CDL\

ユーザー設定データ

フルメニューの設定内容は、本機の内蔵メモリーまたはSDカードに保存／読み込みすることができます。このデータを使って、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

設定データをSDカードに保存する場合は、あらかじめ、書き込み可能なSDカード(27ページ)をSDカードスロット(12ページ)に挿入しておきます。

各ファイルに保存される設定値については、「ファイルに保存される項目」(137ページ)をご覧ください。

Allファイル

全メニューの設定データを保存／読み込みします。SDカードに64個まで保存することができます。

【ご注意】

機器固有のデータ(機器ごとに調整が必要なシェーディングや出力レベルなど)は保存されません。

Sceneファイル

撮影シーンに合わせて設定したペイント項目の設定値を保存／読み込みします。本機の内蔵メモリーに5個、SDカードに64個まで保存することができます。

次のデータをSceneファイルに保存できます。

- Paintメニューを使用して設定した値
- シャッター、NDフィルター、Gain、Base ISO、Input Color Space、NRの設定
- ホワイトバランスのデータ

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOffに設定されている場合、設定値の保存／読み込みはできません。

ユーザーガンマ

ユーザーが作成したユーザーガンマファイルを本機の内蔵メモリーに5個まで保存することができます。

【ご注意】

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOffに設定されている場合は保存できません。

Allファイル

設定データをAllファイルとして保存する

- 1 Projectメニュー > All File > Save SD Card (74ページ) を選択する。
Allファイルの保存先画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回して保存先を選択し、MENUダイヤルを押す。
File IDがNo Fileの行にファイルを保存することができます。
File IDにFile IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。
- 3 MENUダイヤルを回して確認画面のExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

ファイルの保存が実行されないときは

操作中または操作後に次のエラーメッセージが表示されたときは、ファイルは保存されません。

エラーメッセージ	状況	対策
File Access NG	保存可能なSDカードが挿入されていない	保存可能なSDカードを挿入する

File IDを変更する

- 1 Projectメニュー > All File > File ID (74ページ) を選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 文字を選択してFile IDを入力する。
- 3 MENUダイヤルを回してDoneを選択し、MENUダイヤルを押す。
File IDの変更が完了します。

設定データを読み込む

- 1 Projectメニュー > All File > Load SD Card (74ページ) を選択する。
Allファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回して読み込むファイルを選択し、MENUダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

[ご注意]

- SDカードからファイルを読み込むと、本機内部に保存されているデータは上書きされます。
- ファイルを保存した機器より古いバージョンの機器では読み込まないでください。故障の原因となることがあります。
- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。

ファイルの読み込みが実行されないときは

操作中または操作後に次のエラーメッセージが表示された場合は、ファイルの読み込みは行われません。

エラーメッセージ	状況	対策
File Access NG	<ul style="list-style-type: none"> • ファイルの読み込みが異常終了した • SDカードの該当ファイルのデータが壊れている 	<ul style="list-style-type: none"> • 読み込みを再実行する • SDカードを再挿入する • SDカードに正常なファイルを保存する

[ご注意]

- AXS-R7を装着した本機で保存されたファイルは、AXS-R7を装着していない本機に読み込むことはできません。
- 各ソフトウェアオプションをインストールした本機で保存されたファイルは、該当ソフトウェアオプションがインストールされていない本機に読み込むことはできません。
- V3.0以前の本機で保存したファイルは、Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) をOffにして読み込んでください。

現在の設定値をすべて初期値に戻す

- 1 Maintenanceメニュー > Reset to Default (91ページ) を選択する。
確認画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

[ご注意]

実行後、本機は自動的に再起動されます。

Sceneファイル

Sceneファイルを内蔵メモリーに保存する

- 1 Projectメニュー > Scene File > Store Internal Memory (75ページ) を選択する。
Sceneファイル一覧画面が表示されます。File IDがStandardの保存先にはあらかじめ標準設定が保存されます。
- 2 MENUダイヤルを回して保存先を選択し、MENUダイヤルを押す。
選択した保存先にSceneファイルが上書きされます。
- 3 MENUダイヤルを回して確認画面のExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

SceneファイルをSDカードに保存する

- 1 Projectメニュー > Scene File > Save SD Card (75ページ) を選択する。
Sceneファイル保存先画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回して保存先を選択し、MENUダイヤルを押す。
File IDがNo Fileの行にファイルを保存することができます。
File IDにFile IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。
- 3 MENUダイヤルを回して確認画面のExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

File IDを変更する

- 1 Projectメニュー > Scene File > File ID (75ページ) を選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 文字を選択してFile IDを入力する。
- 3 MENUダイヤルを回してDoneを選択し、MENUダイヤルを押す。
File IDの変更が完了します。

Sceneファイルを内蔵メモリーから読み込む

- 1 Projectメニュー > Scene File > Recall Internal Memory (75ページ) を選択する。
Sceneファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回して読み込むファイルを選択し、MENUダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

SceneファイルをSDカードから読み込む

- 1 Projectメニュー > Scene File > Load SD Card (75ページ) を選択する。
Sceneファイル一覧画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回して読み込むファイルを選択し、MENUダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

ユーザーガンマ

RAW Viewer V3.5以降で作成したユーザーガンマファイルを使用する

RAW Viewer V3.5以降で作成したユーザーガンマファイルの本機で使用することができます。作成したデータを使用するにはSDカードの以下の階層に保存してください。

PRIVATE\SONY\PRO\CAMERA\MPC3610

RAW Viewer V3.5以降について詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

ユーザーガンマファイルの読み込みや確認、リセットなどの操作を行うには、Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) をOnに設定して、ペイント機能をオンにします。

SDカードからユーザーガンマファイルを読み込む

- 1 Projectメニュー > User Gamma > Load SD Card (75ページ) を選択する。ユーザーガンマファイル一覧画面が表示されます。ユーザーガンマファイル一覧画面では、5個のファイルが一度に選択されます。

User Gamma : Load SD Card			
No.	Name	Date/Time	Comment
01	0234567890ABC	2019/12/10 10:33	0234567890
02	0234567890	2019/12/10 10:59	0234567890
03	0234567890ABCDE	2019/12/10 11:10	0234567890
04	0234567890ABCDE	2019/12/10 11:32	0234567890
05	0234567890	2019/12/10 12:33	0234567890

[ご注意]

読み込み操作は5個まとめて行われます。1個だけファイルを選択することはできません。

- 2 MENUダイヤルを押す。確認画面が表示されます。

- 3 MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。5個のファイルが内蔵メモリーに読み込まれます。

現在の内蔵メモリーに保存されているユーザーガンマファイルを確認する

Projectメニュー > User Gamma > Current Settings (75ページ) を選択すると、現在本機内蔵メモリーに保存されているユーザーガンマファイル一覧画面が表示されます。

User Gamma : Load SD Card			
No.	Name	Date/Time	Comment
01	0234567890ABC	2019/12/10 10:33	0234567890
02	0234567890	2019/12/10 10:59	0234567890
03	0234567890ABCDE	2019/12/10 11:10	0234567890
04	0234567890ABCDE	2019/12/10 11:32	0234567890
05	0234567890	2019/12/10 12:33	0234567890

[ご注意]

SDカードからユーザーガンマファイルを読み込む前は、Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) がRec.709/User Gammaに設定されている場合、Nameには初期値である「709(800%)」が表示されます。Rec.709/User Gamma以外に設定されている場合は、「HLG(Natural)」が表示されます。

内蔵メモリーに保存したユーザーガンマファイルを設定する

- 1 Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) をRec.2020/User GammaまたはRec.709/User Gammaに設定する。

[ご注意]

Rec.2020/User GammaまたはRec.709/User Gammaは、Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合のみ選択できます。

- 2 Paintメニュー > Gamma > Gamma Select (85ページ) で、User 1 ~ User 5のいずれかを選択する。

[ご注意]

Gamma Selectの選択肢User 1 ~ User 5は、ユーザーガンマファイル一覧画面のNo.1 ~ 5に該当します。

内蔵メモリーに保存されているユーザーガンマファイルを初期状態にリセットする

- 1 Projectメニュー > User Gamma > Reset (75ページ) を選択する。
リセットするガンマファイル番号の選択肢画面が表示されます。
- 2 MENUダイヤルを回してリセットするガンマファイル番号(1～5)を選択する。
すべてのガンマファイルをリセットする場合はAllを選択します。
確認画面が表示されます。
- 3 MENUダイヤルを回してExecuteを選択し、MENUダイヤルを押す。

リモートコントロールユニットを接続する

リモートコントロールユニットRM-B170やリモートコントロールパネルRCP-1001/1501/3501などのコントロールユニットを接続すると、それらの機器から本機の機能の一部をコントロールすることが可能です。

Paint Control (87ページ) をOnに設定する必要があります。

リモートコントロールユニットを接続する

リモートケーブルを使って、本機のREMOTE端子(8ピン)と、コントロールユニットのカメラ端子を接続します。

接続後に本機の電源を入れると、本機はリモートコントロールモードになり、本機のメニュー操作や撮影操作が可能となります。

[ご注意]

- 本機の電源を入れたままコントロールユニットを接続したり、接続を外さないでください。
- リモートコントロールパネルRCP-1001/1501/3501にはリモートケーブルは付属されていません。

リモートコントロールモードを解除する

本機の電源を切り、コントロールユニットを取り外します。

ペイント機能を設定する

ペイント機能を設定するには、Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP

RCP-1001/1501/3501、RM-B170/B750で操作できる主な機能

表の見かた

操作表示の記号の意味は次のとおりです。

○：操作できる

—：操作できない

項目	小項目	細目	選択肢	RCP-1001	RCP-1501/3501	RM-B170	RM-B750	
Shooting	FPS	Fixed/Variable Select	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○	
		FPS Select	1FPS ~ 120FPS	—	○	○ ¹⁾	○	
	Shutter Select ²⁾	Shutter ON/OFF	On/Off	—	○	○	○	
		ECS ON/OFF	On/Off	—	○	○	○	
		Shutter Speed	Step用に登録した任意の値。 以下の値を表示可能。 1/32 1/33 1/48 1/50 1/60 1/96 1/100 1/120 1/125 1/250 1/500 1/1000 1/2000 1/3000 1/4000 1/5000	—	○	○	○	
		ECS Frequency	—	—	○	○	○	
		ND	ND Position	1：(CLEAR)	○	○	○	○
				2：(濃度0.3)				
				3：(濃度0.6)				
				4：(濃度0.9)				
5：(濃度1.2)								
6：(濃度1.5)								
Gain ²⁾	Gain(Step)	—6dB/—3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/12dB/15dB/18dB	○	○	○	○		

項目	小項目	細目	選択肢	RCP-1001	RCP-1501/3501	RM-B170	RM-B750
	White Balance ²⁾	Color Temp	2000K ~ 15000K ³⁾	—	○	—	○
		Color Temp Balance (Tint.相当)	-99 ~ ±0 ~ +99 ⁴⁾	—	○	—	○
		R Gain	-99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○	○
		B Gain	-99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○	○
		Auto White Balance	—	○	○	○	○
Project	Scene File ²⁾⁵⁾	—	—	—	○	—	○
	Standard ⁶⁾	—	—	○	○	—	○
Paint ²⁾	Switch Status	Gamma	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○
		Black Gamma ⁷⁾	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○
		Matrix	On/Off	—	○	—	○
		Knee ⁷⁾	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○
		White Clip ⁷⁾	On/Off	—	○	—	○
		Detail	On/Off	—	○	—	○
		Flare	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○
		Test Saw ⁸⁾	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○
	Black	Master Black	-99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○	○
		R Black	-99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○	○
		B Black	-99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○	○
	Flare	Setting	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○
		Master Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	—	○	○ ¹⁾	—
		R Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		G Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		B Flare	-99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
	Gamma	Setting	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○
		Gamma Category (表示のみ) ⁹⁾	User	—	○	—	○
		Gamma Select	User 1/User 2/User 3/User 4/User 5	—	○	—	○
	Black Gamma ⁷⁾	Setting	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○
		Range	Low/L.Mid/H.Mid	—	○	—	○
Master Black Gamma		-99 ~ ±0 ~ +99	—	○	○ ¹⁾	○	
Knee ⁷⁾¹⁰⁾	Setting	On/Off	○	○	○	○	
	Point	-99 ~ ±0 ~ +99	○	○	○	○	
	Slope	-99 ~ ±0 ~ +99	○	○	—	○	
White Clip ⁷⁾	Setting	On/Off	—	○	—	○	
	Level	-99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○	

項目	小項目	細目	選択肢	RCP-1001	RCP-1501/3501	RM-B170	RM-B750
	Detail	Setting	On/Off	—	○	—	○
		Level	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		H/V Ratio	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		Crispening	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		Level Depend	On/Off	—	○	—	○
		Level Depend Level	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		Frequency	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		Knee Aperture	On/Off	—	○	—	○
		Knee Aperture Level	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		Limit	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		White Limit	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		Black Limit	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		Matrix	Setting	On/Off	—	○	—
	User Matrix		On/Off	—	○	—	○
	User Matrix R-G		−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
	User Matrix R-B		−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
	User Matrix G-R		−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
	User Matrix G-B		−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
	User Matrix B-R		−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
	User Matrix B-G		−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
	Multi Matrix	Setting	On/Off	—	○	—	○
		Area Indication	On/Off	—	○	—	○
		Reset	Execute/Cancel	—	○	—	○
		Axis	B/B+/MG-/MG+/R/R+/YL-/YL+/G-/G+/CY/CY+/B-	—	○	—	○
		Hue	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
		Saturation	−99 ~ ±0 ~ +99	—	○	—	○
Technical	Test Signals	Color Bars On/Off	On/Off	○	○	○	○
		Test Saw ⁸⁾	On/Off	—	○	○ ¹⁾	○
Rec	—	—	—	—	—	○	○
Play	—	—	—	—	—	○	○
Stop	—	—	—	—	—	○	○
F.Rev	—	—	—	—	—	○	○
F.Fwd	—	—	—	—	—	○	○
Rec Review	—	—	—	—	—	○	○

項目	小項目	細目	選択肢	RCP-1001	RCP-1501/3501	RM-B170	RM-B750
Next	—	—	—	—	—	○	—
Prev.	—	—	—	—	—	○	—
White Mode ²⁾	Preset ON/OFF	—	On/Off	—	—	○	○
Iris	Iris Level	—	(対象レンズの制御範囲)	○	○	○	○
	Close	—	On/Off	○	○	—	○
Zoom ¹¹⁾	Remote	—	On/Off	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Speed	—	—	—	—	—	—
	Tele ~ Wide	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Zoom Value[%]	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Focal Length[mm]	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
Focus ¹¹⁾	Remote	—	On/Off	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Focus Position	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Focus Value[%]	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
	Focus Length[m]	—	—	—	○ ¹⁾	○ ¹⁾	—
Call	—	—	—	○	○	○	○

¹⁾ コントローラーの操作部に割り当てれば制御可能です。

²⁾ Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合のみ設定可能です。

³⁾ Color Tempは、R/B Gain操作時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R/B Gain値の正確なColor Temp値を表示できない場合があります。

⁴⁾ Color Temp Balanceは±99で表示クリップされるため、R/B Gain値の正確なColor Temp Balance値を表示できない場合があります。

⁵⁾ 本機に読み込み済みのScene File 1 ~ 5の選択および選択解除のみ可能です。

⁶⁾ コントローラーからの操作で、本機の設定をScene Fileが読み込まれていない標準状態に戻すことができます。

⁷⁾ Projectメニュー > Basic Setting > Input Color Space (71ページ) がHLG(Natural)、HLG(Live)、Rec.2020/User GammaまたはRec.709/User Gammaに設定されている場合のみ設定可能です。

⁸⁾ オートホワイトバランスの実行中は、テスト信号のオン/オフを切り換えることはできません。

⁹⁾ コントローラーの機種やバージョンによっては表示できないものもあります。

¹⁰⁾ 本機では、通常のKneeコントロールによって、HDR Kneeと同等の高輝度Kneeを制御します。

¹¹⁾ Eマウントレンズ装着時、リモートコントロールユニットからのズームおよびフォーカスの駆動指示は無効になります。

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

外部モニターにビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターに出力する信号に応じて、Monitoringメニュー（77ページ）で表示する内容を設定してください。

【ご注意】

FPSをVariableに設定しているとき、4K出力のみにおいて水平方向の画ズレが発生する場合があります。これは、速いFPS設定時に顕著な現象です。ただし、記録画には影響がないため、再生画像は正しく表示できます。

SDI OUT端子 (BNC型)

Monitoringメニュー（77ページ）で、出力フォーマットを設定します。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

【ご注意】

本機と外部機器の間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。（75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをお勧めします。）

やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、メニューのTechnical > System Configuration > SDI Rec Remote

Trigger（87ページ）をHD SDI Remote I/FまたはParallel Recに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

【ご注意】

接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。

MONITOR OUT端子 (BNC型)

HD SDI信号を出力します。

Monitoringメニュー（77ページ）で出力フォーマットを設定します。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

【ご注意】

音声とタイムコードは本出力には重畳されていません。

HDMI OUT端子 (Type Aコネクタ)

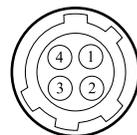
Monitoringメニュー（77ページ）で、出力フォーマットを設定します。

接続には、市販のHDMI接続ケーブルを使用します。

出力フォーマットがMONITOR OUT端子と同一の解像度の場合は、同じ映像信号が出力されません。

12V OUT端子 (DC OUT 12V、Hirose 4ピン)

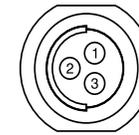
電源スイッチがONの場合に、アクセサリにDC 12Vの電源を供給します。また、12V OUT端子を経由してREC Tally信号の出力、REC Trigger信号の入力をすることが可能です。



No.	信号	I/O	仕様
1	UNREG GND	—	GND for UNREG
2	REC TALLY	OUT	Open Collector output (Max. 50 mA) Low: REC
3	REC TRIGGER	IN	Open or +5 V dc: Normal GND: Active(REC)
4	UNREG +12 V OUT	OUT	+11 V to 17 V dc output 11 V ~ 17 V入力時 出力電圧：入力電圧と同じ 出力最大電流：1.0 A 22 V ~ 32 V入力時 出力電圧：15 V 出力最大電流：0.8 A

24V OUT端子 (DC OUT 24V、Fischer 3ピン)

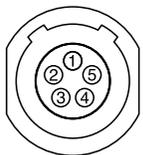
電源スイッチがONの場合に、アクセサリにDC 24Vの電源を供給します。また、24V OUT端子を経由して、REC Trigger信号の入力をすることが可能です。



No.	信号	仕様
1	GND	
2	24V-AUX	11 V ~ 17 V入力時 出力電圧：24 V 出力最大電流：1.0 A 22 V ~ 32 V入力時 出力電圧：入力電圧と同じ 出力最大電流：2.0 A
3	REC TRIGGER IN	Open or +5 V dc: Normal GND: Active(REC)

AUX 端子 (LEMO 5ピン)

タイムコード信号を出力します。



No.	信号
1	Factory Use
2	NC
3	—
4	TC OUT
5	GND

外部同期

本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができます。

映像信号の位相を合わせる (ゲンロック)

本機のGENLOCK IN端子 (11ページ) に以下の基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。

- HDSDI 1.5G デジタル (interlace or PsF)
- HD Yアナログ
- SD VBSアナログ

ゲンロック入力信号は、フルメニューの Technical > Genlock > Input Source (90ページ) で設定できます。

また、フルメニューの Technical > Genlock > Reference Lock Type (90ページ)、サブディスプレイのホーム画面 (33ページ)、ゲンロック状態表示 (13ページ) で状態を確認できます。

入力できる基準信号は、設定されているプロジェクトフレームレートによって異なります。

プロジェクト フレーム レート	入力可能な基準信号	
	アナログ	デジタル
23.98/47.95	1920×1080 47.95i (23.98PsF)	1920×1080 47.95i (23.98PsF)
24	1920×1080 48i(24PsF)	1920×1080 48i(24PsF)
25/50	1920×1080 50i(25PsF) 720×576 50i	1920×1080 50i(25PsF)

プロジェクト フレーム レート	入力可能な基準信号	
	アナログ	デジタル
29.97/59.94	1920×1080 60i(29.97PsF) 720×486 59.94i	1920×1080 60i(29.97PsF)

ゲンロックの状態は、メニューの Technical > Genlock > Reference Lock Type (90ページ) で確認できます。

【ご注意】

- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード (Free Run) に設定してください。

- 1 メニューの TC/Media > Timecode > Mode (75ページ) を Preset F-Run (Ext-Lk) に設定する。
- 2 GENLOCK IN端子 (11ページ) と TC IN端子 (11ページ) に、それぞれ HD または SD のリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、サブディスプレイのホーム画面に「Ext-Lk」と表示されます。ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

【ご注意】

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続を外した場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

メニューの TC/Media > Timecode > Mode (75ページ) の設定を変更してください。

使用上のご注意

安全にご使用いただくために、付属の「ご使用になる前に」と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

使い終わったら

電源スイッチをOFFにしてください。

長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。

アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

エアダスター等の高風圧機器を使ったお手入れは光学部位の損傷につながりますのでお控えください。

万一、異常が生じたときは

お買い上げ店がソニーのサービス窓口にご相談ください。

ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です

ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。

常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

電解コンデンサの寿命は約5年です

電解コンデンサの寿命は約5年です。

(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常にご使用すると想定した場合)

したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子(バッテリーパックやACアダプターとの接点部分)は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所(使用温度は0℃～40℃)。
 - 真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨が当たる所。
- 激しく振動する所。
- 強い磁気を発生するものの近く。

- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。

本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。特に医療用などの強力なレーザー光の場合は、反射光や散乱光でも損傷を与えることがあります。

画面について

- 画面を太陽に向けたままにすると、画面を傷めます。屋外でご利用のときは、太陽に向けて放置しないでください。
- 画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因になります。
- 使用中に画面が暖かくなることがありますが、故障ではありません。

LCD (液晶) 画面について

本機のLCD (液晶) パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり (画素欠け)、常時点灯している輝点 (赤、青、緑など) や減点がある場合があります。また、LCD (液晶) パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。

これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

なお、これらの点が記録されることはありません。

有機ELパネルについて

本機の有機ELパネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり (画素欠け)、常時点灯している輝点や減点がある場合があります。また、有機ELパネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

一般に、有機ELパネルは、その特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。

これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

CMOSイメージセンサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOSイメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

CMOSイメージセンサーは非常に精密な技術で作られています。宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、以下の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

フォーカルプレーン

撮像素子 (CMOSセンサー) の映像信号を読み出す方法の性質により、撮像条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見ることがあります。

フラッシュバンド

フラッシュ光や、すばやく点滅する光源を撮影したときに、画面の上下で輝度が変わることがあります。

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変わったり、横縞が流れるように見ることがあります。

本機のフリッカー低減機能を使用することにより低減可能です (71ページ)。

画面表示に関するご注意

- 次のような場合、ビューファインダーの映像が乱れることがあります。
 - フォーマットを切り換えたとき
- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに、赤、緑、青の原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、これらの原色が実際にメディアに記録されることはありません。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット (初期化) してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化 (フラグメンテーション) して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、メニューのTC/Media > Format Media (76ページ) で記録メディアのフォーマット (初期化) を行ってください。

本機の出力電圧について

本機から出力できる周辺機器用電力の合計は、本機への入力電圧やアクセサリーの接続状況によって変化します。条件によっては下記各電源出力端子の最大許容電力まで供給できない場合があります。

LENS端子：1 A max

12V OUT端子 (4ピン)：

0.8 A max (入力電圧：22 V～32 V)

1 A max (入力電圧：11 V～17 V)

24V OUT端子 (3ピン)：

2 A max (入力電圧：22 V～32 V)

1 A max (入力電圧：11 V～17 V)

本機器への入力電圧値に応じて、アクセサリー (AXS-R7、DVFEL200およびCBK-3610XS) の装着および周辺機器への供給電力が制限されます

本機器に供給される電圧：X[V]

周辺機器用供給電力合計：Y[W]

本機器の消費電力：約60 W

① AXS-R7の消費電力：約24 W

② DVF-EL200の消費電力：約2.5 W

③ CBK-3610XSの消費電力：約3.9 W

$$Y[W]=X[V]\times 9.0[A]^{1)}-(60+①+②+③)^{2)}[W]$$

上記アクセサリーの装着および周辺機器に電力を供給する場合は、上記計算式でYが負の値にならないように運用してください。

(算出した結果Yが、各電源出力端子の最大許容電力の和を超える場合は適用されません。)

¹⁾ AC-DN10A使用時は6.0[A]

²⁾ AC-DN10A使用時は①と③の同時使用はしないでくだ

さい。使用条件によって供給電力オーバーとなる可能性があります。

セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。(88ページ) また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

記録フォーマットと出力信号

SDI OUT端子の出力フォーマット

SDI OUT端子からのシリアルデジタル信号は、メニューのProjectカテゴリとMonitoringカテゴリの設定に応じて出力されます。

Projectカテゴリの設定組み合わせに関しては「記録フォーマット設定表」(55ページ)を参照してください。

Technicalメニュー > System Configurationの3G SDI 1/2/3/4 Output (87ページ)で、3G SDI出力フォーマットをLevel AにするかLevel Bにするかを選択できます。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Project			Monitoring > Output Format		出力フォーマット								
Project	Frame Rate	Imager Mode	SxS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	SDI 1	SDI 2	SDI 3	SDI 4				
59.94/50	6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 4K 4:3/ 4K 17:9/ 4K 2.39:1 ¹⁾		<u>XAVC-I 4K Class300/</u> Rec Off	4096x2160P 12G	—	4096x2160P YPbPr 12G	4096x2160P YPbPr 12G	無出力	無出力				
				4096x2160P Square	4096x2160P Square	4096x2160P YPbPr 3G							
				4096x2160P 2SI	4096x2160P 2SI	4096x2160P YPbPr 3G							
				2048x1080P	1920x1080P	2048x1080P YPbPr 3G	2048x1080P YPbPr 3G	1920x1080P YPbPr 3G	1920x1080P YPbPr 3G				
					<u>1920x1080i</u>			1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G				
				1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 3G	1920x1080P YPbPr 3G	1920x1080P YPbPr 3G	1920x1080P YPbPr 3G				
					<u>1920x1080i</u>			1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G				
				<u>1920x1080i</u>	<u>1920x1080i</u>	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G				
				5.7K 16:9/ 3.8K 16:9			<u>XAVC-I QFHD</u> <u>Class300/</u> Rec Off	3840x2160P 12G	—	3840x2160P YPbPr 12G	3840x2160P YPbPr 12G	無出力	無出力
								3840x2160P Square	3840x2160P Square	3840x2160P YPbPr 3G			
3840x2160P 2SI	3840x2160P 2SI	3840x2160P YPbPr 3G											
1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 3G	1920x1080P YPbPr 3G					1920x1080P YPbPr 3G	1920x1080P YPbPr 3G				
	<u>1920x1080i</u>							1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G				
<u>1920x1080i</u>	<u>1920x1080i</u>	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G					1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G				
6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 5.7K 16:9/ 4K 4:3/ 4K 6:5/ 4K 17:9/ 3.8K 16:9			ProRes 422 HQ HD P/ ProRes 422 HD P/ ProRes 422 Proxy HD P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 3G	1920x1080P YPbPr 3G	1920x1080P YPbPr 3G	1920x1080P YPbPr 3G				
					<u>1920x1080i</u>			1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G				
				1920x1080i	MPEG 1920x1080i/ ProRes 422 HQ HD i/								
					ProRes 422 HD i/	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G				
					ProRes 422 Proxy HD i			1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i YPbPr 1.5G				

Project			Monitoring > Output Format		出力フォーマット					
Project	Frame Rate	Imager Mode	AXS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	SDI 1	SDI 2	SDI 3	SDI 4	
47.95	6K 3:2/	RAW SQ/ X-OCN XT/ X-OCN ST/ X-OCN LT/ Rec Off	RAW SQ/	4096x2160P Square	4096x2160P Square	4096x2160P YPbPr 3G				
	6K 1.85:1/		X-OCN XT/	4096x2160P 2SI	4096x2160P 2SI	4096x2160P YPbPr 3G				
	6K 17:9/		X-OCN ST/	2048X1080P	1920x1080P	2048X1080P YPbPr 3G		1920x1080P YPbPr 1.5G		
	6K 2.39:1/		X-OCN LT/							
	4K 4:3/4K 6:5/ 4K 17:9/ 4K 2.39:1		Rec Off	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G		1920x1080P YPbPr 1.5G		
Project			Monitoring > Output Format		出力フォーマット					
Project	Frame Rate	Imager Mode	SxS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	SDI 1	SDI 2	SDI 3	SDI 4	
29.97/25	6K 3:2/	XAVC-I 4K Class480/ XAVC-I 4K Class300 / Rec Off	XAVC-I 4K Class480/	4096x2160P 6G	—	4096x2160P YPbPr 6G	4096x2160P YPbPr 6G	無出力	無出力	
	6K 1.85:1/		XAVC-I 4K Class300 /	4096x2160P 2SI	—	4096x2160P YPbPr 3G		無出力	無出力	
	6K 17:9/		Rec Off	4096x2160P Square	4096x2160P Square	4096x2160P YPbPr 1.5G				
	6K 2.39:1/								1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G
	5.7K 16:9 ²⁾ / 4K 6:5/4K 4:3/ 4K 17:9/ 4K 2.39:1 ¹⁾			2048x1080PsF	1920x1080P	2048x1080PsF YPbPr 1.5G	2048x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	
				1920x1080PsF				1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	
				1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	
				1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	
	5.7K 16:9 ³⁾ / 3.8K 16:9	XAVC-I QFHD Class480/ XAVC-I QFHD Class300 / Rec Off	XAVC-I QFHD	3840x2160P 6G	—	3840x2160P YPbPr 6G	3840x2160P YPbPr 6G	無出力	無出力	
			XAVC-I QFHD Class300 /	3840x2160P 2SI	—	3840x2160P YPbPr 3G		無出力	無出力	
			Rec Off	3840x2160P Square	3840x2160P Square	3840x2160P YPbPr 1.5G				
					1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G
					1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G
	6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 5.7K 16:9/ 4K 6:5/4K 4:3/ 4K 17:9/ 3.8K 16:9	MPEG 1920x1080P/ ProRes 422 HQ HD P/ ProRes 422 HD P/ ProRes 422 Proxy HD P ProRes 4444 HD P ⁴⁾	MPEG 1920x1080P/	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	
			ProRes 422 HQ HD P/							
	ProRes 422 HD P/		1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G		
	ProRes 422 Proxy HD P									
	ProRes 4444 HD P ⁴⁾		1920x1080P RGB	1920x1080P	1920x1080P RGB 3G	1920x1080P RGB 3G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		
			1920x1080PsF			1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G			

Project			Monitoring > Output Format		出力フォーマット					
Project	Frame Rate	Imager Mode	SxS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	SDI 1	SDI 2	SDI 3	SDI 4	
24	6K 3:2/	XAVC-I 4K Class480/ XAVC-I 4K Class300 / Rec Off	XAVC-I 4K Class480/	4096x2160P 6G	—	4096x2160P YPbPr 6G	4096x2160P YPbPr 6G	無出力	無出力	
	6K 1.85:1/		XAVC-I 4K Class300/	4096x2160P 2SI	—	4096x2160P YPbPr 3G		無出力	無出力	
	6K 17:9/		Rec Off	4096x2160P Square	4096x2160P Square	4096x2160P YPbPr 1.5G				
	6K 2.39:1/									
	4K 6:5/4K 4:3/			2048x1080P	1920x1080P	2048x1080PsF YPbPr 1.5G	2048x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	
	4K 17:9/									
	4K 2.39:1 ¹⁾									
					1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G
					1920x1080PsF		1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G		
	6K 3:2/			ProRes 422 HQ HD P/	1920x1080P		1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G
	6K 1.85:1/			ProRes 422 HD P/		1920x1080P				
	6K 17:9/			ProRes 422 Proxy HD P		1920x1080PsF	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G		
	6K 2.39:1/									
	5.7K 16:9/									
	4K 6:5/4K 4:3/									
4K 17:9/		ProRes 4444 HD P ⁴⁾	1920x1080P RGB	1920x1080P	1920x1080P RGB 3G	1920x1080P RGB 3G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		
3.8K 16:9										
3.8K 16:9		Rec Off	3840x2160P 6G	—	3840x2160P YPbPr 6G	3840x2160P YPbPr 6G	無出力	無出力		
			3840x2160P Square	3840x2160P Square	3840x2160P YPbPr 1.5G					
			3840x2160P 2SI	—	3840x2160P YPbPr 3G	3840x2160P YPbPr 3G	無出力	無出力		
			1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		
			1920x1080PsF		1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G				

Project			Monitoring > Output Format		出力フォーマット						
Project	Frame Rate	Imager Mode	SxS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	SDI 1	SDI 2	SDI 3	SDI 4		
23.98	6K 3:2/	6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 5.7K 16:9 ²⁾ / 4K 6:5/4K 4:3/ 4K 17:9/ 4K 2.39:1 ¹⁾	XAVC-I 4K Class480/	4096x2160P 6G	—	4096x2160P YPbPr 6G	4096x2160P YPbPr 6G	無出力	無出力		
			XAVC-I 4K Class300/	4096x2160P 2SI	—	4096x2160P YPbPr 3G		無出力	無出力		
			Rec Off	4096x2160P Square	4096x2160P Square	4096x2160P YPbPr 1.5G					
				2048x1080P	1920x1080P	2048x1080PsF YPbPr 1.5G	2048x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		
				1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		
				1920x1080PsF		1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G				
				5.7K 16:9 ³⁾ / 3.8K 16:9	XAVC-I QFHD Class480/ XAVC-I QFHD Class300/	3840x2160P 6G	—	3840x2160P YPbPr 6G	3840x2160P YPbPr 6G	無出力	無出力
				Rec Off	3840x2160P 2SI	—	3840x2160P YPbPr 3G		無出力	無出力	
					3840x2160P Square	3840x2160P Square	3840x2160P YPbPr 1.5G				
					1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	
			1920x1080PsF		1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G					
			6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 5.7K 16:9/ 4K 6:5/4K 4:3/ 4K 17:9/ 3.8K 16:9	MPEG 1920x1080P/ ProRes 422 HQ HD P/ ProRes 422 HD P/ ProRes 422 Proxy HD P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		
				1920x1080PsF		1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF YPbPr 1.5G				
			ProRes 4444 HD P ⁴⁾	1920x1080P RGB	1920x1080P	1920x1080P RGB 3G	1920x1080P RGB 3G	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P YPbPr 1.5G		

¹⁾ 4K 2.39:1をImager Modeに選択した場合は、SxS Rec FormatはRec Offとなります。

²⁾ SDI 1/2およびSDI 3/4に4096x2160Pを設定できません。

³⁾ SDI 1/2およびSDI 3/4に3840x2160Pを設定できます。

⁴⁾ 以下の有効画サイズでのみ設定可能です。

5.7K 16:9
4K 6:5
4K 4:3
3.8K 16:9

【ご注意】

SxS Rec Formatが以下に設定されていて、AXS Rec FormatがRec Off以外に設定されている場合は、4096x2160Pまたは3840x2160P SDIの設定および出力が可能です。

MPEG HD422 P

MPEG HD422 i

FHD ProRes 422 HQ P

FHD ProRes 422 HQ i

FHD ProRes 422 P
 FHD ProRes 422 i
 FHD ProRes 422 Proxy P
 FHD ProRes 422 Proxy i

MONITOR OUT端子/HDMI OUT端子の出力フォーマット

MONITOR OUT端子、HDMI OUT端子からのデジタル信号は、メニューのProjectカテゴリとMonitoringカテゴリの設定に応じて出力されます。
 Projectカテゴリの設定組み合わせに関しては「記録フォーマット設定表」(55ページ)を参照してください。

太字とアンダーラインで表示されている設定値は、出荷時の設定です。

Project		Monitoring > Output Format				出力フォーマット							
Project	Frame Rate	Imager Mode	SxS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out	HDMI				
59.94/50	6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 4K 4:3/ 4K 6:5/ 4K 17:9/ 4K 2.39:1	XAVC-I 4K Class300/ Rec Off		4096x2160P 12G	—	1920x1080P Level A	4096x2160P <u>1920x1080P</u>	1920x1080P YPbPr 3G Level A	4096x2160P				
						<u>1920x1080i</u>	4096x2160P <u>1920x1080i</u>		1920x1080i YPbPr 1.5G	4096x2160P			
						4096x2160P 2SI	4096x2160P 2SI	1920x1080P Level A		4096x2160P <u>1920x1080P</u>	1920x1080P YPbPr 3G Level A	4096x2160P	
								<u>1920x1080i</u>	4096x2160P <u>1920x1080i</u>	1920x1080i YPbPr 1.5G		4096x2160P	
						4096x2160P Square	4096x2160P Square	1920x1080P Level A	1920x1080P		1920x1080P YPbPr 3G Level A	1920x1080P	
								<u>1920x1080i</u>	<u>1920x1080i</u>	1920x1080i YPbPr 1.5G		1920x1080i	
				2048x1080P	1920x1080P	1920x1080P Level A	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 3G Level A	1920x1080P				
						<u>1920x1080i</u>	<u>1920x1080i</u>		1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i			
				1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P Level A	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 3G Level A		1920x1080P			
						<u>1920x1080i</u>	<u>1920x1080i</u>		1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i			
											<u>1920x1080i</u>	<u>1920x1080i</u>	1920x1080i YPbPr 1.5G

Project		Monitoring > Output Format						出力フォーマット	
Project	Frame Rate	Imager Mode	SxS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out	HDMI
	5.7K 16:9/ 3.8K 16:9		XAVC-I QFHD Class300/ Rec Off	3840x2160P 12G	—	1920x1080P Level A	3840x2160P 1920x1080P	1920x1080P YPbPr 3G Level A	3840x2160P 1920x1080P
						1920x1080i	3840x2160P 1920x1080i	1920x1080i YPbPr 1.5G	3840x2160P 1920x1080i
				3840x2160P 2SI	3840x2160P 2SI	1920x1080P Level A	3840x2160P 1920x1080P	1920x1080P YPbPr 3G Level A	3840x2160P 1920x1080P
						1920x1080i	3840x2160P 1920x1080i	1920x1080i YPbPr 1.5G	3840x2160P 1920x1080i
				3840x2160P Square	3840x2160P Square	1920x1080P Level A	1920x1080P 1920x1080i	1920x1080P YPbPr 3G Level A	1920x1080P
						1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i
				1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P Level A	1920x1080P 1920x1080i	1920x1080P YPbPr 3G Level A	1920x1080P
						1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i
						1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i
	6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 5.7K 16:9/ 4K 4:3/ 4K 6:5/ 4K 17:9/ 3.8K 16:9		ProRes 422 HQ HD P/ ProRes 422 HD P/ ProRes 422 Proxy HD P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P Level A	1920x1080P 1920x1080i	1920x1080P YPbPr 3G Level A	1920x1080P
						1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i
			ProRes 422 HQ HD i/ ProRes 422 HD i/ ProRes 422 Proxy HD i	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i
			MPEG 1920x1080i			1920x1080i	1920x1080i	1920x1080i YPbPr 1.5G	1920x1080i
				1920x1080i	1920x1080i	—	720x480P ^{1) 2)}	無出力	720x480P
							720x576P ^{1) 3)}	無出力	720x576P
Project		Monitoring > Output Format						出力フォーマット	
Project	Frame Rate	Imager Mode	AXS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out	HDMI
47.95	6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 4K 4:3/ 4K 6:5/4K 17:9/ 4K 2.39:1		RAW SQ/ X-OCN XT/ X-OCN ST/ X-OCN LT/ Rec Off	4096x2160P Square	4096x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
				4096x2160P 2SI	4096x2160P 2SI				
				2048x1080P	1920x1080P				
				1920x1080P	1920x1080P				

Project			Monitoring > Output Format				出力フォーマット								
Project	Frame Rate	Imager Mode	SxS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out	HDMI						
29.97/25	6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 5.7K 16:9 ⁴⁾ / 4K 6:5/4K 4:3/ 4K 17:9/ 4K 2.39:1	XAVC-I 4K Class480/ <u>XAVC-I 4K Class300/</u> Rec Off		4096x2160P 6G	—	1920x1080P	4096x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G	4096x2160P						
							<u>1920x1080P</u>		1920x1080P						
							<u>1920x1080PsF</u>	4096x2160P	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	4096x2160P					
							<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF							
								1920x1080P	4096x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G	4096x2160P				
								<u>1920x1080P</u>	1920x1080P						
								4096x2160P 2SI	—		4096x2160P	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	4096x2160P		
								<u>1920x1080PsF</u>	<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF					
								4096x2160P Square	4096x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P		
								<u>1920x1080PsF</u>	<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF	1920x1080PsF				
								2048x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P		
								<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF				
								1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P		
								<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF				
5.7K 16:9 ⁵⁾ / 3.8K 16:9		XAVC-I QFHD Class480/ <u>XAVC-I</u> <u>QFHD Class300/</u> Rec Off		3840x2160P 6G	—	1920x1080P	3840x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G	3840x2160P						
							<u>1920x1080P</u>		1920x1080P						
							<u>1920x1080PsF</u>	3840x2160P	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	3840x2160P					
							<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF							
								1920x1080P	3840x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G	3840x2160P				
								<u>1920x1080P</u>	1920x1080P						
								3840x2160P 2SI	—		3840x2160P	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	3840x2160P		
								<u>1920x1080PsF</u>	<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF					
								3840x2160P Square	3840x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P		
								<u>1920x1080PsF</u>	<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF	1920x1080PsF				
								1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P		
								<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF				
						6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 5.7K 16:9/ 4K 6:5/4K 4:3/ 4K 17:9/ 3.8K 16:9		MPEG 1920x1080P/ ProRes 422 HQ HD P/ ProRes 422 HD P/ ProRes 422 Proxy HD P		1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
															1920x1080P
		<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF							1920x1080PsF YPbPr 1.5G	1920x1080PsF		
		<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF	1920x1080PsF	1920x1080PsF										
		ProRes 4444 HD P ⁶⁾	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P							1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P		
		<u>1920x1080P RGB</u>	<u>1920x1080PsF</u>	1920x1080PsF	1920x1080PsF										

Project			Monitoring > Output Format				出力フォーマット			
Project	Frame Rate	Imager Mode	SxS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out	HDMI	
24	6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 4K 6:5/4K 4:3/ 4K 17:9/ 4K 2.39:1	XAVC-I 4K Class480/ XAVC-I 4K Class300/ Rec Off		4096x2160P 6G	—	1920x1080P	4096x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G	4096x2160P	
							1920x1080		1920x1080P	
				4096x2160P 2SI	—	1920x1080P	4096x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G	4096x2160P	
							1920x1080P		1920x1080P	
				4096x2160P Square	4096x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P	
				2048x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P		1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
				1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P	
				1920x1080PsF					1920x1080P	
		6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 5.7K 16:9/ 4K 6:5/4K 4:3/ 4K 17:9/ 3.8K 16:9	ProRes 422 HQ HD P/ ProRes 422 HD P/ ProRes 422 Proxy HD P		1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
	1920x1080PsF									
			ProRes 4444 HD P ⁶⁾		1920x1080P RGB	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
		3.8K 16:9	Rec Off		3840x2160P 6G	—	1920x1080P	3840x2160P	1920x1080PsF YPbPr 1.5G	3840x2160P
								1920x1080P		1920x1080PsF
					3840x2160P Square	3840x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
					3840x2160P 2SI	—	1920x1080P	3840x2160P	1920x1080P YPbPr 1.5G	3840x2160P
								1920x1080P		1920x1080P
				1920x1080P	1920x1080P	1920x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P	
				1920x1080PsF				1920x1080P	1920x1080P	

Project			Monitoring > Output Format				出力フォーマット		
Project	Frame Rate	Imager Mode	SxS Rec Format	SDI 1/2	SDI 3/4	Monitor	HDMI	Monitor Out	HDMI
23.98	6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 5.7K 16:9 ⁴⁾ / 4K 6:5/4K 4:3/ 4K 17:9/ 4K 2.39:1	XAVC-I 4K Class480/ <u>XAVC-I 4K Class300/</u> Rec Off		4096x2160P 6G	—	1920x1080P	4096x2160P 1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	4096x2160P 1920x1080P
				4096x2160P 2SI	—	1920x1080P	4096x2160P 1920x1080P		1920x1080P YPbPr 1.5G
				4096x2160P Square	4096x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
				2048x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
				1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
				1920x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
				3840x2160P 6G	—	1920x1080P	3840x2160P 1920x1080P	1920x1080 YPbPr 1.5G	3840x2160P 1920x1080P
	3840x2160P 2SI	—	1920x1080P	3840x2160P 1920x1080P	3840x2160P 1920x1080P				
	3840x2160P Square	3840x2160P Square	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P			
	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P			
	1920x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P			
	6K 3:2/ 6K 1.85:1/ 6K 17:9/ 6K 2.39:1/ 5.7K 16:9/ 4K 6:5/4K 4:3/ 4K 17:9/ 3.8K 16:9	MPEG 1920x1080P/ ProRes 422 HQ HD P/ ProRes 422 HD P/ ProRes 422 Proxy HD P		1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G	1920x1080P
				1920x1080PsF	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P		
				ProRes 4444 HD P ⁶⁾	1920x1080P RGB	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080P YPbPr 1.5G

¹⁾ AXS Rec FormatがRec Offに設定されているときに、フルメニューのTechnical > System Configuration > SD HDMIをOnにすると設定されます。

²⁾ Project Frame Rateが59.94のとき。

³⁾ Project Frame Rateが50.0のとき。

⁴⁾ SDI 1/2およびSDI 3/4に4096x2160Pを設定できません。

⁵⁾ SDI 1/2およびSDI 3/4に3840x2160Pを設定できます。

⁶⁾ 以下の有効画サイズでのみ設定可能です。

- 5.7K 16:9
- 4K 6:5
- 4K 4:3
- 3.8K 16:9

[ご注意]

SxS Rec Formatが以下に設定されていて、AXS Rec FormatがRec Off以外に設定されている場合は、4096x2160Pまたは3840x2160P SDIの設定および出力が可能です。

MPEG HD422 P

MPEG HD422 i

FHD ProRes 422 HQ P
FHD ProRes 422 HQ i
FHD ProRes 422 P
FHD ProRes 422 i
FHD ProRes 422 Proxy P
FHD ProRes 422 Proxy i

エラー / 警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、サブディスプレイ画面にメッセージ表示、RECランプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

本機の電源起動時に、一定期間イメージセンサーの自動調整 (APR) を実行していない場合は、APRの実行を促すメッセージがサブディスプレイ画面に表示されます。この場合は、表示される指示に従って、APR (90ページ) を実行してください。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

警告表示内容	警告音	RECランプ	原因と対策
E+エラーコード	断続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。ビューファインダー・モニター画面上に●RECと表示されていても記録は止まっています。電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。(電源スイッチをOFFにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源も外してください。)

警告表示

次のような表示が出た場合は、次表に従って対処してください。

警告表示内容	警告音	RECランプ	原因と対策
Media Full ¹⁾	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。交換してください。
Battery End ¹⁾	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
Temperature High ¹⁾	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。

警告表示内容	警告音	RECランプ	原因と対策
Insufficient Voltage ¹⁾	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます。記録はできません。他の電源に接続し直してください。
EXT. I/F Signal Error	断続音	高速点滅	拡張ユニット取り付け端子内の信号にエラーを検出しました。AXS-R7等との接続状態を確認してください。
AXS Firmware Mismatch	連続音	高速点滅	AXS-R7が正しく動作出来ません。AXS-R7のバージョンアップをしてください。
AXS Recorder Temp. High ¹⁾	断続音	高速点滅	AXS-R7の内部温度が上昇しました。いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
Lens Signal Error	—	—	拡張ユニット取り付け端子内の信号にエラーを検出しました。レンズ等との接続状態を確認してください。

¹⁾ モニター画面にはメッセージは表示されません。

温度に関する警告表示について

動作モードや周囲環境によっては、本機の動作保証温度範囲内であってもTemperature HighまたはAXS Recorder Temp. Highが表示されることがあります。これらの警告が表示されても直ちに記録が止まることはありませんが、早めに上記の原因と対策の指示に従って対応してください。

注意・動作確認表示

モニター画面もしくはサブディスプレイ上に次のような注意・動作確認表示が現れたり、警告アイコンが表示され、メニューのInfoカテゴリー > Camera Conditionに次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
Battery Error Please Change Battery	バッテリーパックに異常が検出されました。正常なバッテリーパックに交換してください。
Backup Battery End Please Change	バックアップ電池の残量が不足しています。バックアップ電池を交換してください。
Cannot Use SxS(A)* Please Change	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。本機では使用できませんので、交換してください。

表示内容	原因と対策
Cannot Use SxS(A)* Unsupported File System	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
Media Error SxS(A)* Needs to be Restored	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。メモリーカードの修復を行ってください。
SxS(A)* Error Recording Stopped Playback Stopped	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
Input AES/EBU is Invalid Emphasis	AES/EBU入力に対応していないEmphasis信号が入力されました。本機は50u-15u Emphasisにのみ対応しています。
Input AES/EBU is not Pro Use	AES/EBU入力に、Professional Use以外の信号が入力されました。本機はProfessional Useにのみ対応しています。
Fan Stopped	本体内のファンが停止しています。高温下での使用を避け、電源を切ってソニーのサービス担当者に連絡してください。
AXS Recorder Fan Stopped	本機に接続されたAXS-R7内のファンが停止しています。高温下での使用を避け、AXS-R7を本機から取り外してソニーのサービス担当者に連絡してください。
Unsupported FPS Change AXS(A) to AXS S48 Memory	使用できないAXS Memoryが検出されました。記録できませんので、AXSメモリーカードに記録するフォーマットを変更するか、AXS-A512S48またはAXS-A1TS48に交換してください。
Abnormal Lens Communication Please Check "Lens IF" Setting	接続されたレンズの種類が本機の設定と合っていない。メニューのTechnical > Lens Configuration > PL-Mt Interface Positionの設定を確認してください。
Please Execute APR	一定期間イメージセンサーの自動調整 (APR) を実行していません。MENUダイヤルを押して、APRを実行してください。
XXXX License Yday Remaining (XXXX：ライセンスの種類、Y：残り日数)	期間限定ライセンス付ソフトウェアオプションの有効期限が残り2日を切りました。

表示内容	原因と対策
Lens I/F Error	Eマウントレンズ装着時にレンズI/F通信でレンズの不具合が検出されました。Eマウントレンズとの接続状態を確認してください。
AXS Rec Format was changed.	AXS記録フォーマットが変更されました。AXS Rec FormatとSxS Rec Formatの組み合わせ (55ページ) を確認してください。
SxS Rec Format was changed.	SxS記録フォーマットが変更されました。AXS Rec FormatとSxS Rec Formatの組み合わせ (55ページ) を確認してください。
FPS was set to Fixed.	可変速撮影から等速撮影に切り換わりました。1スロット同時記録設定時に可変速撮影はできません。
Sub Rec was set to Off.	SxSサブ記録フォーマットがオフになりました。可変速撮影あるいはピクチャーキャッシュモードでは、1スロット同時記録はできません。
Set the "Password" of "Authentication".	Technicalメニュー > Authentication > Password (88ページ) が未設定なので設定してください。

* SxSメモリーカードスロットBに入れたSxSカードの場合はSxS(B)、AXS-R7上のAXSメモリーカードスロットAに入れたAXSカードの場合はAXS(A)、AXSメモリーカードスロットBに入れたAXSカードの場合はAXS(B)が表示されます。

ファイルに保存される項目

表凡例

○：保存する

×：保存しない

—：保存しない(一時的動作メニュー)

Shootingメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
FPS	Fixed/Variable Select	○	×
	FPS Select	○	×
Shutter ¹⁾	Shutter Select	○	○
	Step/Cont. Select	○	○
	Add/Change Step	—	—
	Delete Step	—	—
ND	ND Position	○	○
Exposure Index	EI Select	○	○
Gain	Gain Select	○	○
White Balance ¹⁾	Color Temp. Select	○	○
	Add/Change Step	—	—
	Delete Step	—	—
	Auto White Balance	—	—
LUT Select	SDI 1/2	—	—
	SDI 3/4	○	×
	Monitor	○	×
	HDMI	—	—
	VF LUT	○	×
	SxS Rec	○	×
	Sub Rec	○	×
	SDR Gain	○	×

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Look	Category	○	×
	Preset Look Select	○	×
	ACES Select	○	×
	User 3D LUT Select	○	×
	ART Select	○	×
	ART Information	—	—
	ASC CDL Process	○	×
	ASC CDL Select	○	×
	ASC CDL Information	—	—
	Look File	Load User 3D LUT	—
Reset User 3D LUT		—	—
Reset All User 3D LUTs		—	—
Load ART		—	—
Reset ART		—	—
Reset All ARTs		—	—
Load ASC CDL		—	—
Reset ASC CDL		—	—
Reset All ASC CDLs		—	—
Flicker Reduce		Mode	○
	Frequency	○	×

¹⁾ ユーザーが追加・編集した選択肢も保存されます。

Projectメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Basic Setting	Imager Mode	○	×
	Project Frame Rate	○	×
	Input Color Space	○	○
	AXS Rec Format	○	×
	SxS Rec Format	○	×
	Sub Rec Format	○	×
	Base ISO	○	○
	SxS/Output De-Squeeze	○	×
Special Recording	Cache Rec Select	○	×
	Max Cache Rec Duration	○	×
Assignable Button	<1>	○	×
	<2>	○	×
	<3>	○	×
	<4>	○	×
	<5>	○	×
	<6>	○	×
	<7>	○	×
	<VF A>	○	×
	<VF B>	○	×
	<VF C>	○	×
	<User 1>	○	×
	<User 2>	○	×
	<User 3>	○	×
<User 4>	○	×	
<User 5>	○	×	
All File	Load SD Card	—	—
	Save SD Card	—	—
	File ID	○	×
	Format SD Card	—	—

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Scene File	Recall Internal Memory	—	—
	Store Internal Memory	—	—
	Load SD Card	—	—
	Save SD Card	—	—
	File ID	×	○
User Gamma	Current Settings	—	—
	Load SD Card	—	—
	Reset	—	—

TC/Mediaメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Timecode	Mode	○	×
	Manual Setting	—	—
	Reset	—	—
	TC Format	○	×
	TC Source	—	—
	Time Data Display	○	×
Clip Name Format	Camera ID ¹⁾	○	×
	Reel Number ¹⁾	○	×
	Camera Position ¹⁾	○	×
	SxS Root Folder Name	○	×
Format Media	AXS Slot A	—	—
	AXS Slot B	—	—
	SxS Slot A	—	—
	SxS Slot B	—	—
	SD Card	—	—
	Update Media	—	—
Update Media	AXS Slot A	—	—
	AXS Slot B	—	—
	SxS Slot A	—	—
	SxS Slot B	—	—

¹⁾ All Fileを読み込んだ際も本機内部に保存されているデータは上書きされません。

Monitoringメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Output Format	SDI 1/2	○	×
	SDI 3/4	○	×
	Monitor	○	×
	HDMI	○	×
OSD Appearance	VF	○	×
	SDI	○	×
	SDI 1/2		
	SDI 3/4		
	Monitor	○	×
	HDMI	—	—
Monitor Display	Status Info A/B Setup	○	×
	Frame Line A/B Setup	○	×
	Focus Distance Format	○	×
Frame Line	Monitor Magnifier Ratio	○	×
	Center Marker	○	×
	Aspect Ratio	○	×
	Aspect Safety Zone	○	×
	Safety Zone	○	×
	Color	○	×
	Surround View Type	○	×
	Aspect Ratio Type	○	×
	Mask Level	○	×
	Frame Line on Playback	○	×
	User Frame Line 1	Select	○
Preset Aspect Ratio		○	×
Scaling		○	×
Preset Aspect Ratio Type		○	×
Aspect Ratio(Pixels)		—	—
Width		○	×
Height		○	×
H Position		○	×

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
User Frame Line 1	V Position	○	×
	Variable Aspect Type	—	—
User Frame Line 2	Select	○	×
	Preset Aspect Ratio	○	×
	Scaling	○	×
	Preset Aspect Ratio Type	—	—
	Aspect Ratio(Pixels)	—	—
	Width	○	×
	Height	○	×
	H Position	○	×
	V Position	○	×
	Variable Aspect Type	—	—

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
False Color	Level	○	×
	Red	○	×
	Red Upper Limit	○	×
	Red Lower Limit	○	×
	Yellow	○	×
	Yellow Upper Limit	○	×
	Yellow Lower Limit	○	×
	Orange	○	×
	Orange Upper Limit	○	×
	Orange Lower Limit	○	×
	Pink	○	×
	Pink Upper Limit	○	×
	Pink Lower Limit	○	×
	Light Pink	○	×
	Light Pink Upper Limit	○	×
	Light Pink Lower Limit	○	×
	Cyan	○	×
	Cyan Upper Limit	○	×
	Cyan Lower Limit	○	×
	Green	○	×
	Green Upper Limit	○	×
	Green Lower Limit	○	×
	Light Blue	○	×
	Light Blue Upper Limit	○	×
	Light Blue Lower Limit	○	×
	Blue	○	×
	Blue Upper Limit	○	×
	Blue Lower Limit	○	×
	Purple	○	×
	Purple Upper Limit	○	×
Purple Lower Limit	○	×	
Reset	—	—	

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
VF Display	VF LUT	○	×
	Status Info	○	×
	Frame Line	○	×
	VF Magnifier Ratio	○	×
	Color	○	×
	SDR Gain	○	×
VF Function	Double Speed Scan	○	×
	Peaking Frequency	○	×
	Zebra	○	×
	Zebra Select	○	×
	Zebra1 Level	○	×
	Zebra1 Aperture Level	○	×
	Zebra2 Level	○	×
	Assign<VF A>	○	×
	Assign<VF B>	○	×
Assign<VF C>	○	×	

Audioメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Audio Input	CH-1 Audio Select	○	×
	CH-2 Audio Select	○	×
	CH-1 Audio Level	○	×
	CH-2 Audio Level	○	×
	MIC Reference	○	×
Audio Monitor	Monitor CH	○	×
	Monitor Level	○	×
Audio Configuration	Alarm Level	○	×
	Input Limiter Mode	○	×
	AGC Level	○	×
	AGC Mono/Stereo	○	×
	MIC Input Mono/Stereo	○	×
	Phantom Power +48V	○	×
	Monitor Output CH Pair	○	×
	Headphone Mono/ST	○	×

Paintメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Black	Master Black	○	○
	R Black	○	○
	B Black	○	○
Flare	Setting	○	○
	Master Flare	○	○
	R Flare	○	○
	G Flare	○	○
	B Flare	○	○
Gamma	Setting	○	○
	Gamma Category	—	—
	Gamma Select	○	○
Black Gamma	Setting	○	○
	Range	○	○
	Master Black Gamma	○	○
Knee	Setting	○	○
	Point	○	○
	Slope	○	○
White Clip	Setting	○	○
	Level	○	○

項目	細目	保存先ファイル		
		All	Scene	
Detail	Setting	○	○	
	Level	○	○	
	H/V Ratio	○	○	
	Crispening	○	○	
	Level Depend	○	○	
	Level Depend Level	○	○	
	Frequency	○	○	
	Knee Aperture	○	○	
	Knee Aperture Level	○	○	
	Limit	○	○	
	White Limit	○	○	
	Black Limit	○	○	
	Matrix	Setting	○	○
		User Matrix	○	○
User Matrix R-G		○	○	
User Matrix R-B		○	○	
User Matrix G-R		○	○	
User Matrix G-B		○	○	
Multi Matrix	Setting	○	○	
	Area Indication	×	×	
	Reset	—	—	
	Axis	×	×	
	Hue	○	○	
	Saturation	○	○	

Technicalメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Test Signals	Color Bars	○	×
	Color Bars Type	○	×
	1kHz Tone on Color Bars	○	×
	Test Saw	○	×
	Test Type	○	×
Switch & Rec Light	Lock Operator Side	○	×
	Lock Assistant Side	○	×
	Rec Light	○	×
	Rec Start/Stop Beep	○	×
System Configuration	Fan Control	○	×
	RM/RCP Paint Control	○	×
	SDI Rec Remote Trigger	○	×
	3G SDI 1/2/3/4 Output	○	×
	SD HDMI	○	×
	Shutter Mode	○	○
	Media Near Full Alarm	○	×
Special Configuration	Flip Image	○	×
	Audio/Video Delay	○	×
	NR(4K 17:9/16:9 AXS)	○	○
	Level Gauge Adjust	—	—
	Level Gauge Reset	—	—
	3620XS Lev. Gauge Adj.	—	—
	3620XS Lev. Gauge Rst.	—	—
	360° Shutter Setting	○	×
	360° Shutter Setting	○	×
Lens Configuration	PL-Mt Interface Position	○	×
	Lens 12pin	○	×
	E-Mount Shading Comp.	○	×
	E-Mt Chro. Aber. Comp.	○	×
Authentication	User Name	×	×
	Password	×	×

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Network	Setting	○	×
	LAN	○	×
	Wireless	○ ¹⁾	×
APR	APR	—	—
	Reset	—	—
Battery	Near End:Info Battery	○	×
	End:Info Battery	○	×
	Near End:Sony Battery	○	×
	End:Sony Battery	○	×
	Near End:Other Battery	○	×
	End:Other Battery	○	×
	Detected Battery	—	—
DC Voltage Alarm	DC Low Voltage1	○	×
	DC Low Voltage2	○	×
	DC(24V) Low Voltage1	○	×
	DC(24V) Low Voltage2	○	×
	DC(24V) Low Voltage2	○	×
Control Display	Brightness level	○	×
Genlock	Input Source	○	×
	Reference Lock Type	—	—

¹⁾ 以下の項目は保存されません。

- Scan Networks
- SSID
- Password
- WPS
- MAC Address
- Regenerate Password

Maintenanceメニュー

項目	細目	保存先ファイル	
		All	Scene
Clock Set	Time Zone	○	×
	Date Mode	○	×
	Date	—	—
	Time	—	—
Language	Select	○	×
Hours Meter	Camera(System)	—	—
	R7 Recorder(System)	—	—
	Camera(Resettable)	—	—
	R7 Recorder(Resettable)	—	—
	Reset-Cam(Resettable)	—	—
	Reset-R7(Resettable)	—	—
Reset to Default	Reset	—	—
Network Reset	Reset	—	—
License Options	Install: xxx	—	—
	Anamorphic	—	—
	Full-Frame	—	—
	High Frame Rate	—	—
	Unique Device ID	—	—
Firmware	Camera	—	—
	AXS	—	—
	FW Update-camera	—	—
	FW Update-AXS-R7	—	—

[ご注意]

Technicalメニュー > System Configuration > RM/RCP Paint Control (87ページ) がOnに設定されている場合は、以下のリモートコントロールユニットの操作項目 (115ページ) もALL Fileに保存されます。

- Black
- Flare
- Gamma ¹⁾
- Black Gamma ¹⁾
- Gain

¹⁾ S-Log3のときを除く。

記録・出力メタデータ一覧

表凡例

Opt: 情報が取得できた場合のみ記述

○: 記述する

—: 記述しない

項目	RAW Viewerでの表記例	RAW/ X-OCN MXF	RAW/ X-OCN XML	XAVC	XAVC XML	ProRes	ProRes XML	MPEG HD	MPEG HD XML	HD-SDI
Creation Date	2019-10-29 11:04:05	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Last Update	2019-10-30 11:04:05	—	○	○	○	○	○	○	○	—
UMID	060A2B340101010501010D4313000000070BF41 D2F494EB7A16DD045A68CDF2E	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Start	03:36:29:20	○	○	○	○	○	○	○	○	—
End	03:36:32:19	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Duration	00:00:03:00	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Poster Frame		—	—	—	—	—	—	—	—	—
Recording Mode		—	○	—	○	—	○	—	○	—
Drop Frame	NDF	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Camera	VENICE/CineAltaV	○	○	○	○	—	○	○	○	—
Video Codec	X-OCN XT	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Resolution	6048x4032	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Aspect Ratio	3:2	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Format FPS	23.98p	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Capture FPS	23.98p	○	○	○	○	—	○	○	○	—
Flip	normal	—	○	—	—	—	—	—	—	—
Number of Audio Channels	4	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Audio Codec	LPCM	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Audio Bit Depth	24	○	○	○	○	○	○	○	○	—
Audio Sampling Rate	48000	○	○	○	—	○	—	○	—	—
Auto Exposure Mode	ManualExposureMode	○	—	○	—	—	—	○	—	○
Exposure Index	500	○	○	○	—	○	—	○	—	○
Auto Focus Sensing Area Setting	ManualFocusMode	Opt	—	Opt	—	—	—	Opt	—	Opt
ND Filter Wheel	1/4	○	○	○	—	—	—	○	—	○
Image Sensor Dimension Effective Width	35925um	○	—	○	—	—	—	○	—	○
Image Sensor Dimension Effective Height	23950um	○	—	○	—	—	—	○	—	○
Image Sensor Readout Mode	ProgressiveFrame	○	○	○	—	—	—	○	—	○
Shutter Speed Angle	172.50deg	○	○	○	—	—	—	○	—	○

項目	RAW Viewerでの表記例	RAW/ X-OCN MXF	RAW/ X-OCN XML	XAVC	XAVC XML	ProRes	ProRes XML	MPEG HD	MPEG HD XML	HD-SDI
Shutter Speed Time	1/50sec	○	—	○	—	—	—	○	—	○
Camera Master Gain Adjustment	0.00dB	○	—	○	—	—	—	○	—	○
ISO Sensitivity	500	○	○	○	—	○	—	○	—	○
Electrical Extender Magnification	100%	○	—	○	—	—	—	○	—	○
Auto White Balance Mode	PresetWhiteBalanceSetup	○	—	○	—	○	—	○	—	○
White Balance	5500	○	○	○	—	○	—	○	—	○
Tint Correction	0.00000	○	—	○	—	—	—	—	—	○
Camera Master Black Level	3.0%	—	—	○	—	—	—	○	—	○
Capture Gamma Equation	scene-linear	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Gamma for CDL	rec709	○	○	○	—	○	—	○	—	○
Color Primaries (Capture Color Primaries)		—	—	○	○	○	—	—	—	○
Camera Attributes	MPC-3610999999Version5.00	○	○	○	—	—	—	—	—	○
Effective Marker Aspect Ratio	6048:3202	○	○	○	—	—	—	—	—	○
User Frame Line 1	1920x1080+0+0	○	—	○	—	—	—	—	—	○
User Frame Line 2	1920x1080+0+0	○	—	○	—	—	—	—	—	○
Active Area Aspect Ratio	6048:4032	○	○	○	—	—	—	—	—	○
Pixel Aspect Ratio	1:1	○	○	○	—	○	—	—	—	○
Image Orientation	normal	○	—	○	—	—	—	—	—	○
Raw Black Code	512	○	○	—	—	—	—	—	—	—
Raw Gray Code	1504	○	○	—	—	—	—	—	—	—
Raw White Code	5472	○	○	—	—	—	—	—	—	—
Gamma for Look	s-log3-cine	○	○	○	—	—	—	—	—	○
Color for Look	s-gamut3-cine	○	○	○	—	—	—	—	—	○
Pre-CDL Transform	LUT:SL3SG3Ctos709.cube	○	○	○	—	—	—	—	—	○
Post-CDL Transform	none	○	○	○	—	—	—	—	—	○
Look Process Baked	false	○	○	○	—	—	—	—	—	○
Monitoring Characteristics	rec709	○	○	○	—	—	—	—	—	○
Monitoring Base Curve	rec709	○	○	○	—	○	—	—	—	○
Monitoring Color Primaries	rec709	○	○	○	—	—	—	—	—	○
Monitoring Coding Equations	rec709	○	○	○	—	—	—	—	—	○
Monitoring Descriptions	LUT:SL3SG3Ctos709.cube	○	○	○	—	○	—	—	—	○
Camera Tilt Angle	2.70000	○	—	○	—	—	—	—	—	○
Camera Roll Angle	1.30000	○	—	○	—	—	—	—	—	○

ライセンスについて

MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG 4 VIDEOといいます）にエンコードすること。
- (ii) MPEG-4 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLCのホームページ（[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)）をご参照ください。

MPEG LAは、(i) MPEG-4 Visualビデオ情報を記録した媒体（PACKAGED MEDIA）を製造し、販売する行為、(ii) MPEG-4 Visualビデオ情報を何らかの方法（オンラインビデオ配信サービス、インターネット放送、TV放送など）で配信・放送する行為について、ライセンスを提供しています。

その他の使用方法につきましても、MPEG LAからのライセンス取得が必要な場合があります。詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。

MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206
ホームページ： <http://www.mpegla.com>

MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。
- (ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLCのホームページをご参照ください。

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。
<http://www.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンスの内容に関しては、本機をネットワークに接続して、Webリモコン画面のOSS Information画面（103ページ）をご覧ください。

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスの内容に関しては、本機をネットワークに接続して、Webリモコン画面のOSS Information画面（103ページ）をご覧ください。

END USER LICENSE AGREEMENT

Last Updated: 2022-9

IMPORTANT:

BEFORE USING THE SOFTWARE, PLEASE READ THIS END USER LICENSE AGREEMENT ("EULA") CAREFULLY. BY USING THE SOFTWARE YOU ARE AGREEING TO BE BOUND BY THE TERMS OF THIS EULA. IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS OF THIS EULA, YOU MAY NOT USE THE SOFTWARE.

This EULA is a legal agreement between (i) you and any entity you represent (collectively "you") and (ii) Sony Corporation ("SONY"). This EULA governs your rights and obligations regarding the product software of SONY and/or its third party licensors (including SONY' s affiliates) and their respective affiliates (collectively, the "THIRD-PARTY SUPPLIERS"), together with any updates/upgrades, any printed, on-line or other electronic documentation for such software and any data files, each provided by SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS, or created by operation of such software (collectively, the "SOFTWARE").

Notwithstanding the foregoing, any software in the SOFTWARE having a separate end user license agreement (including, but not limited to, GNU General

Public License and Lesser/Library General Public License) shall be covered by such applicable separate end user license agreement in lieu of the terms of this EULA to the extent required by such separate end user license agreement ("EXCLUDED SOFTWARE").

SOFTWARE LICENSE

The SOFTWARE is licensed, not sold. The SOFTWARE is protected by copyright and other intellectual property laws and international treaties.

COPYRIGHT

All right and title in and to the SOFTWARE (including, but not limited to, any images, photographs, animation, video, audio, music, text and "applets" and other content incorporated into the SOFTWARE) is owned by SONY or one or more of the THIRD-PARTY SUPPLIERS.

GRANT OF LICENSE

SONY grants you a limited, non-exclusive, personal, non-transferable license to use the SOFTWARE solely in connection with your compatible device (including, but not limited to, SONY' s products which the SOFTWARE is embedded in or bundled with) ("DEVICE") solely in accordance with this EULA and the usage instructions as may be made available to you by SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS. SONY and the THIRD-PARTY SUPPLIERS expressly reserve

all rights, title and interest (including, but not limited to, all intellectual property rights) in and to the SOFTWARE that this EULA does not specifically grant to you.

REQUIREMENTS AND LIMITATIONS

You may not copy, publish, adapt, redistribute, attempt to derive source code, modify, reverse engineer, decompile, or disassemble any of the SOFTWARE, whether in whole or in part, or create any derivative works from or of the SOFTWARE unless such derivative works are intentionally facilitated by the SOFTWARE. You may not modify or tamper with any digital rights management functionality of the SOFTWARE. You may not bypass, modify, defeat or circumvent any of the functions or protections of the SOFTWARE or any mechanisms operatively linked to the SOFTWARE. You may not separate any individual component of the SOFTWARE for use on more than one DEVICE unless expressly authorized to do so by SONY. You may not remove, alter, cover or deface any trademarks or notices on the SOFTWARE. You may not share, distribute, rent, lease, sublicense, assign, transfer or sell the SOFTWARE. You may not use the SOFTWARE in connection with violation of laws, regulations, court decisions or other legally binding dispositions by a public authority or public policy, or infringement of the rights or legally protected interests (including, but not limited to, intellectual and other property rights, rights to trade

secrets, honors, privacy and publicity) of SONY, each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS or any third parties. The software, network services or other products other than the SOFTWARE upon which the SOFTWARE' S performance depends might be modified, interrupted or discontinued at the discretion of the suppliers (software suppliers, service suppliers, or SONY). SONY and such suppliers do not warrant that the SOFTWARE, network services, contents or other products will continue to be available, or will operate without interruption or modification. You shall not, nor shall you instruct or permit, procure, enable or request any third party (including your users, third party personnel or other personnel, staff or contractors) to, take any action designed or intended to: (i) use the SOFTWARE (or any part thereof) in any manner or for any purpose that is inconsistent with this EULA; (ii) introduce to the SOFTWARE any "back door," "drop dead device," "time bomb," "Trojan horse," "virus," or "worm" (as such terms are commonly understood in the software industry) or any other equivalent code, files, scripts, agents, programs, software routine or instructions designed or intended to disrupt, disable, harm or otherwise impede in any manner the operation of the SOFTWARE or any device or system owned or controlled by you or any third party, or which otherwise may damage or destroy any data or file ("Malicious Code");

(iii) interfere with the proper working of the SOFTWARE; (iv) circumvent, disable, or interfere with security-related features of the SOFTWARE or features that prevent or restrict use, access to, or copying the SOFTWARE, or that enforce limitations on use of the SOFTWARE; or (v) impose (or which may impose, in your sole discretion) an unreasonable or disproportionately large load on the SOFTWARE.

EXCLUDED SOFTWARE AND OPEN SOURCE COMPONENTS

Notwithstanding the foregoing limited license grant, you acknowledge that the SOFTWARE may include EXCLUDED SOFTWARE. Certain EXCLUDED SOFTWARE may be covered by open source software licenses ("Open Source Components"), which means any software licenses approved as open source licenses by the Open Source Initiative or any substantially similar licenses, including but not limited to any license that, as a condition of distribution of the software licensed under such license, requires that the distributor make the software available in source code format. If and to the extent disclosure is required, please visit oss.sony.net/Products/Linux or other SONY-designated web site for a list of applicable OPEN SOURCE COMPONENTS included in the SOFTWARE from time to time, and the applicable terms and conditions governing its use. Such terms and conditions may

be changed by the applicable third party at any time without liability to you. To the extent required by the licenses covering EXCLUDED SOFTWARE, the terms of such licenses will apply in lieu of the terms of this EULA. To the extent the terms of the licenses applicable to EXCLUDED SOFTWARE prohibit any of the restrictions in this EULA with respect to such EXCLUDED SOFTWARE, such restrictions will not apply to such EXCLUDED SOFTWARE. To the extent the terms of the licenses applicable to Open Source Components require SONY to make an offer to provide source code in connection with the SOFTWARE, such offer is hereby made.

USE OF SOFTWARE WITH COPYRIGHTED MATERIALS

The SOFTWARE may be capable of being used by you to view, store, process and/ or use content created by you and/ or third parties. Such content may be protected by copyright, other intellectual property laws, and/ or agreements. You agree to use the SOFTWARE only in compliance with all such laws and agreements that apply to such content. You acknowledge and agree that SONY may take appropriate measures to protect content stored, processed or used by the SOFTWARE. Such measures include, but are not limited to, refusal to accept your request to enable backup and restoration of content through certain SOFTWARE features, and termination of this EULA in

the event of your illegitimate use of the SOFTWARE.

CONTENT SERVICE

PLEASE ALSO NOTE THAT THE SOFTWARE MAY BE DESIGNED TO BE USED WITH CONTENT AVAILABLE THROUGH ONE OR MORE CONTENT SERVICES ("CONTENT SERVICE"). USE OF THE SERVICE AND THAT CONTENT IS SUBJECT TO THE TERMS OF SERVICE OF THAT CONTENT SERVICE. IF YOU DECLINE TO ACCEPT THOSE TERMS, YOUR USE OF THE SOFTWARE WILL BE LIMITED. You acknowledge and agree that certain content and services available through the SOFTWARE may be provided by third parties over which SONY has no control. WHERE CONTENT SERVICE IS NOT UNDER SONY'S CONTROL, SONY SHALL NOT BE LIABLE IN RESPECT OF ANY DAMAGES (OR OTHER LIABILITY) RELATED TO SUCH CONTENT SERVICE. USE OF THE CONTENT SERVICE REQUIRES AN INTERNET CONNECTION. THE CONTENT SERVICE MAY BE MODIFIED OR DISCONTINUED AT ANY TIME.

INTERNET CONNECTIVITY AND THIRD PARTY SERVICES

You acknowledge and agree that access to certain SOFTWARE features may require an Internet connection for which you are solely responsible. Further, you are solely responsible for payment of any fees associated with your Internet connection, including but not limited to Internet service

provider or airtime charges. Operation of the SOFTWARE may be limited or restricted depending on the capabilities, bandwidth or technical limitations of your Internet connection and service. The provision, quality and security of such Internet connectivity are your responsibility or that of the third party providing such service. You are solely responsible in the event any Malicious Code introduced in the SOFTWARE because of or through, your internet connections.

EXPORT AND OTHER REGULATIONS

You agree to comply with all applicable export and re-export restrictions and regulations of the area or country in which you reside or use the SOFTWARE, and not to transfer, or authorize the transfer, of the SOFTWARE to a prohibited country or otherwise in violation of any such restrictions or regulations.

HIGH RISK ACTIVITIES

The SOFTWARE is not fault-tolerant and is not designed, manufactured or intended for use or resale as on-line control equipment in hazardous environments requiring fail-safe performance, such as in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, direct life support machines, or weapons systems, in which the failure of the SOFTWARE could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental

damage ("HIGH RISK ACTIVITIES"). SONY, each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS, and each of their respective affiliates specifically disclaim any express or implied warranty, duty or condition of fitness for HIGH RISK ACTIVITIES.

EXCLUSION OF WARRANTY ON SOFTWARE

You acknowledge and agree that use of the SOFTWARE is at your sole risk and that you are responsible for use of the SOFTWARE. The SOFTWARE is provided "AS IS," without warranty, duty or condition of any kind.

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES, DUTIES OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, QUALITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ACCURACY, TITLE AND NONINFRINGEMENT. WITHOUT LIMITING THE GENERALITY OF THE FOREGOING, SONY DOES NOT WARRANT OR MAKE ANY CONDITIONS OR REPRESENTATIONS (A) THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN ANY OF THE SOFTWARE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS OR THAT THEY WILL BE UPDATED, (B) THAT THE OPERATION OF ANY OF THE SOFTWARE WILL BE CORRECT OR ERROR-FREE OR THAT ANY DEFECTS WILL BE CORRECTED, (C)

THAT THE SOFTWARE WILL NOT DAMAGE ANY OTHER SOFTWARE, HARDWARE OR DATA, (D) THAT ANY SOFTWARE, NETWORK SERVICES (INCLUDING THE INTERNET) OR PRODUCTS (OTHER THAN THE SOFTWARE) UPON WHICH THE SOFTWARE' S PERFORMANCE DEPENDS WILL CONTINUE TO BE AVAILABLE, UNINTERRUPTED, TIMELY, SECURE OR UNMODIFIED, (E) THAT THE SOFTWARE OR ANY EQUIPMENT, SYSTEM OR NETWORK ON WHICH THE SOFTWARE IS USED (INCLUDING THE DEVICE) WILL BE FREE OF VULNERABILITY TO INTRUSION OR ATTACK AND (F) REGARDING THE USE OR THE RESULTS OF THE USE OF THE SOFTWARE IN TERMS OF ITS CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, OR OTHERWISE.

NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY SONY OR AN AUTHORIZED REPRESENTATIVE OF SONY SHALL CREATE A WARRANTY, DUTY OR CONDITION OR IN ANY WAY INCREASE THE SCOPE OF THIS WARRANTY. SHOULD THE SOFTWARE PROVE DEFECTIVE YOU ASSUME THE ENTIRE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES, SO THESE EXCLUSIONS MAY NOT APPLY TO YOU TO THE EXTENT THEY ARE CONTRARY TO APPLICABLE LAW OF YOUR JURISDICTION.

LIMITATION OF LIABILITY

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, INDIRECT, SPECIAL, EXEMPLARY OR CONSEQUENTIAL LOSS OR DAMAGES FOR BREACH OF ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY, BREACH OF CONTRACT, NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY OR UNDER ANY OTHER LEGAL THEORY RELATED TO THE SOFTWARE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY DAMAGES ARISING OUT OF LOSS OF PROFITS, LOSS OF REVENUE, LOSS OF DATA, LOSS OF USE OF THE SOFTWARE OR ANY ASSOCIATED HARDWARE, DOWN TIME AND USER' S TIME, EVEN IF ANY OF THEM HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH LOSSES OR DAMAGES. IN ANY CASE, EACH AND ALL OF THEIR AGGREGATE LIABILITY UNDER ANY PROVISION OF THIS EULA SHALL BE LIMITED TO THE GREATER OF (i) THE AMOUNT ACTUALLY PAID FOR THE SOFTWARE, SONY' S PRODUCT WHICH THE SOFTWARE IS EMBEDDED IN OR BUNDLED WITH AND/OR SONY' S SERVICE TO WHICH THE SOFTWARE IS DEDICATED OR (ii) THE FIXED AMOUNT AGREED IN WRITING BETWEEN SONY AND YOU. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW SUCH EXCLUSIONS OR LIMITATIONS OF LIABILITY, SO THE ABOVE EXCLUSIONS OR LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU TO THE EXTENT THEY ARE CONTRARY TO

APPLICABLE LAW OF YOUR JURISDICTION.

INDEMNITY

Except as prohibited by applicable law, you agree to indemnify and hold harmless SONY and the THIRD-PARTY SUPPLIERS and their respective affiliates, officers and employees, from any loss, claim or demand, including reasonable attorneys' fees, made by any third party due to or arising out of your use of the SOFTWARE and/or the DEVICE (including, without limitation, any software vulnerability caused by such use), your violation of this EULA or your failure to fulfill your responsibility under this EULA.

AUTOMATIC UPDATE FEATURE

From time to time, SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS may automatically update or otherwise modify the SOFTWARE, including, but not limited to, for purposes of enhancement of security functions, error correction and improvement of functions, at such time as you interact with SONY' s or third parties' servers, or otherwise. Such updates or modifications may delete or change the nature of features or other aspects of the SOFTWARE, including, but not limited to, functions you may rely upon. You acknowledge and agree that such activities may occur at SONY' s sole discretion and that SONY may condition continued use of the SOFTWARE upon your complete installation or acceptance of such update or modifications. Any updates/

modifications shall be deemed to be, and shall constitute part of, the SOFTWARE for purposes of this EULA. By acceptance of this EULA, you consent to such update/modification.

FORCE MAJEURE

SONY shall not be liable for any delay or failure to perform resulting from causes outside its reasonable control, including, but not limited to, fire, floods, storms, earthquakes, epidemics, acts of God, war, terrorism, riots, insurrection, embargos, acts of civil, military or governmental authorities, nuclear or other accidents, explosions, strikes or shortages of transportation facilities, fuel, energy, labor or materials.

ENTIRE AGREEMENT, WAIVER, SEVERABILITY

This EULA (and SONY' s applicable privacy policy separately presented to you, if any), as amended and modified from time to time, constitute the entire agreement(s) between you and SONY with respect to the SOFTWARE. The failure of SONY to exercise or enforce any right or provision of this EULA shall not constitute a waiver of such right or provision. If any part of this EULA is held invalid, illegal, or unenforceable, that provision shall be enforced to the maximum extent permissible so as to maintain the intent of this EULA, and the other parts will remain in full force and effect.

GOVERNING LAW AND JURISDICTION

The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods shall not apply to this EULA. This EULA shall be governed by the laws of Japan, without regards to conflict of laws provisions. Any dispute arising out of this EULA shall be subject to the exclusive venue of the Tokyo District Court in Japan, and the parties hereby consent to the venue and jurisdiction of such courts. The foregoing does not apply to you to the extent applicable law of your jurisdiction restricts or prohibits such agreements.

EQUITABLE REMEDIES

Notwithstanding anything contained in this EULA to the contrary, you acknowledge and agree that any violation of or non-compliance with this EULA by you will cause irreparable harm to SONY, for which monetary damages would be inadequate, and you consent to SONY obtaining any injunctive or equitable relief that SONY deems necessary or appropriate in such circumstances. SONY may also take any legal and technical remedies to prevent violation of and/or to enforce this EULA, including, but not limited to, immediate termination of your use of the SOFTWARE, if SONY believes in its sole discretion that you are violating or intend to violate this EULA. These remedies are in addition to any other remedies SONY may have at law, in equity or under contract.

TERMINATION

Without prejudice to any of its other rights, SONY may suspend your access or use of the SOFTWARE and/or terminate this EULA if you fail to comply with any of its terms. In case of such termination, you must: (i) cease all use, and destroy any copies, of the SOFTWARE; (ii) comply with the requirements in the section below entitled "Your Account Responsibilities" .

AMENDMENT

SONY RESERVES THE RIGHT TO AMEND ANY OF THE TERMS OF THIS EULA AT ITS SOLE DISCRETION BY POSTING NOTICE ON A SONY DESIGNATED WEB SITE, BY EMAIL NOTIFICATION TO AN EMAIL ADDRESS PROVIDED BY YOU, BY PROVIDING NOTICE AS PART OF THE PROCESS IN WHICH YOU OBTAIN UPGRADES/UPDATES OR BY ANY OTHER LEGALLY RECOGNIZABLE FORM OF NOTICE. If you do not agree to the amendment, you should promptly contact SONY for instructions. Your continued use of the SOFTWARE after the effective date of any such notice shall be deemed your agreement to be bound by such amendment.

THIRD-PARTY BENEFICIARIES

Each THIRD-PARTY SUPPLIER is an express intended third-party beneficiary of, and shall have the right to enforce, each provision of this EULA with respect to the software of such party.

YOUR ACCOUNT RESPONSIBILITIES

Should you return your DEVICE to its place of purchase, sell or otherwise transfer your DEVICE, or if this EULA is terminated, you are responsible for and must, if reasonably possible, uninstall the SOFTWARE from the DEVICE and delete any and all accounts you may have established on DEVICE or are accessible through the SOFTWARE. You are solely responsible for maintaining the confidentiality of any accounts you have with SONY or third parties and any usernames and passwords associated with your use of the DEVICE.

Should you have any questions concerning this EULA, you may contact SONY by writing to SONY at the applicable contact address for each area or country.

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

主な仕様

一般仕様

質量	約3.9 kg (ハンドル、VFアタッチメント、ボトムカバーを除く)
外形寸法	157ページ参照
電源電圧	DC 12 V (11 V ~ 17 V) DC 24 V (22 V ~ 32 V)
消費電力	約60 W (XAVC記録時) (11 V ~ 17 V) 約220 W (AXS-R7装着時および周辺機器使用時) (22 V ~ 32 V)
動作温度	0 °C ~ 40 °C
保存温度	-20 °C ~ +60 °C
連続操作時間	約60分 (BP-FLX75使用時)
記録フォーマット (ビデオ)	X-OCN XT (AXS-R7装着時) RAW SQ (4K 17:9, 3.8K 16:9) (AXS-R7装着時) X-OCN ST (AXS-R7装着時) X-OCN LT (AXS-R7装着時) XAVC-I Class480 (4K, QFHD) XAVC-I Class300 (4K, QFHD) MPEG HD422 (HD) Apple ProRes 422 HQ (HD) Apple ProRes 422 (HD) Apple ProRes 422 Proxy (HD) Apple ProRes 4444 (HD)
記録フォーマット (オーディオ)	LPCM 8CH (記録再生2CH)、24-bit、48 kHz
記録プロジェクトフレームレート	RAW SQ (AXS-R7装着時) : 4K 17:9/3.8K 16:9 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P
X-OCN (AXS-R7装着時) :	6K 3:2 25P/24P/23.98P 6K 17:9/6K 1.85:1/6K 2.39:1/5.7K 16:9/4K 6:5/4K 17:9 Surround View/4K 4:3/4K 4:3 Surround View/3.8K 16:9 Surround View 29.97P/25P/24P/23.98P

4K 17:9/4K 2.39:1/3.8K 16:9 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P
4K 4:3/4K 17:9 47.95P
XAVC-I Class480 : 4K:4096×2160 29.97P/25P/24P/23.98P
QFHD:3840×2160 29.97P/25P/ 23.98P
XAVC-I Class300 : 4K:4096×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/24P/ 23.98P
QFHD:3840×2160 59.94P/50P/29.97P/25P/ 23.98P
MPEG HD422(50Mbps) : HD:1920×1080 29.97P/25P/ 23.98P/59.94i/50i
Apple ProRes 422 HQ : HD:1920×1080 23.98P/24P/25P/29.97P/50i/ 59.94i/50P/59.94P
Apple ProRes 422 : HD:1920×1080 23.98P/24P/25P/29.97P/50i/ 59.94i/50P/59.94P
Apple ProRes 422 Proxy (HD) HD:1920×1080 23.98P/24P/25P/29.97P/50i/ 59.94i/50P/59.94P
Apple ProRes 4444 (HD) HD:1920×1080 23.98P/24P/25P/29.97P
記録・再生時間
XAVC-I Class480 23.98P 約34分 : SBP-128B/C/D使用時
XAVC-I Class300 23.98P 約54分 : SBP-128B/C/D使用時
MPEG2 HD422 約108分 : SBS-64G1A/B使用時

Apple ProRes 422 HQ (HD) 23.98P 約33分 : SBP-64B/C/D/E使用時
Apple ProRes 422 (HD) 23.98P 約49分 : SBP-64A/B/C/D/E使用時
Apple ProRes 422 Proxy (HD) 23.98P 約145分 : SBS-64G1A/B/C使用時
Apple ProRes 4444 (HD) 23.98P 約22分 : SBP-64B/C/D/E使用時

【ご注意】

- 記録・再生時間は、1クリップとして連続記録したときのものです。記録するクリップ数によっては記載の時間より短くなる場合があります。また、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。
- 6K 3:2 50P/59.94Pと4K 4:3 50P/59.94PのX-OCN記録は可能ですが、再生は本機ではできません。

カメラ部

撮像素子	35mm Full Size相当単板CMOSイメージセンサー
画素数	24.8M (total)
内蔵フィルター	

		NDフィルター A		
		Clear	0.3 (1/2)	0.6 (1/4)
NDフィルター B	Clear	Clear	0.3 (1/2)	0.6 (1/4)
	0.9 (1/8)	0.9 (1/8)	1.2 (1/16)	1.5 (1/32)
	1.8 (1/64)	1.8 (1/64)	2.1 (1/128)	2.4 (1/256)

ISO感度	ISO 500 (D55 Light source) ISO 2500 (D55 Light source)
-------	---

レンズマウント

PLマウント (レンズマウントアダプター使用)

Eマウント (レンズマウントアダプター未使用時)	
フランジバック	PLマウント : 52 mm Eマウント : 18 mm
ラチチュード	15+ stop

入出力

オーディオ入力

CH-1/CH-2 : XLR型、5ピン凹型 (1)、LINE / AES/EBU / MIC / MIC+48V切り換え可能

DC入力 XLR型、4ピン凸型 (1)、11 V ~ 17 V または 22 V ~ 32 V DC

DC出力 (12 V)

Hirose 4ピン (1)、11 V ~ 17 V DC (出力電圧 : 入力電圧と同じ、出力最大電流 : 1.0 A)、22 V ~ 32 V DC (出力電圧 : 15 V、出力最大電流 : 0.8 A)、バッテリーアダプター使用時

【ご注意】

- 12V OUT端子を経由してREC Tally信号の出力、REC Trigger信号の入力を行うことが可能です。
- 12V OUT端子には、11 V ~ 17 V入力時は消費電流が1.0 A以下の機器を、22 V ~ 32 V入力時は消費電流が0.8 A以下の機器を接続してください。

DC出力 (24 V)

Fischer 3ピン (2)、11 V ~ 17 V DC (出力電圧 : 24 V、出力最大電流 : 1.0 A)、22 V ~ 32 V DC (出力電圧 : 入力電圧と同じ、出力最大電流 : 2.0 A)

[ご注意]

24V OUT端子には、11V～17V入力時は消費電流が1.0 A以下の機器を、22V～32V入力時は消費電流が2.0 A以下の機器を接続してください。

SDI出力	BNC型 (4) 3G-SDI : SMPTE ST424/425 Level B-DL/DS HD SDI : SMPTE ST292 準拠
AUX	LEMO 5ピン (1)
ビューファインダー出力	LEMO 26ピン (1)
ネットワーク	RJ45型 (1)
リモートコントロール	8ピン (1)
MONITOR出力	BNC型 (1) HD SDI : SMPTE ST292 準拠
タイムコード入力	TC IN : BNC型 (1)
GENLOCK入力	BNC型 (1)
HDMI出力	Type A型 (1)
外部機器接続端子	USB host : Type A (1)
ヘッドホン出力	ステレオミニジャック (1)
スピーカー出力	モノラル

メディアスロット部

タイプ	ExpressCard/34 (2) SD card (1)
-----	-----------------------------------

付属品

VFアタッチメント (1)
ハンドル (1)
VFケーブル (1) (A-2203-745-A)
シム (円弧型) (1) (4-730-328-11)
シム (1/3円弧型) (15) (4-730-328-21)
Eマウントレンズキャップ (1)
ご使用になる前に (1)

別売りアクセサリ

0.7型ビューファインダー	DVF-EL200
カメラエクステンションシステム	CBK-3610XS、CBK-3620XS
ワイヤレスLANアダプター	CBK-WA02
リモートコントロールユニット	RM-B170/B750 RCP-1000/1500/1530/3500 RCP-1001/1501/3501
ポータブルメモリーレコーダー	AXS-R7
SxSメモリーカード (SxS Pro X/SxS Pro+/SxS-1)	SBP-240F/120F/64E、 SBS-32/64/128G1C
カードリーダー	SBAC-US30、SBAC-T40、AXS-AR1
シヨルダーアダプター (VシューでVCT-14に装着するアダプター)	VCT-FSA5

Eマウントレンズ

SELP28135G、SEL1635GM、
SEL2470GM、SEL70200GM、
SEL100400GM、SEL1224G、
SEL35F14Z、SEL50F14Z、
SEL85F14GM、SEL90M28G、
SEL100F28GM

バッテリーバック

BP-FW75、BP-GL95B

ACアダプター

AC-DN10A

マイク ECM-680S、ECM-678*、ECM-674*

* XLR 3ピン→5ピン変換ケーブルEC-0.5X3F5Mが必要

2連バッテリーアダプター

BKW-L200 (バッテリー接続アダプターを介して接続)

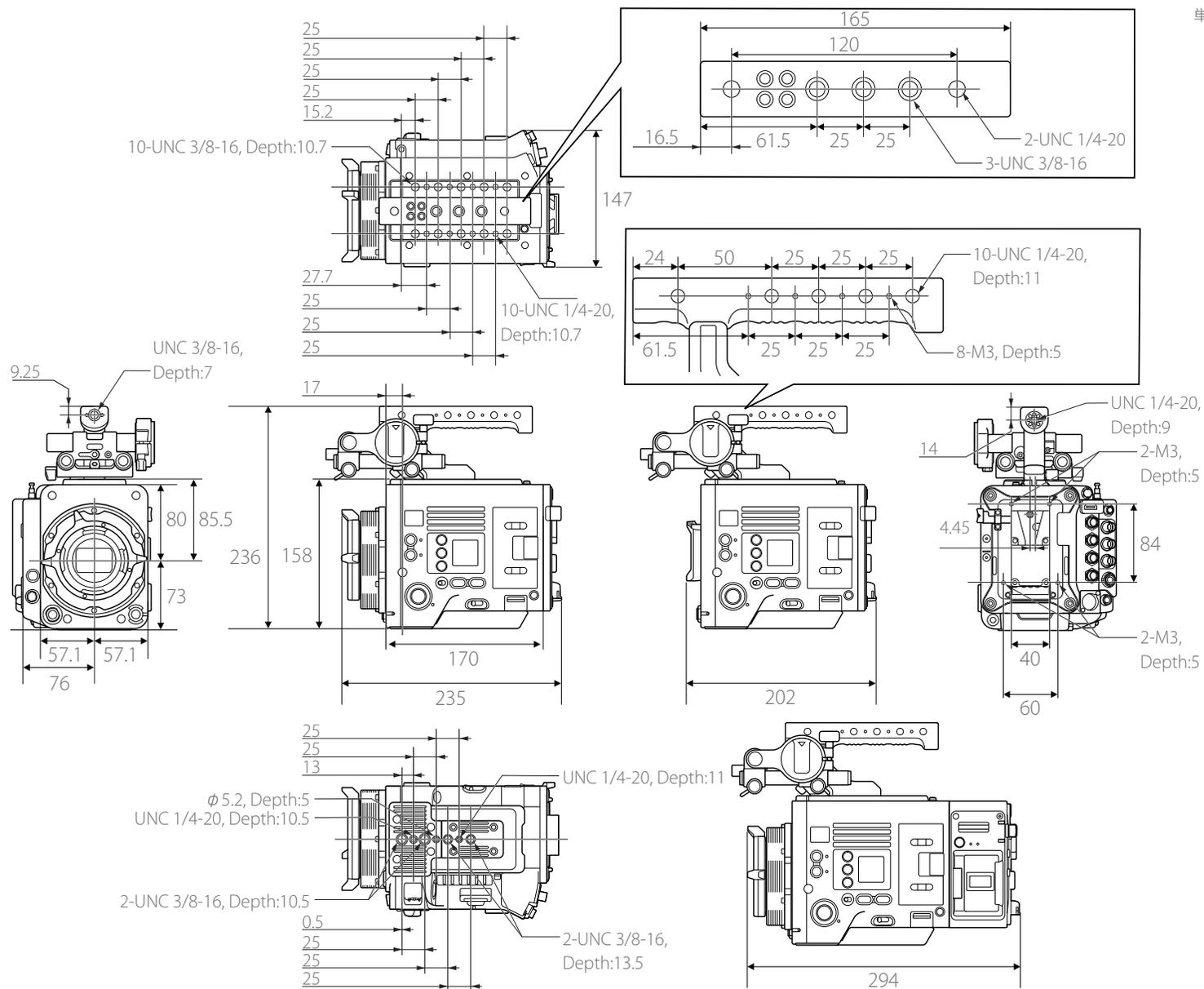
SDI/HDMIモニター

BVMシリーズ、PVMシリーズ、LMDシリーズ

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

外形寸法



単位: mm

商標について

- “XAVC” および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中で®、™マークは明記していません。